

II 調査結果

II 調査結果

1 政策の満足度、県政への要望調査

県の政策や県政運営に係る項目について、県民の満足度と要望を尋ねた。

調査項目は、県の総合計画である「元気とやま創造計画ーとやま新時代へ 新たな挑戦ー」（平成30年6月）の政策を中心に、計75項目を設定した。また、その75項目を「経済対策・産業振興」、「少子化対策・地域づくり」、「医療福祉、環境保全、防災対策」、「人材の育成」、「県政運営」の5区分に大別し、さらに「産業」、「交流・物流」、「まちづくり・観光」、「子育て・教育」、「県民活動」、「地域づくり」、「健康・福祉」、「環境」、「安全・安心」、「人づくり」、「県政」の11領域に整理した。

なお、分析では、満足度の評価は「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた数値を、反対に不満度の評価は「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた数値をそれぞれの評価の尺度（指標）としている。

(1) 政策の満足度

問1 あなたは県の政策に対してどの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください。

ア 満足度の高い政策

- ・満足度の上位を見ると、「14 北陸新幹線の整備促進」が43.6 %と最も高く、次いで「54 水資源の保全と活用」24.9%、「50 食の安全確保と地産地消・食育の推進」24.3%の順となっている。
- ・前回調査と比べると、「25 子育て支援」が1.7ポイント上昇し、13位から7位に順位を上げている。

図表1 政策の満足度（上位10項目）全体

単位：％

順位	区分	領域	項目	満足度	前回(R5年度)
1	経済対策・産業振興など	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	43.6	42.3 (1位)
2	医療福祉、環境保全、防災対策など	環境	54 水資源の保全と活用	24.9	26.0 (2位)
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.3	25.3 (3位)
4	経済対策・産業振興など	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	23.6	24.2 (4位)
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	23.2	23.6 (5位)
6	経済対策・産業振興など	交流・物流	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	22.8	23.3 (6位)
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	20.4	18.7 (13位)
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	19.8	18.5 (15位)
9	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.6	20.9 (7位)
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	18.4	18.5 (14位)
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	18.4	18.4 (16位)

〈時系列比較〉

図表2 政策の満足度（上位5項目の時系列比較）

単位：％

順位	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
1	北陸新幹線の整備促進 50.5	北陸新幹線の整備促進 46.1	北陸新幹線の整備促進 45.5	北陸新幹線の整備促進 42.3	北陸新幹線の整備促進 43.6
2	水資源の保全と活用 33.4	水資源の保全と活用 31.5	水資源の保全と活用 29.1	水資源の保全と活用 26.0	水資源の保全と活用 24.9
3	食の安全確保と地産地消・食育の推進 29.9	食の安全確保と地産地消・食育の推進 30.7	新幹線駅を核とした交流拠点づくり 27.5	食の安全確保と地産地消・食育の推進 25.3	食の安全確保と地産地消・食育の推進 24.3
4	利便性の高い道路ネットワークの整備 28.7	利便性の高い道路ネットワークの整備 28.1	食の安全確保と地産地消・食育の推進 25.8	新幹線駅を核とした交流拠点づくり 24.2	新幹線駅を核とした交流拠点づくり 23.6
5	雪に強いまちづくり 28.3	子育て支援 26.3	医療提供体制の充実 25.7	医療提供体制の充実 23.6	医療提供体制の充実 23.2

イ 不満度の高い政策

- ・不満度の上位を見ると、「1 景気対策(物価高騰対策などを含む)」が48.1%と最も高く、次いで「21 中心市街地の賑わいの創出」44.1%、「59 雪に強いまちづくり」が42.3%の順となっている。
- ・「58 地震防災対策の充実」は38.3%と前回調査よりも13.6ポイント上昇し、32位から7位に順位を上げている。

図表3 政策の不満度（上位10項目）

単位：％

順位	区分	領域	項目	不満度	前回(R5年度)
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	48.1	49.1 (1位)
2	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	21 中心市街地の賑わいの創出	44.1	42.6 (3位)
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	42.3	42.7 (2位)
4	経済対策・産業振興など	産業	10 雇用の確保と人材の育成	39.5	36.6 (6位)
5	経済対策・産業振興など	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	39.2	37.2 (5位)
6	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.8	37.7 (4位)
7	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	38.3	24.7 (32位)
8	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	19 選ばれ続ける観光地づくり	38.0	35.6 (7位)
9	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	23 富山のブランド力アップ	36.6	34.8 (8位)
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	36.4	34.2 (9位)

＜時系列比較＞

図表4 政策の不満度（上位5項目の時系列比較）

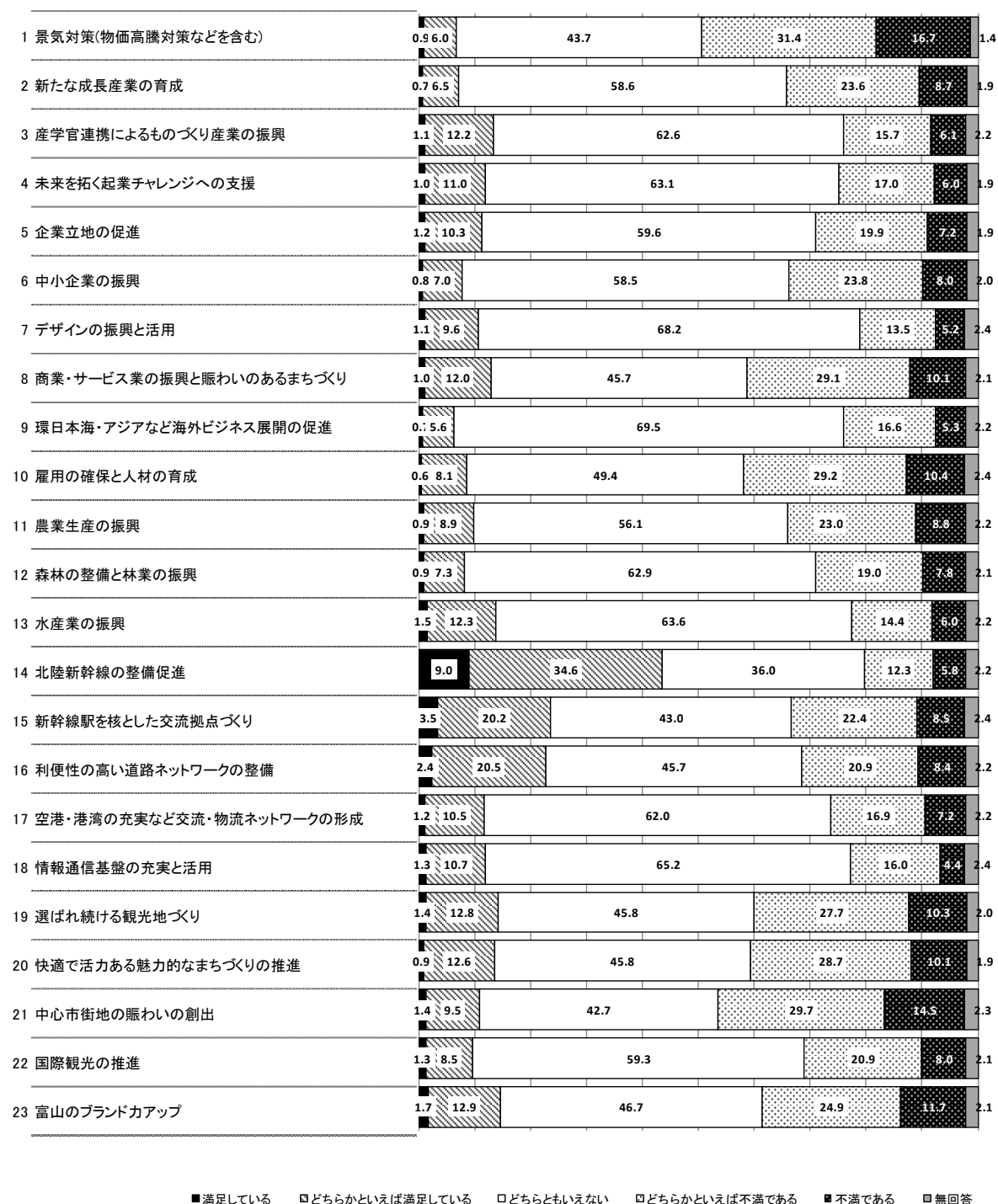
単位：％

順位	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
1	中心市街地の賑わいの創出 46.0	雪に強いまちづくり 55.3	雪に強いまちづくり 47.0	景気対策(物価高騰対策などを含む) 49.1	景気対策(物価高騰対策などを含む) 48.1
2	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり 39.0	中心市街地の賑わいの創出 48.5	中心市街地の賑わいの創出 46.5	雪に強いまちづくり 42.7	中心市街地の賑わいの創出 44.1
3	スピード重視の県政 38.6	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり 40.5	景気対策(物価高騰対策などを含む) 42.4	中心市街地の賑わいの創出 42.6	雪に強いまちづくり 42.3
4	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進 37.4	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進 39.1	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり 40.7	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進 37.7	雇用の確保と人材の育成 39.5
5	「とやまから日本を変える」改革と創造 34.7	スピード重視の県政 38.9	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進 38.9	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり 37.2	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり 39.2

図表5 政策の満足度（分野別）

単位：％

【経済対策・産業振興など】

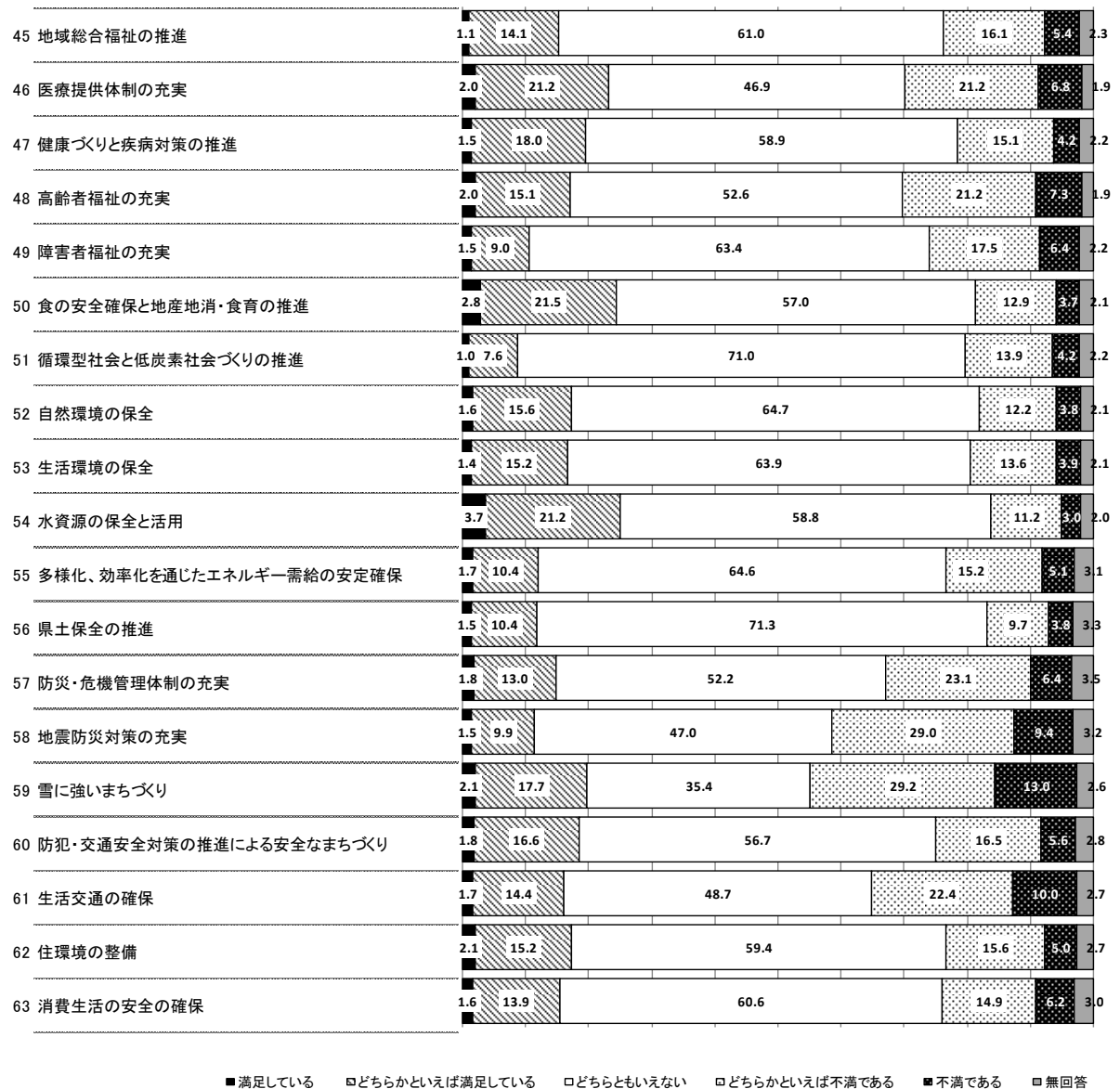


【少子化対策・地域づくりなど】

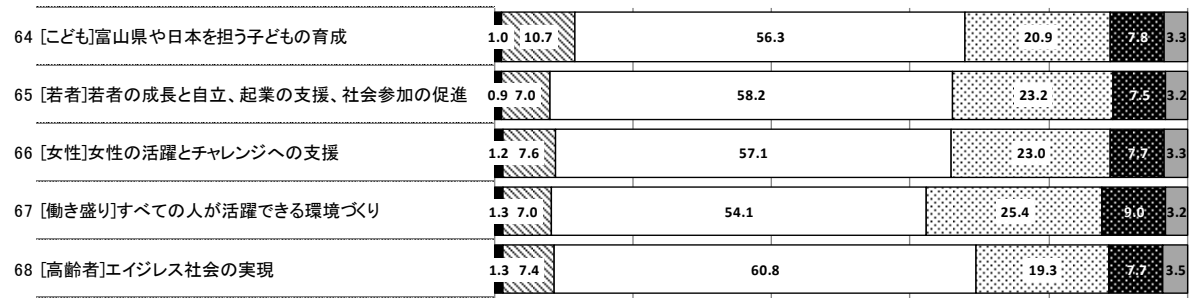


■満足している □どちらかといえば満足している □どちらともいえない □どちらかといえば不満である ■不満である □無回答

【医療福祉、環境保全、防災対策など】

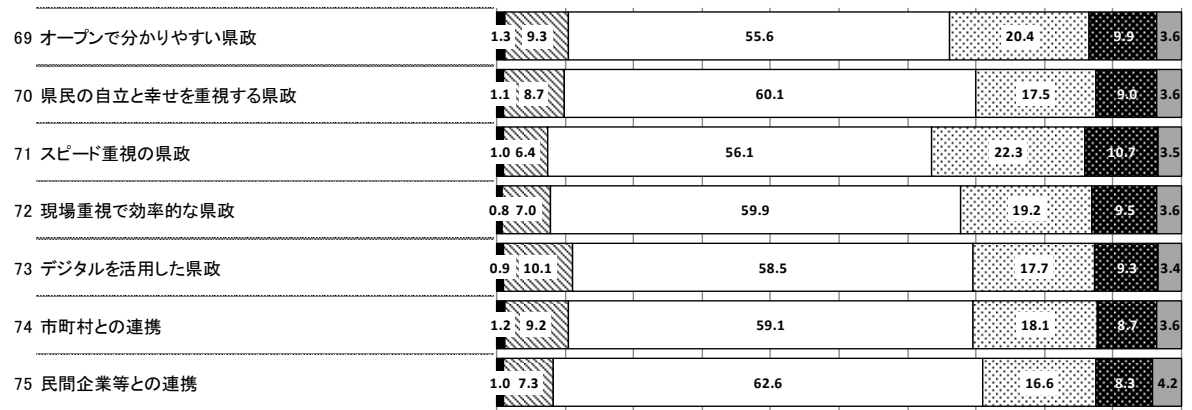


【人材の育成】



☒ 満足している
 ☐ どちらかといえば満足している
 ☐ どちらともいえない
 ☐ どちらかといえば不満である
 ☒ 不満である
 ☐ 無回答

【県政運営】



☒ 満足している
 ☐ どちらかといえば満足している
 ☐ どちらともいえない
 ☐ どちらかといえば不満である
 ☒ 不満である
 ☐ 無回答

(2) 属性別に見る政策の満足度

ア 政策の満足度

(ア) 性別

- ・「男性」「女性」とともに、「14 北陸新幹線の整備促進」が最も高くなっている。
- ・「14 北陸新幹線の整備促進」は、「男性」が46.3%に対して「女性」が42.1%と、「男性」が4.2ポイント高く、「54 水資源の保全と活用」は「男性」が28.2%に対して「女性」が22.6%と、「男性」が5.6ポイント高くなっている。
- ・一方「50 食の安全確保と地産地消・食育の推進」は「男性」が21.9%に対して「女性」は26.4%と、「女性」が4.5ポイント高くなっている。

図表6 満足度（上位10項目）の男女比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	男女差 (女性-男性)
1	経済対策・産業振興など	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	43.6	46.3	42.1	▲ 4.2
2	医療福祉、環境保全、防災対策など	環境	54 水資源の保全と活用	24.9	28.2	22.6	▲ 5.6
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.3	21.9	26.4	4.5
4	経済対策・産業振興など	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	23.6	24.6	22.5	▲ 2.1
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	23.2	25.3	21.8	▲ 3.5
6	経済対策・産業振興など	交流・物流	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	22.8	25.3	21.2	▲ 4.1
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	20.4	18.8	22.1	3.3
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	19.8	19.2	20.9	1.7
9	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.6	19.8	19.6	▲ 0.2
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	18.4	16.3	20.6	4.3
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	18.4	19.6	18.1	▲ 1.5

図表7 男女別の政策の満足度（上位10項目）

単位：％

男性

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	46.3
2	54 水資源の保全と活用	28.2
3	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	25.3
4	46 医療提供体制の充実	25.3
5	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	24.6
6	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	21.9
7	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.8
8	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	19.6
9	59 雪に強いまちづくり	19.2
10	25 子育て支援	18.8

女性

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	42.1
2	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	26.4
3	54 水資源の保全と活用	22.6
4	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	22.5
5	25 子育て支援	22.1
6	46 医療提供体制の充実	21.8
7	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	21.2
8	59 雪に強いまちづくり	20.9
9	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	20.6
10	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	19.9

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

(イ) 年齢別

- ・多くの年代で「14 北陸新幹線の整備促進」の満足度が最も高く、「20～29歳」、「30～39歳」では5割を超える。
- ・「20～29歳」では、県全体で20位(16.5%)の「44 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり」が4位(29.9%)と高くなっている。
- ・「30～39歳」で7位(26.7%)の「13 水産業の振興」は県全体では29位(13.8%)、9位(25.8%)の「20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進」は31位(13.5%)である。
- ・県全体で18位(17.1%)の「48 高齢者福祉の充実」は、「60～69歳」で10位(15.8%)、「70～79歳」で6位(19.5%)、「80歳以上」で5位(28.8%)となっている。

図表8 満足度（上位10項目）の年齢比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体満足度	18、19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1	経済対策・産業振興など	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	43.6	25.0	54.0	51.2	46.4	47.6	38.1	37.2	38.8
2	医療福祉、環境保全、防災対策など	環境	54 水資源の保全と活用	24.9	25.0	29.9	27.6	28.3	25.7	19.9	22.5	31.3
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.3	25.0	36.8	35.0	28.9	22.6	20.1	15.9	27.5
4	経済対策・産業振興など	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	23.6	25.0	27.6	32.3	23.8	27.6	20.3	17.7	16.3
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	23.2	50.0	34.5	28.6	23.2	19.3	17.7	24.9	37.5
6	経済対策・産業振興など	交流・物流	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	22.8	50.0	26.4	24.9	27.1	24.5	19.4	18.6	20.0
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	20.4	25.0	13.8	25.3	26.5	20.0	17.0	18.6	15.0
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	19.8	25.0	28.7	27.2	19.0	18.3	15.6	19.8	23.8
9	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.6	0.0	27.6	21.2	17.9	15.7	19.1	21.6	27.5
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	18.4	25.0	13.8	23.5	26.2	17.1	13.7	15.0	22.5
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	18.4	50.0	28.7	21.7	18.5	16.7	13.5	18.3	32.5

※県平均(全体)よりも高い項目は網掛け

図表9 年齢別の政策の満足度（上位10項目）

単位：％

20～29歳

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	54.0
2	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	36.8
3	46 医療提供体制の充実	34.5
4	44 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	29.9
4	54 水資源の保全と活用	29.9
6	59 雪に強いまちづくり	28.7
6	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	28.7
8	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	27.6
9	47 健康づくりと疾病対策の推進	27.6
9	62 住環境の整備	27.6

30～39歳

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	51.2
2	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	35.0
3	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	32.3
4	46 医療提供体制の充実	28.6
5	54 水資源の保全と活用	27.6
6	59 雪に強いまちづくり	27.2
7	13 水産業の振興	26.7
8	62 住環境の整備	25.8
9	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	25.8
10	25 子育て支援	25.3

40～49歳

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	46.4
2	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	28.9
3	54 水資源の保全と活用	28.3
4	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	27.1
5	25 子育て支援	26.5
6	26 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	26.2
7	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	25.3
8	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	23.8
9	41 自然・歴史・伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	23.5
10	46 医療提供体制の充実	23.2

50～59歳

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	47.6
2	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	27.6
3	54 水資源の保全と活用	25.7
4	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	24.5
5	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	22.6
6	25 子育て支援	20.0
7	46 医療提供体制の充実	19.3
8	62 住環境の整備	19.0
9	32 芸術文化の振興	18.6
10	59 雪に強いまちづくり	18.3

60～69歳

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	38.1
2	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	20.3
3	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	20.1
4	54 水資源の保全と活用	19.9
5	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	19.4
6	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.1
7	46 医療提供体制の充実	17.7
8	25 子育て支援	17.0
9	33 スポーツの振興	16.3
10	48 高齢者福祉の充実	15.8

70～79歳

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	37.2
2	46 医療提供体制の充実	24.9
3	54 水資源の保全と活用	22.5
4	47 健康づくりと疾病対策の推進	21.6
5	59 雪に強いまちづくり	19.8
6	48 高齢者福祉の充実	19.5
7	25 子育て支援	18.6
8	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	18.6
9	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	18.3
10	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	17.7

80歳以上

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	38.8
2	46 医療提供体制の充実	37.5
3	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	32.5
4	54 水資源の保全と活用	31.3
5	48 高齢者福祉の充実	28.8
6	45 地域総合福祉の推進	27.5
6	47 健康づくりと疾病対策の推進	27.5
6	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	27.5
6	61 生活交通の確保	27.5
10	69 オープンで分かりやすい県政	25.0

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

(ウ) 地域別

- ・すべての地域で「14 北陸新幹線の整備促進」の満足度が最も高く、特に「富山地域」では49.6%と県平均(全体)よりも6.0ポイント高くなっている。
- ・「富山地域」は、県平均(全体)では4位(23.6%)の「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」が2位(30.7%)と、県平均(全体)よりも7.1ポイント高くなっている。
- ・「高岡地域」では県平均(全体)では13位(18.0%)の「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が8位(19.5%)、同じく12位(18.4%)の「32 芸術文化の振興」が9位(18.7%)となっている。
- ・「魚津地域」では県平均(全体)では13位(18.0%)の「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が10位(17.7%)である。
- ・「砺波地域」では県平均(全体)では24位(15.2%)の「45 地域総合福祉の推進」が5位(24.7%)と県平均(全体)より9.5ポイント高くなっている。

図表10 満足度（上位10項目）の地域比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体満足度	富山地域	高岡地域	魚津地域	砺波地域
1	経済対策・産業振興など	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	43.6	49.6	39.2	40.6	39.0
2	医療福祉、環境保全、防災対策など	環境	54 水資源の保全と活用	24.9	27.1	22.4	24.5	24.7
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.3	24.8	24.7	22.7	24.7
4	経済対策・産業振興など	交流・物流	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	23.6	30.7	17.4	20.1	19.7
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	23.2	24.3	21.6	20.3	28.7
6	経済対策・産業振興など	交流・物流	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	22.8	24.0	21.4	21.6	23.8
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	20.4	20.9	21.4	19.3	18.4
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	19.8	19.8	17.8	19.5	25.6
9	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.6	19.8	18.0	17.4	26.5
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	18.4	17.7	20.1	16.6	20.2
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	18.4	17.2	18.4	19.3	21.5

※県平均(全体)よりも高い項目は網掛け

図表11 地域別の政策の満足度（上位10項目）

単位：％

富山地域

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	49.6
2	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	30.7
3	54 水資源の保全と活用	27.1
4	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.8
5	46 医療提供体制の充実	24.3
6	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	24.0
7	32 芸術文化の振興	21.1
8	25 子育て支援	20.9
9	47 健康づくりと疾病対策の推進	19.8
10	42 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	19.8

高岡地域

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	39.2
2	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.7
3	54 水資源の保全と活用	22.4
4	46 医療提供体制の充実	21.6
5	25 子育て支援	21.4
6	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	21.4
7	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	20.1
8	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	19.5
9	32 芸術文化の振興	18.7
10	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	18.4

魚津地域

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	40.6
2	54 水資源の保全と活用	24.5
3	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	22.7
4	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	21.6
5	46 医療提供体制の充実	20.3
6	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	20.1
7	59 雪に強いまちづくり	19.5
8	25 子育て支援	19.3
8	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	19.3
10	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	17.7

砺波地域

順位	項目	満足度
1	14 北陸新幹線の整備促進	39.0
2	46 医療提供体制の充実	28.7
3	47 健康づくりと疾病対策の推進	26.5
3	59 雪に強いまちづくり	25.6
5	45 地域総合福祉の推進	24.7
6	50 食の安全確保と地産地消・食育の推進	24.7
6	54 水資源の保全と活用	24.7
8	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	23.8
9	48 高齢者福祉の充実	22.0
10	60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	21.5

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

イ 政策の不満足

(ア) 性別

- ・男女ともに「1 景気対策(物価高騰対策などを含む)」が最も高くなっている。
- ・「男性」は「24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援」が2位(43.5%)と「女性」の30.8%より12.7ポイント高くなっている。
- ・「20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進」は、「女性」が4位(40.9%)で「男性」の36.0%よりも4.9ポイント高くなっている。
- ・「男性」は、県平均(全体)では12位(33.3%)の「43 農山漁村の活性化」が8位(38.1%)に入っている。
- ・「女性」は、県平均(全体)では11位(34.4%)の「67 [働き盛り]すべての人が活躍できる環境づくり」が10位(34.0%)に入っている。

図表12 不満足(上位10項目)の男女比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体	男 性	女 性	男女差 (女性-男性)
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	48.1	48.8	47.8	▲ 1.0
2	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	21 中心市街地の賑わいの創出	44.1	42.8	45.4	2.6
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	42.3	43.2	41.3	▲ 1.9
4	経済対策・産業振興など	産業	10 雇用の確保と人材の育成	39.5	41.9	37.5	▲ 4.4
5	経済対策・産業振興など	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	39.2	39.3	40.0	0.7
6	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.8	36.0	40.9	4.9
7	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	38.3	38.4	38.1	▲ 0.3
8	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	19 選ばれ続ける観光地づくり	38.0	37.5	38.6	1.1
9	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	36.6	37.9	35.3	▲ 2.6
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	36.4	43.5	30.8	▲ 12.7

図表13 男女別の政策の不満足(上位10項目)

単位：％

男性			女性		
順位	項目	不満足	順位	項目	不満足
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	48.8	1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	47.8
2	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	43.5	2	21 中心市街地の賑わいの創出	45.4
3	59 雪に強いまちづくり	43.2	3	59 雪に強いまちづくり	41.3
4	21 中心市街地の賑わいの創出	42.8	4	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	40.9
5	10 雇用の確保と人材の育成	41.9	5	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	40.0
6	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	39.3	6	19 選ばれ続ける観光地づくり	38.6
7	58 地震防災対策の充実	38.4	7	58 地震防災対策の充実	38.1
8	43 農山漁村の活性化	38.1	8	10 雇用の確保と人材の育成	37.5
9	23 富山のブランドカアップ	37.9	9	23 富山のブランドカアップ	35.3
10	19 選ばれ続ける観光地づくり	37.5	10	67 [働き盛り]すべての人が活躍できる環境づくり	34.0

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

(イ) 年齢別

- ・ 県平均(全体)で1位(48.1%)の「1 景気対策(物価高騰対策などを含む)」は、「40～49歳」で52.1%、「50～59歳」で53.3%と特に高くなっている。
- ・ 県平均(全体)では18位(31.7%)の「25 子育て支援」が「20～29歳」では8位(40.2%)、「30～39歳」では2位(44.2%)に入っている。
- ・ 県平均(全体)では11位(34.4%)の「67 [働き盛り]すべての人が活躍できる環境づくり」が「30～39歳」では6位(40.1%)、「40～49歳」も6位(41.1%)となっている。
- ・ 「20～29歳」では、「24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援」が1位(51.7%)で、県平均(全体)の36.4%よりも15.3ポイント高くなっている。
- ・ 『60歳以上』では県平均(全体)で16位(31.8%)の「11 農業生産の振興」が10位以内に入っている。

図表14 不満度(上位10項目)の年齢比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体不満度	18、19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	48.1	0.0	46.0	48.4	52.1	53.3	46.3	42.6	40.0
2	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	21 中心市街地の賑わいの創出	44.1	50.0	41.4	35.0	49.1	47.9	44.2	42.9	38.8
3	医療福祉・環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	42.3	25.0	37.9	41.9	45.5	44.3	47.0	35.7	26.3
4	経済対策・産業振興など	産業	10 雇用の確保と人材の育成	39.5	25.0	41.4	39.6	44.9	41.4	40.4	31.5	35.0
5	経済対策・産業振興など	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	39.2	0.0	36.8	28.6	41.7	42.1	37.1	42.9	42.5
6	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.8	0.0	44.8	31.3	38.7	41.2	38.8	42.3	28.8
7	医療福祉・環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	38.3	50.0	37.9	40.6	40.8	36.7	42.8	33.3	28.8
8	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	19 選ばれ続ける観光地づくり	38.0	25.0	49.4	35.5	39.6	41.4	34.5	37.8	31.3
9	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	23 富山のブランド力アップ	36.6	0.0	35.6	34.6	38.7	39.0	34.3	36.3	37.5
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	36.4	0.0	51.7	40.6	34.5	33.8	34.0	37.5	40.0

※県平均(全体)よりも高い項目は網掛け

図表15 年齢別の政策の不満度（上位10項目）

単位：％

20～29歳

順位	項目	不満度
1	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	51.7
2	19 選ばれ続ける観光地づくり	49.4
3	71 スピード重視の県政	47.1
4	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	46.0
5	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	44.8
6	21 中心市街地の賑わいの創出	41.4
7	10 雇用の確保と人材の育成	41.4
8	25 子育て支援	40.2
8	69 オープンで分かりやすい県政	40.2
10	65 [若者] 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進	39.1

30～39歳

順位	項目	不満度
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	48.4
2	25 子育て支援	44.2
3	59 雪に強いまちづくり	41.9
4	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	40.6
4	58 地震防災対策の充実	40.6
6	67 [働き盛り] すべての人が活躍できる環境づくり	40.1
7	10 雇用の確保と人材の育成	39.6
8	69 オープンで分かりやすい県政	37.3
9	71 スピード重視の県政	36.4
10	19 選ばれ続ける観光地づくり	35.5

40～49歳

順位	項目	不満度
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	52.1
2	21 中心市街地の賑わいの創出	49.1
3	59 雪に強いまちづくり	45.5
4	10 雇用の確保と人材の育成	44.9
5	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	41.7
6	67 [働き盛り] すべての人が活躍できる環境づくり	41.1
7	58 地震防災対策の充実	40.8
8	19 選ばれ続ける観光地づくり	39.6
9	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.7
9	28 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	38.7

50～59歳

順位	項目	不満度
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	53.3
2	21 中心市街地の賑わいの創出	47.9
3	59 雪に強いまちづくり	44.3
4	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	42.1
5	10 雇用の確保と人材の育成	41.4
6	19 選ばれ続ける観光地づくり	41.4
7	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	41.2
8	23 富山のブランドカアップ	39.0
9	58 地震防災対策の充実	36.7
10	2 新たな成長産業の育成	35.7

60～69歳

順位	項目	不満度
1	59 雪に強いまちづくり	47.0
2	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	46.3
3	21 中心市街地の賑わいの創出	44.2
4	58 地震防災対策の充実	42.8
5	10 雇用の確保と人材の育成	40.4
6	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.8
7	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	37.1
8	11 農業生産の振興	35.5
9	43 農山漁村の活性化	35.0
10	19 選ばれ続ける観光地づくり	34.5

70～79歳

順位	項目	不満度
1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	42.9
1	21 中心市街地の賑わいの創出	42.9
3	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	42.6
4	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	42.3
5	11 農業生産の振興	41.7
6	43 農山漁村の活性化	40.5
7	12 森林の整備と林業の振興	37.8
7	19 選ばれ続ける観光地づくり	37.8
9	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	37.5
10	23 富山のブランドカアップ	36.3

80歳以上

順位	項目	不満度
1	43 農山漁村の活性化	43.8
2	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	42.5
3	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	40.0
3	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	40.0
5	21 中心市街地の賑わいの創出	38.8
6	11 農業生産の振興	37.5
6	12 森林の整備と林業の振興	37.5
6	23 富山のブランドカアップ	37.5
9	10 雇用の確保と人材の育成	35.0
10	5 企業立地の促進	31.3

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

(ウ) 地域別

- ・「高岡地域」以外では、「1 景気対策(物価高騰対策などを含む)」が1位となっている。
「高岡地域」では「21 中心市街地の賑わいの創出」が1位(48.8%)となっている。
- ・「59 雪に強いまちづくり」は「富山地域」で2位(44.9%)、「高岡地域」で3位(45.7%)と高いが、「魚津地域」では11位となっている。
- ・「富山地域」では県平均(全体)では10位以内に入っていない「25 子育て支援」が9位(35.4%)、「67 [働き盛り]すべての人が活躍できる環境づくり」が10位(34.9%)となっている。
- ・「高岡地域」では県平均(全体)では10位以内に入っていない、「15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり」が8位(40.5%)となっている。
- ・「魚津地域」では9位に「43 農山漁村の活性化」が、「砺波地域」では9位に「6 中小企業の振興」が入っている。

図表16 不満度(上位10項目)の地域比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体不満度	富山地域	高岡地域	魚津地域	砺波地域
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	48.1	50.1	47.4	46.4	45.3
2	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	21 中心市街地の賑わいの創出	44.1	42.7	48.8	41.4	43.0
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	42.3	44.9	45.7	35.4	36.3
4	経済対策・産業振興など	産業	10 雇用の確保と人材の育成	39.5	39.3	40.7	38.3	39.0
5	経済対策・産業振興など	産業	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	39.2	34.7	44.0	42.7	37.2
6	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.8	38.3	41.1	38.8	35.0
7	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	38.3	41.0	41.1	34.0	30.0
8	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	19 選ばれ続ける観光地づくり	38.0	39.3	39.8	37.7	30.0
9	経済対策・産業振興など	まちづくり・観光	23 富山のブランドカアップ	36.6	38.0	35.0	38.0	33.2
10	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	36.4	33.4	37.1	40.9	37.7

※県平均(全体)よりも高い項目は網掛け

図表17 地域別の政策の不満度(上位10項目)

単位：％

富山地域

順位	項目	不満度
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	50.1
2	59 雪に強いまちづくり	44.9
3	21 中心市街地の賑わいの創出	42.7
4	58 地震防災対策の充実	41.0
5	19 選ばれ続ける観光地づくり	39.3
6	10 雇用の確保と人材の育成	39.3
7	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.3
8	23 富山のブランドカアップ	38.0
9	25 子育て支援	35.4
10	67 [働き盛り] すべての人が活躍できる環境づくり	34.9

高岡地域

順位	項目	不満度
1	21 中心市街地の賑わいの創出	48.8
2	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	47.4
3	59 雪に強いまちづくり	45.7
3	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	44.0
5	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	41.1
5	58 地震防災対策の充実	41.1
7	10 雇用の確保と人材の育成	40.7
8	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	40.5
8	19 選ばれ続ける観光地づくり	39.8
10	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	37.1

魚津地域

順位	項目	不満度
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	46.4
2	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	42.7
3	21 中心市街地の賑わいの創出	41.4
4	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	40.9
5	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	38.8
6	10 雇用の確保と人材の育成	38.3
7	23 富山のブランドカアップ	38.0
8	19 選ばれ続ける観光地づくり	37.7
9	43 農山漁村の活性化	36.7
10	71 スピード重視の県政	35.4

砺波地域

順位	項目	不満度
1	1 景気対策(物価高騰対策などを含む)	45.3
2	21 中心市街地の賑わいの創出	43.0
3	10 雇用の確保と人材の育成	39.0
4	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	37.7
5	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	37.2
6	59 雪に強いまちづくり	36.3
7	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	35.0
8	23 富山のブランドカアップ	33.2
9	6 中小企業の振興	32.7
10	11 農業生産の振興	32.3

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

(3) 県政への要望

問2 問1の項目の1番～68番のうち（※69番～75番の〈県政運営〉は除きます）、いま、あなたがもっと力をいれてほしいと思っている県の政策はどれですか。5つ以内で選んでください。

- ・県政への要望の上位を見ると、「1 景気対策(物価高騰対策などを含む)」が32.5%と最も高く、次いで「25 子育て支援」21.0%、「59 雪に強いまちづくり」18.3%の順となっている。
- ・前回調査では18位だった「58 地震防災対策の充実」が4位(15.7%)となっている。

図表18 県政への要望（上位10項目）

単位：％

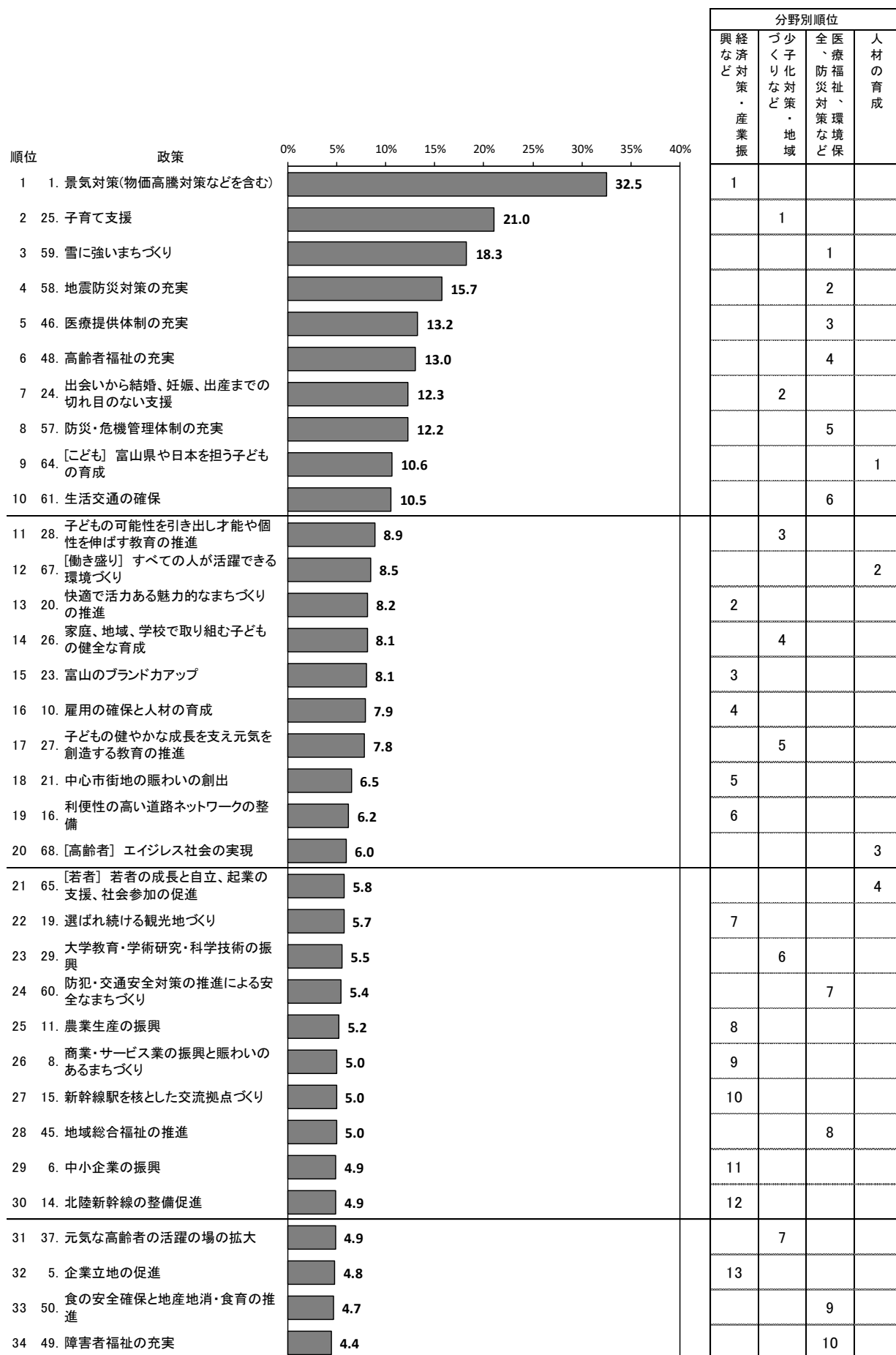
順位	区分	領域	項目	全体	前回(R5年度)
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	32.5	32.1 (1位)
2	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	21.0	17.0 (4位)
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	18.3	26.8 (2位)
4	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	15.7	6.6 (18位)
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	13.2	15.1 (5位)
6	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	48 高齢者福祉の充実	13.0	17.8 (3位)
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	12.3	12.5 (6位)
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	57 防災・危機管理体制の充実	12.2	8.6 (10位)
9	人材の育成	人づくり	64 こども 富山県や日本を担う子どもの育成	10.6	11.3 (8位)
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	61 生活交通の確保	10.5	11.7 (7位)

図表19 県政への要望（上位5項目の時系列比較）

単位：％

順位	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
1	景気対策 20.5	雪に強いまちづくり 29.0	雪に強いまちづくり 29.3	景気対策(物価高騰対策 などを含む) 32.1	景気対策(物価高騰対策 などを含む) 32.5
2	高齢者福祉の充実 17.1	景気対策 16.1	景気対策(物価高騰対策 などを含む) 27.0	雪に強いまちづくり 26.8	子育て支援 21.0
3	子育て支援 16.1	医療提供体制の充実 13.7	子育て支援 19.1	高齢者福祉の充実 17.8	雪に強いまちづくり 18.3
4	医療提供体制の充実 15.1	高齢者福祉の充実 13.4	医療提供体制の充実 15.4	子育て支援 17.0	地震防災対策の充実 15.7
5	雪に強いまちづくり 13.4	子育て支援 12.8	高齢者福祉の充実 14.9	医療提供体制の充実 15.1	医療提供体制の充実 13.2

図表20 県政への要望 (N=1,912、M. T. =393.0%、NA=13.9%、単位 %)



		0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40%						分野別順位			
順位	政策							興 経 済 対 策 ・ 産 業 振	少 子 化 対 策 ・ 地 域	全 医 療 福 祉 ・ 防 災 対 策 ・ 環 境 保	人 材 の 育 成
35	2. 新たな成長産業の育成	4.3						14			
36	43. 農山漁村の活性化	4.1							8		
37	63. 消費生活の安全の確保	3.9								11	
38	66. [女性] 女性の活躍とチャレンジへの支援	3.8									5
39	40. 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.7							9		
40	33. スポーツの振興	3.3							10		
41	47. 健康づくりと疾病対策の推進	3.3								12	
42	62. 住環境の整備	3.3								13	
43	12. 森林の整備と林業の振興	2.9						15			
44	35. 若者の自立促進とチャレンジ支援	2.9							11		
45	55. 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	2.9								14	
46	4. 未来を拓く起業チャレンジへの支援	2.7						16			
47	30. 生涯をとおした学びの推進	2.2							12		
48	52. 自然環境の保全	2.2								15	
49	3. 産学官連携によるものづくり産業の振興	2.0						17			
50	53. 生活環境の保全	2.0								16	
51	54. 水資源の保全と活用	2.0								17	
52	42. 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	1.8							13		
53	38. 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	1.8							14		
54	32. 芸術文化の振興	1.7							15		
55	36. 男女共同参画の推進	1.6							16		
56	44. 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	1.5							17		
57	13. 水産業の振興	1.5						18			
58	51. 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	1.4								18	
59	18. 情報通信基盤の充実と活用	1.4						19			
60	31. ふるさとを学び楽しむ環境づくり	1.4							18		
61	17. 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	1.3						20			
62	41. 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	1.3							19		
63	22. 国際観光の推進	1.2						21			
64	56. 県土保全の推進	1.0								19	
65	39. 国際社会における地域づくり・人づくり	0.6							20		
66	7. デザインの振興と活用	0.6						22			
67	9. 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	0.6						23			
68	34. 社会貢献活動の推進	0.4							21		

(4) 属性別にみる県政への要望

ア 性別

- ・男女ともに「1 景気対策(物価高騰対策を含む)」が最も高く、次いで「25 子育て支援」の順となっている。
- ・「女性」は「59 雪に強いまちづくり」が20.6%で「男性」より5.4ポイント高く、「男性」は「24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援」が15.4%で「女性」より5.5ポイント高くなっている。
- ・「男性」は、県平均(全体)では10位以内に入っていない「10 雇用の確保と人材の育成」が10位(9.4%)となっており、「女性」は「67 [働き盛り]すべての人が活躍できる環境づくり」が10位(10.0%)となっている。

図表21 県政への要望（上位10項目）の男女比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体	男性	女性	男女差 (女性-男性)
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	32.5	34.6	31.6	▲ 3.0
2	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	21.0	22.5	20.6	▲ 1.9
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	18.3	15.2	20.6	5.4
4	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	15.7	13.6	17.3	3.7
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	13.2	10.9	15.2	4.3
6	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	48 高齢者福祉の充実	13.0	11.8	13.9	2.1
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	12.3	15.4	9.9	▲ 5.5
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	57 防災・危機管理体制の充実	12.2	10.3	13.6	3.3
9	人材の育成	人づくり	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	10.6	11.1	10.3	▲ 0.8
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	61 生活交通の確保	10.5	8.9	11.7	2.8

図表22 男女別の県政への要望（上位10項目）

単位：％

男性			女性		
順位	項目	要望度	順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	34.6	1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	31.6
2	25 子育て支援	22.5	2	25 子育て支援	20.6
3	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	15.4	2	59 雪に強いまちづくり	20.6
4	59 雪に強いまちづくり	15.2	4	58 地震防災対策の充実	17.3
5	58 地震防災対策の充実	13.6	5	46 医療提供体制の充実	15.2
6	48 高齢者福祉の充実	11.8	6	48 高齢者福祉の充実	13.9
7	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	11.1	7	57 防災・危機管理体制の充実	13.6
8	46 医療提供体制の充実	10.9	8	61 生活交通の確保	11.7
9	57 防災・危機管理体制の充実	10.3	9	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	10.3
10	10 雇用の確保と人材の育成	9.4	10	67 [働き盛り] すべての人が活躍できる環境づくり	10.0

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

イ 年齢別

- ・『40歳以上』では「1 景気対策(物価高騰対策を含む)」が最も高くなっている。
- ・「30～39歳」、「40～49歳」では、「26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成」、「27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」、「28 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進」が10位以内に入っている。
- ・「48 高齢者福祉の充実」は「60～69歳」で3位(18.7%)、「70～79歳」で2位(17.7%)など県全体(平均)よりも高くなっている。

図表23 県政への要望（上位10項目）の年齢比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体	18、19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	32.5	50.0	29.9	40.1	41.1	40.5	26.0	20.4	17.5
2	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	21.0	50.0	34.5	49.8	30.1	15.5	13.5	7.8	11.3
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	18.3	25.0	11.5	12.9	17.3	20.5	24.1	15.6	10.0
4	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	15.7	50.0	12.6	13.4	16.7	16.0	18.7	12.9	13.8
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	13.2	0.0	6.9	14.7	15.5	14.5	13.0	12.0	7.5
6	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	48 高齢者福祉の充実	13.0	0.0	4.6	4.6	7.7	14.3	18.7	17.7	12.5
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	12.3	50.0	21.8	10.1	10.1	12.4	13.2	10.8	16.3
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	57 防災・危機管理体制の充実	12.2	25.0	9.2	6.9	10.1	15.0	15.4	11.4	10.0
9	人材の育成	人づくり	64 こども 富山県や日本を担う子どもの育成	10.6	25.0	3.4	15.2	11.0	9.0	11.8	9.9	7.5
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	61 生活交通の確保	10.5	0.0	8.0	4.1	7.7	12.9	13.0	11.7	12.5

※県平均(全体)よりも高い項目は網掛け

図表24 年齢別の県政への要望（上位10項目）

単位：％

20～29歳

順位	項目	要望度
1	25 子育て支援	34.5
2	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	29.9
3	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	21.8
4	58 地震防災対策の充実	12.6
5	19 選ばれ続ける観光地づくり	11.5
5	20 快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	11.5
5	59 雪に強いまちづくり	11.5
8	16 利便性の高い道路ネットワークの整備	10.3
9	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	9.2
9	21 中心市街地の賑わいの創出	9.2
9	23 富山のブランドカアップ	9.2

30～39歳

順位	項目	要望度
1	25 子育て支援	49.8
2	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	40.1
3	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	19.8
4	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	18.9
5	28 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	17.5
6	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	15.2
7	46 医療提供体制の充実	14.7
8	58 地震防災対策の充実	13.4
9	59 雪に強いまちづくり	12.9
10	23 富山のブランドカアップ	11.5

40～49歳

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	41.1
2	25 子育て支援	30.1
3	59 雪に強いまちづくり	17.3
4	58 地震防災対策の充実	16.7
5	46 医療提供体制の充実	15.5
6	28 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	15.2
7	26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	11.6
8	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	11.0
9	67 [働き盛り] すべての人が活躍できる環境づくり	10.4
10	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	10.1
10	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	10.1
10	57 防災・危機管理体制の充実	10.1

50～59歳

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	40.5
2	59 雪に強いまちづくり	20.5
3	58 地震防災対策の充実	16.0
4	25 子育て支援	15.5
5	57 防災・危機管理体制の充実	15.0
6	46 医療提供体制の充実	14.5
7	48 高齢者福祉の充実	14.3
8	61 生活交通の確保	12.9
9	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	12.4
10	23 富山のブランドカアップ	9.8

60～69歳

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	26.0
2	59 雪に強いまちづくり	24.1
3	48 高齢者福祉の充実	18.7
3	58 地震防災対策の充実	18.7
5	57 防災・危機管理体制の充実	15.4
6	25 子育て支援	13.5
7	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	13.2
8	46 医療提供体制の充実	13.0
8	61 生活交通の確保	13.0
10	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	11.8

70～79歳

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	20.4
2	48 高齢者福祉の充実	17.7
3	59 雪に強いまちづくり	15.6
4	58 地震防災対策の充実	12.9
5	46 医療提供体制の充実	12.0
6	61 生活交通の確保	11.7
7	57 防災・危機管理体制の充実	11.4
8	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	10.8
9	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	9.9
10	37 元気な高齢者の活躍の場の拡大	8.1
10	43 農山漁村の活性化	8.1
10	68 [高齢者] エイジレス社会の実現	8.1

80歳以上

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	17.5
2	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	16.3
3	58 地震防災対策の充実	13.8
4	48 高齢者福祉の充実	12.5
5	61 生活交通の確保	12.5
6	11 農業生産の振興	11.3
6	25 子育て支援	11.3
6	67 [働き盛り] すべての人が活躍できる環境づくり	11.3
9	57 防災・危機管理体制の充実	10.0
9	59 雪に強いまちづくり	10.0

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

ウ 地域別

- ・すべての地域で「1 景気対策(物価高騰対策を含む)」が最も高く、「砺波地域」以外では、次いで「25 子育て支援」の順となっている。
- ・「59 雪に強いまちづくり」は「魚津地域」以外では3位以内となっているが、「魚津地域」では8位(11.6%)となっている。
- ・「砺波地域」では、県平均(全体)において10位以内に入っていない「10 雇用の確保と人材の育成」が8位(11.2%)、「11 農業生産の振興」が9位(10.3%)となっている。

図表25 県政への要望（上位10項目）の地域比較

単位：％

順位	区分	領域	項目	全体	富山地域	高岡地域	魚津地域	砺波地域
1	経済対策・産業振興など	産業	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	32.5	34.9	32.3	30.6	27.4
2	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	25 子育て支援	21.0	24.4	20.8	16.9	16.6
3	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	59 雪に強いまちづくり	18.3	21.7	18.5	11.6	17.0
4	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	58 地震防災対策の充実	15.7	16.6	16.6	14.5	13.0
5	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	46 医療提供体制の充実	13.2	12.2	12.2	16.4	13.9
6	医療福祉、環境保全、防災対策など	健康・福祉	48 高齢者福祉の充実	13.0	12.8	14.7	12.9	9.9
7	少子化対策・地域づくりなど	子育て・教育	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	12.3	12.2	10.1	14.5	13.5
8	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	57 防災・危機管理体制の充実	12.2	11.7	10.9	13.5	15.2
9	人材の育成	人づくり	64 こども 富山県や日本を担う子どもの育成	10.6	10.9	10.3	11.1	9.0
10	医療福祉、環境保全、防災対策など	安全・安心	61 生活交通の確保	10.5	10.7	10.5	11.3	8.5

※県平均(全体)よりも高い項目は網掛け

図表26 地域別の県政への要望（上位10項目）

単位：％

富山地域

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	34.9
2	25 子育て支援	24.4
3	59 雪に強いまちづくり	21.7
4	58 地震防災対策の充実	16.6
5	48 高齢者福祉の充実	12.8
6	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	12.2
6	46 医療提供体制の充実	12.2
8	57 防災・危機管理体制の充実	11.7
9	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	10.9
10	61 生活交通の確保	10.7

高岡地域

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	32.3
2	25 子育て支援	20.8
3	59 雪に強いまちづくり	18.5
4	58 地震防災対策の充実	16.6
5	48 高齢者福祉の充実	14.7
6	46 医療提供体制の充実	12.2
7	57 防災・危機管理体制の充実	10.9
8	61 生活交通の確保	10.5
9	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	10.3
10	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	10.1

魚津地域

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	30.6
2	25 子育て支援	16.9
3	46 医療提供体制の充実	16.4
4	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	14.5
4	58 地震防災対策の充実	14.5
6	57 防災・危機管理体制の充実	13.5
7	48 高齢者福祉の充実	12.9
8	59 雪に強いまちづくり	11.6
9	61 生活交通の確保	11.3
10	64 [こども] 富山県や日本を担う子どもの育成	11.1

砺波地域

順位	項目	要望度
1	1 景気対策(物価高騰対策を含む)	27.4
2	59 雪に強いまちづくり	17.0
3	25 子育て支援	16.6
4	57 防災・危機管理体制の充実	15.2
5	46 医療提供体制の充実	13.9
6	24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	13.5
7	58 地震防災対策の充実	13.0
8	10 雇用の確保と人材の育成	11.2
9	11 農業生産の振興	10.3
10	48 高齢者福祉の充実	9.9

※県平均(全体)の上位10項目にない項目は網掛け

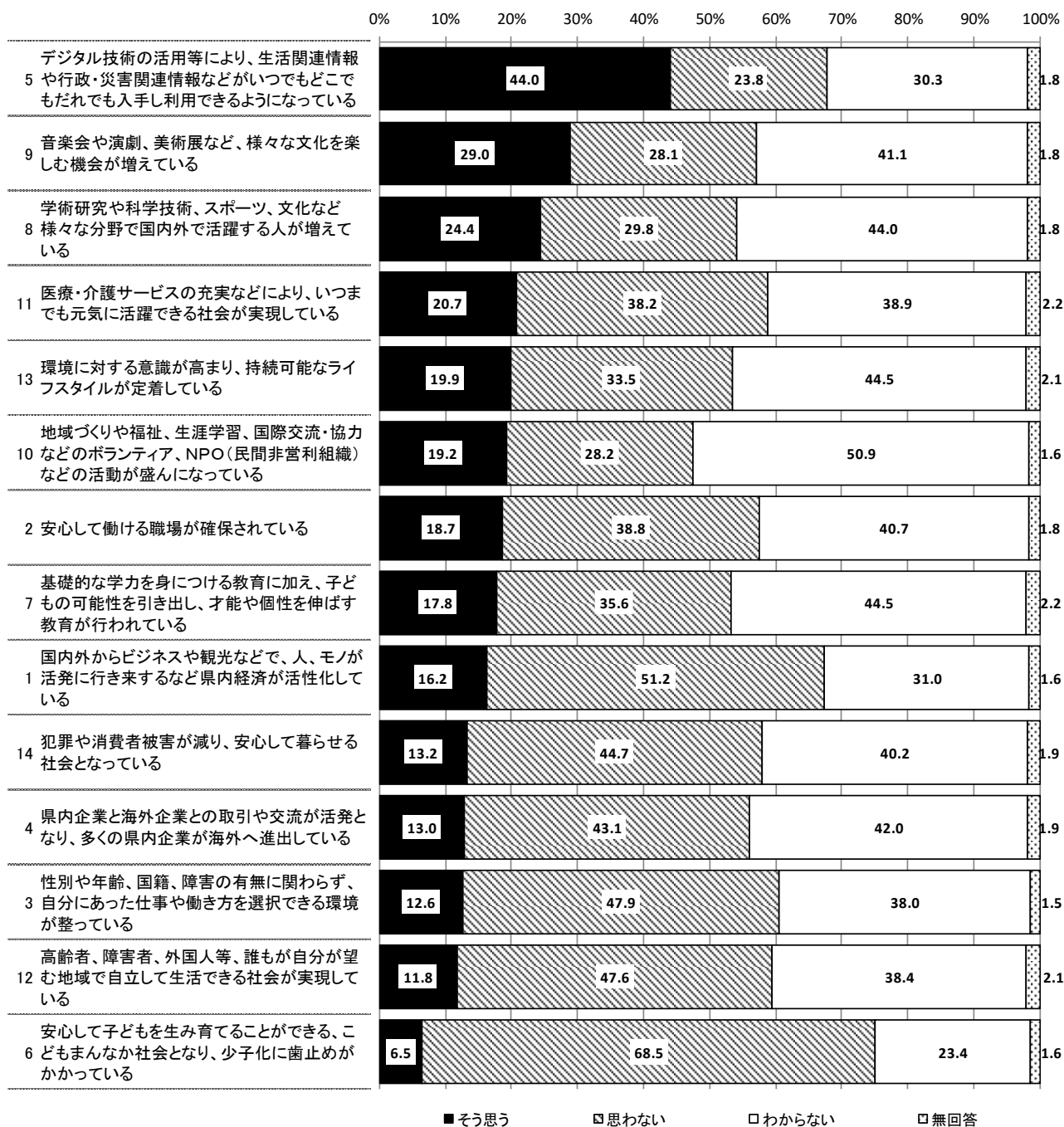
(5) 富山県の将来

問3 おおむね10年後に、県民の生活はどのようなになるとお考えですか。次のそれぞれの項目について、右の欄の1～3の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。

- ・10年後の県民生活のイメージについて、「そう思う」とした人の割合は、「デジタル技術の活用等により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっている」が44.0%と最も多く、次いで「音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている」が29.0%、「学術研究や科学技術、スポーツ、文化など様々な分野で国内外で活躍する人が増えている」が24.4%の順となっている。
- ・一方、「思わない」とした人の割合は、「安心して子どもを生み育てることができる、こどもまんなか社会となり、少子化に歯止めがかかっている」が68.5%と最も高く、次いで「国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している」が51.2%、「性別や年齢、国籍、障害の有無に関わらず、自分にあった仕事や働き方を選択できる環境が整っている」が47.9%の順となっている。

図表27 富山県の将来まとめ

単位：％



1) 国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している

①全体

・「そう思う」が16.2%、「思わない」が51.2%、「わからない」が31.0%となっている。

②性別

・「男性」は「そう思う」が17.9%で「女性」よりやや高くなっている。

③年齢別

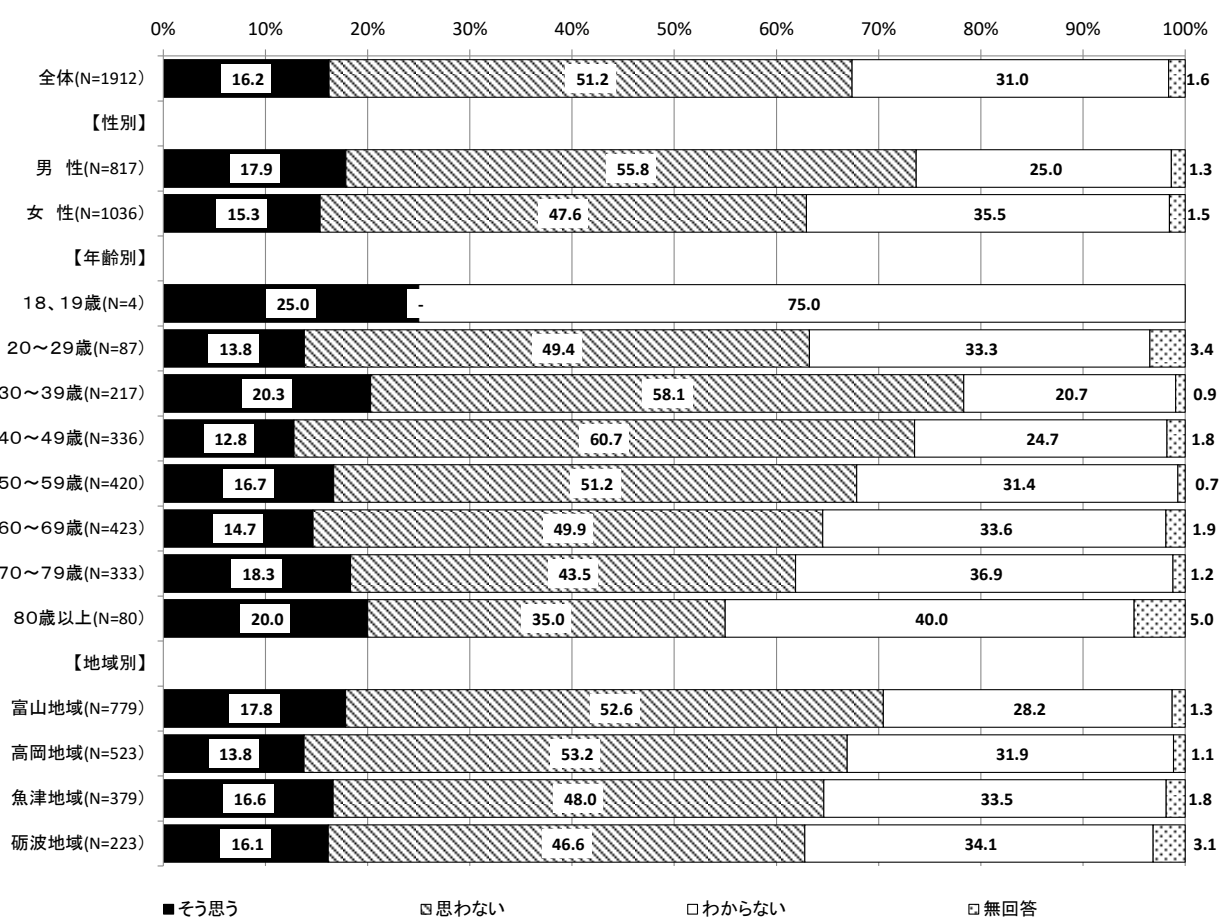
・「そう思う」は「30～39歳」や「80歳以上」で高く20%を超える。

④地域別

・「そう思う」は「高岡地域」が13.8%で他の地域よりもやや低くなっている。

図表28 ビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来する

単位：％



2) 安心して働ける職場が確保されている

①全体

- ・「そう思う」が18.7%、「思わない」が38.8%、「わからない」が40.7%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「男性」が19.6%で「女性」よりもやや高くなっている。

③年齢別

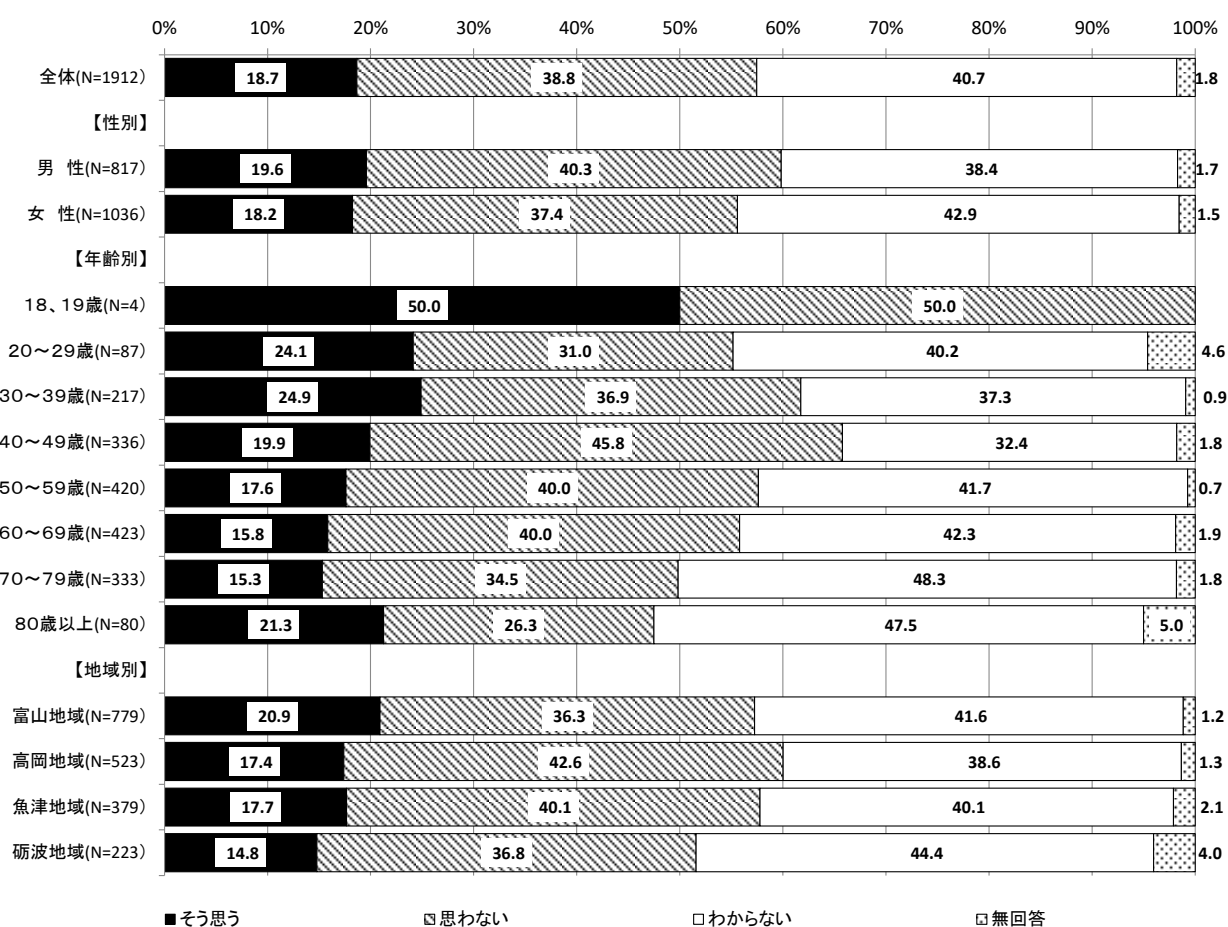
- ・「そう思う」は「39歳以下」や「80歳以上」で2割を超えている。

④地域別

- ・「そう思う」は「砺波地域」が14.8%と他の地域に比べて低くなっている。

図表29 安心して働ける職場が確保されている

単位：％



3) 性別や年齢、国籍、障害の有無に関わらず、自分にあった仕事や働き方を選択できる環境が整っている

①全体

- ・「そう思う」が12.6%、「思わない」が47.9%、「わからない」が38.0%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が14.3%で「男性」より3.7ポイント高くなっている。

③年齢別

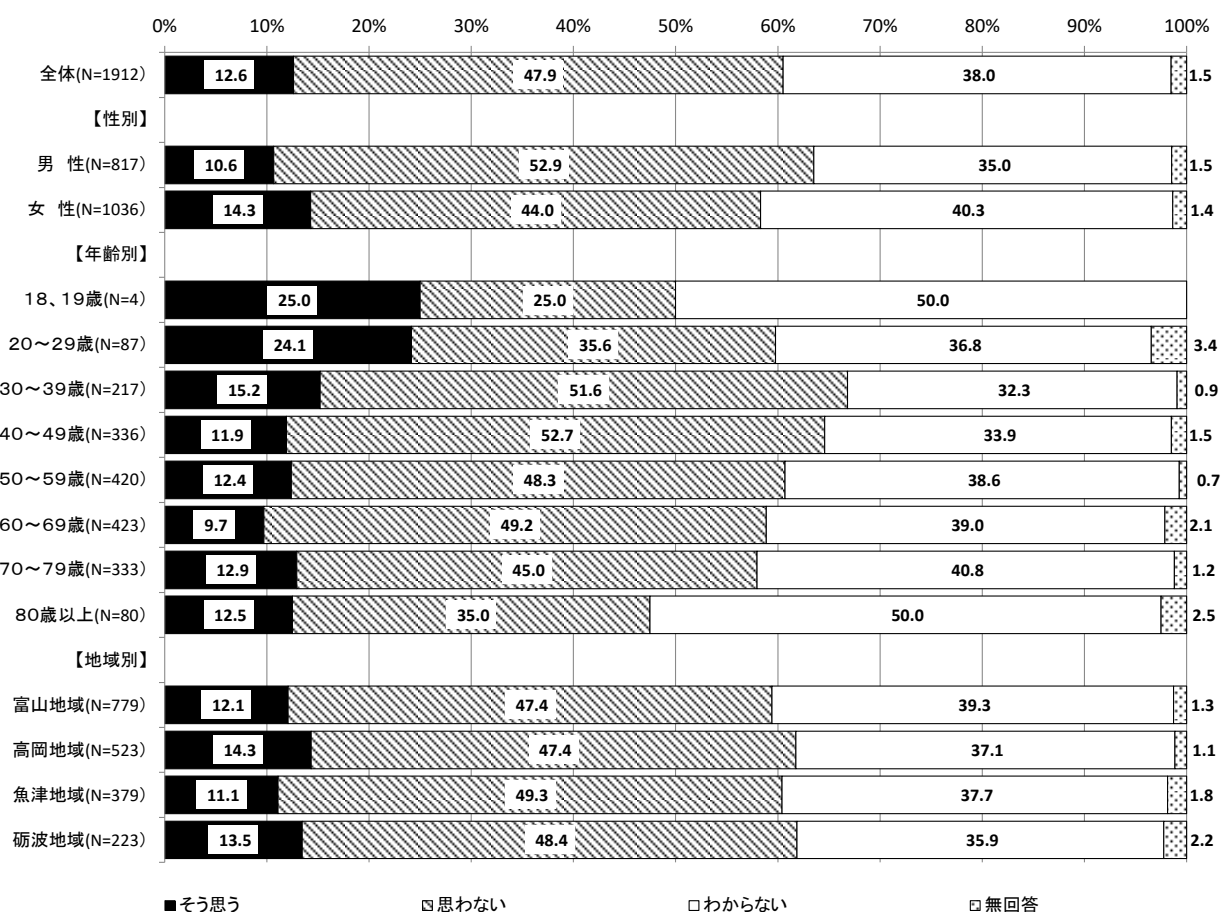
- ・「そう思う」は「20～29歳」で24.1%と高くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「魚津地域」が11.1%で最も低くなっている。

図表30 誰もが自分にあった仕事や働き方を選択できる

単位：％



4) 県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外へ進出している

①全体

- ・「そう思う」が13.0%、「思わない」が43.1%、「わからない」が42.0%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「男性」と「女性」の間で大きな差は見られない。「思わない」は「男性」が9.5ポイント高くなっている。

③年齢別

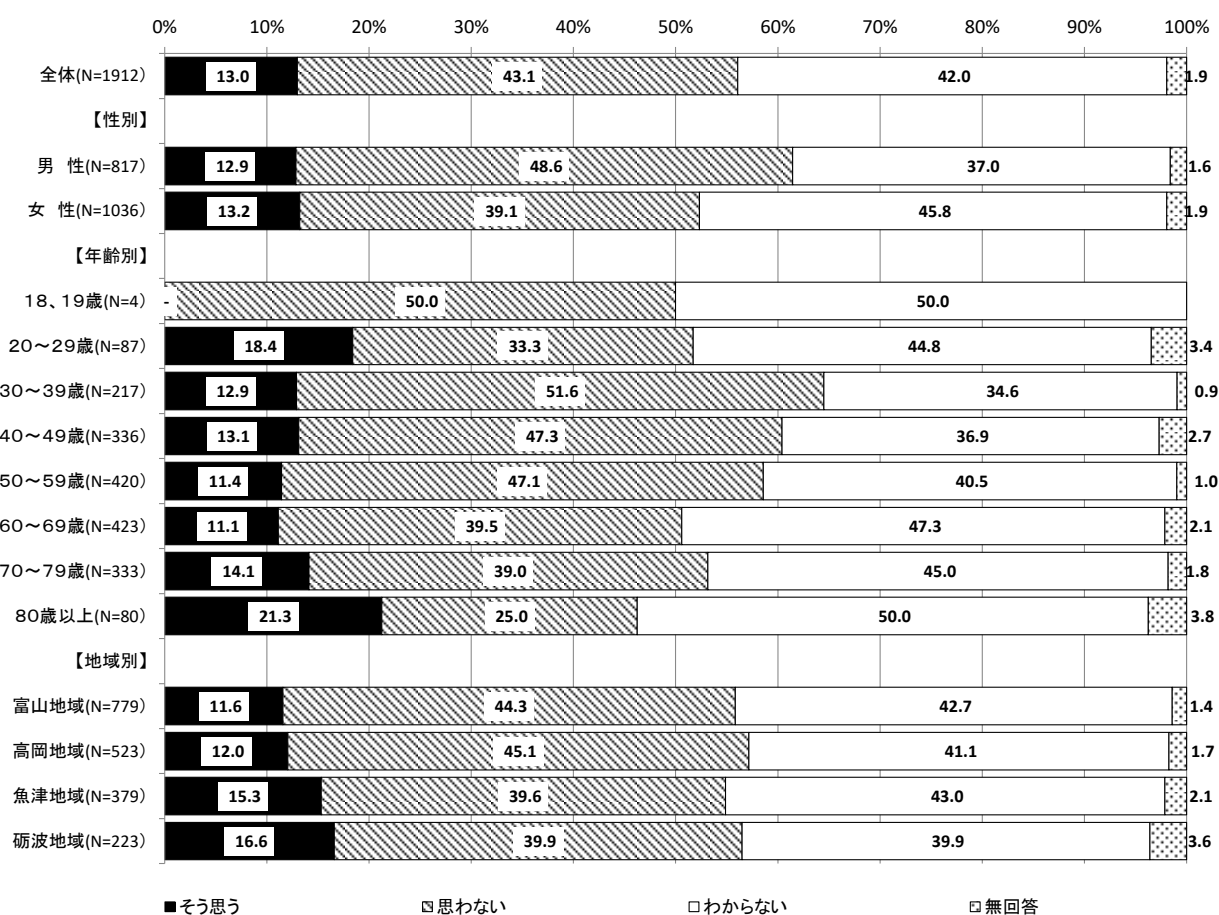
- ・「そう思う」は「20～29歳」と「80歳以上」で他の年代に比べて高くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「富山地域」、「高岡地域」が約12%と他の地域に比べて低くなっている。

図表31 多くの県内企業が海外へ進出

単位：％



5) デジタル技術の活用等により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっている

①全体

- ・「そう思う」が44.0%、「思わない」が23.8%、「わからない」が30.3%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が45.7%で「男性」よりもやや高くなっている。

③年齢別

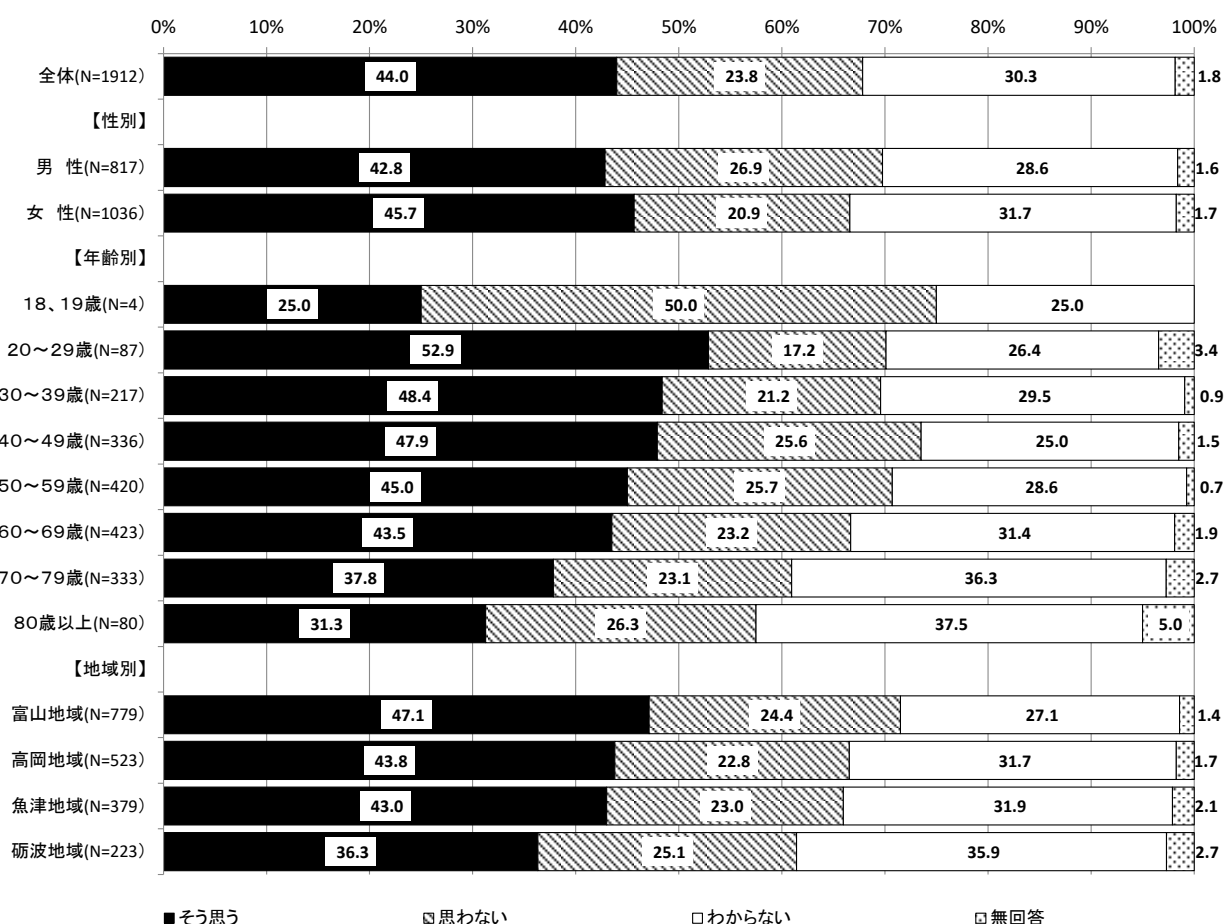
- ・「そう思う」は「20～29歳」で52.9%と最も高く、年代が上がるにつれて低くなり、「80歳以上」では31.3%となっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「富山地域」が47.1%で最も高くなっている。

図表32 デジタル技術の活用が進む

単位：％



6) 安心して子どもを生み育てることができる、こどもまんなか社会となり、少子化に歯止めがかかっている

①全体

- ・「そう思う」が6.5%、「思わない」が29.8%、「わからない」が44.0%となっている。

②性別

- ・「思わない」は「男性」が72.2%で、「女性」よりも6.4ポイント高くなっている。

③年齢別

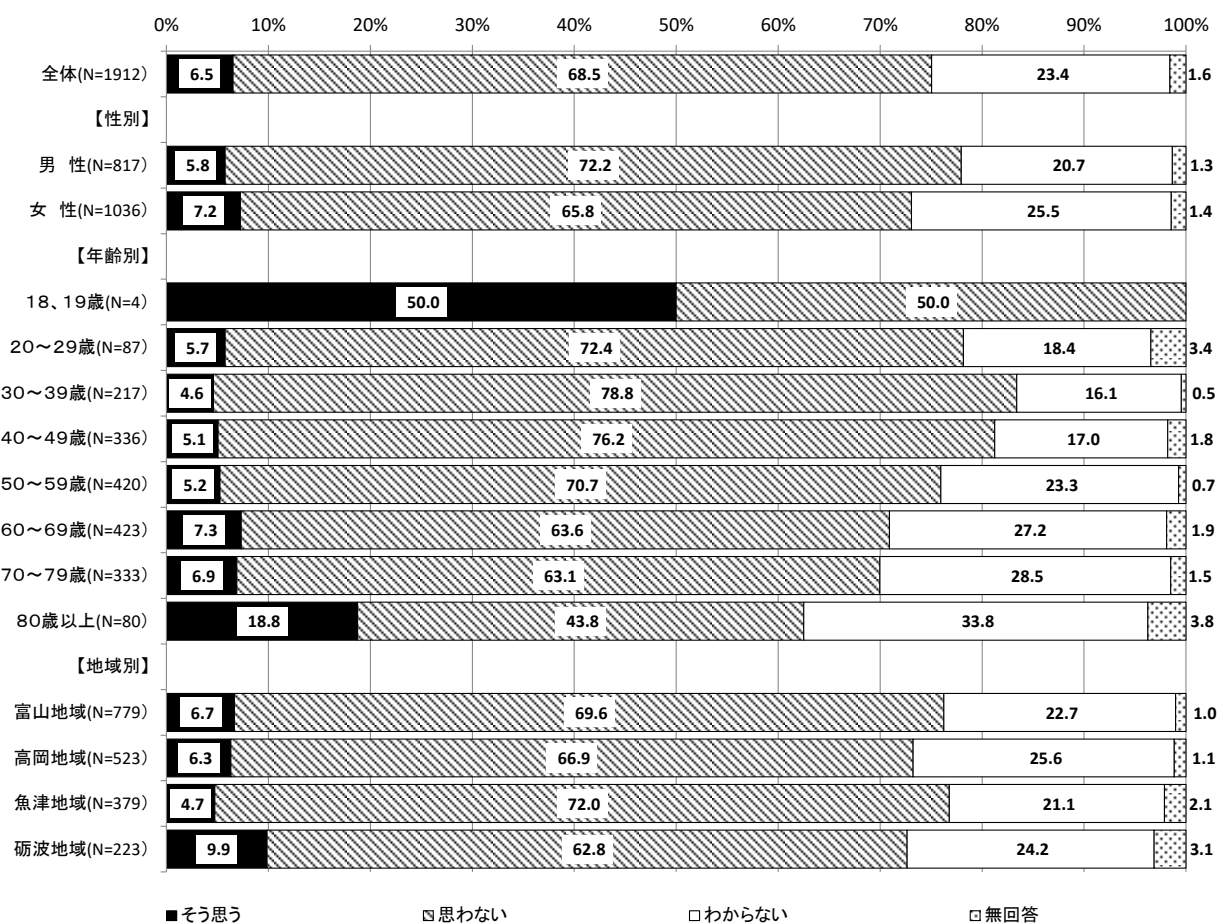
- ・「思わない」は「30～39歳」で78.8%と最も高くなっている。

④地域別

- ・「思わない」は「魚津地域」が72.0%で最も高くなっている。

図表33 こどもまんなか社会となり、少子化に歯止め

単位：％



7) 基礎的な学力を身につける教育に加え、子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育が行われている

①全体

- ・「そう思う」が17.8%、「思わない」が35.6%、「わからない」が44.5%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が18.6%で「男性」よりもやや高くなっている。

③年齢別

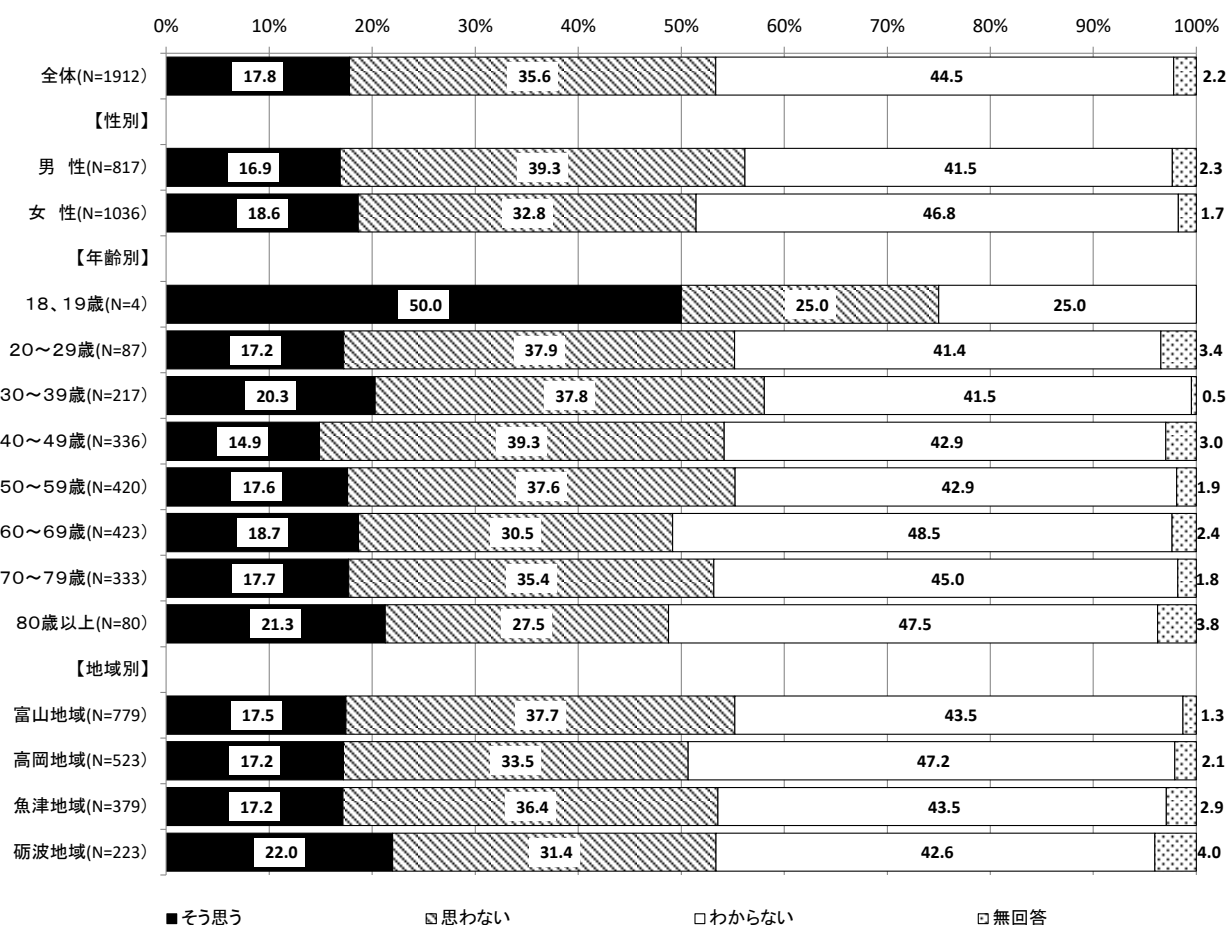
- ・「そう思う」は「30～39歳」、「80歳以上」で20%を超えている。

④地域別

- ・「そう思う」は「砺波地域」が22.0%で最も高くなっている。

図表34 子どもの才能や個性を伸ばす教育の実現

単位：％



8) 学術研究や科学技術、スポーツ、文化など様々な分野で国内外で活躍する人が増えている

①全体

- ・「そう思う」が24.4%、「思わない」が29.8%、「わからない」が44.0%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「男性」と「女性」の間で大きな差は見られない。「思わない」は「男性」が6.7ポイント高くなっている。

③年齢別

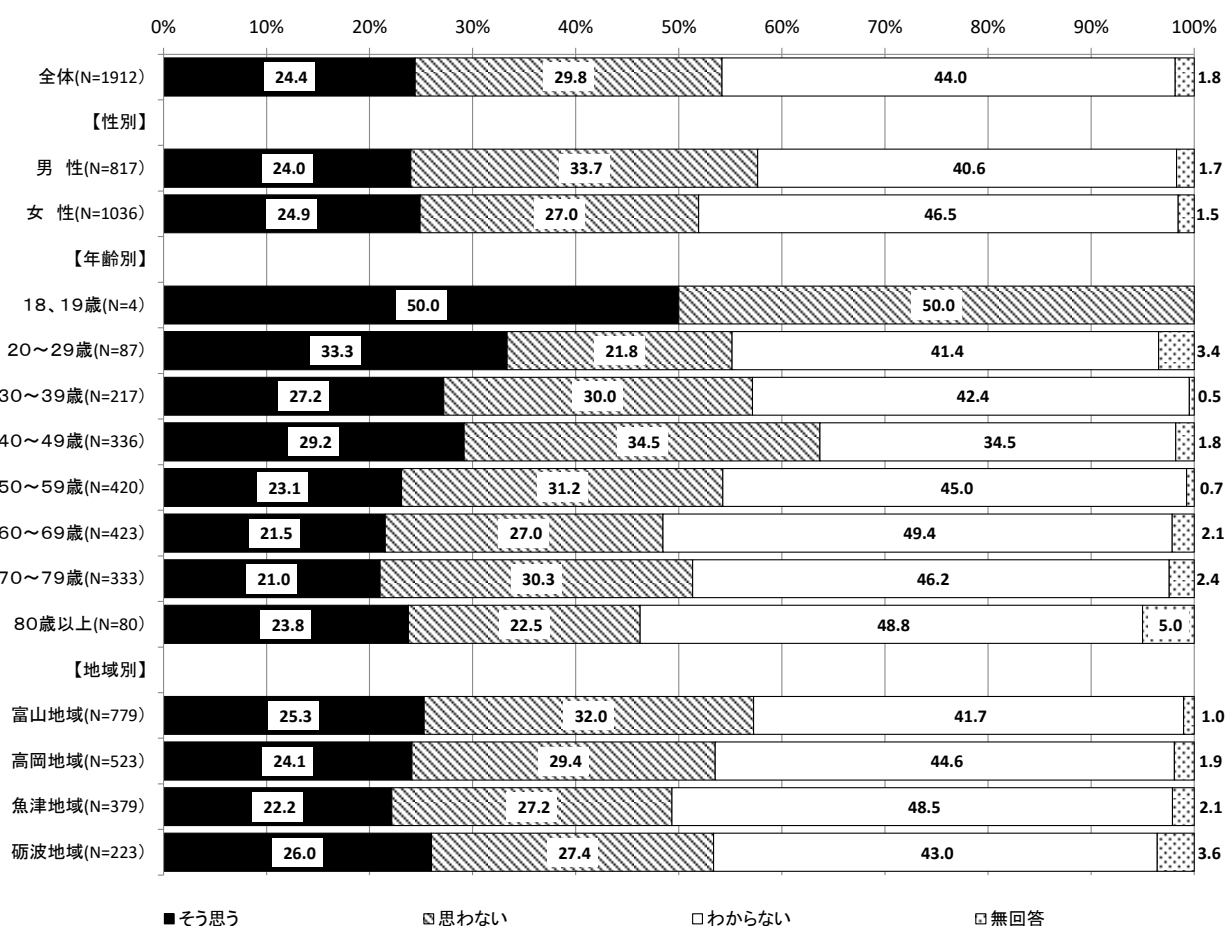
- ・「そう思う」は「20～29歳」で33.3%と高くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「魚津地域」で22.2%と他の地域に比べてやや低くなっている。

図表35 様々な分野で国内外で活躍する人が増加

単位：％



9) 音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている

①全体

- ・「そう思う」が29.0%、「思わない」が28.1%、「わからない」が41.1%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が31.5%で「男性」よりも5.2ポイント高くなっている。

③年齢別

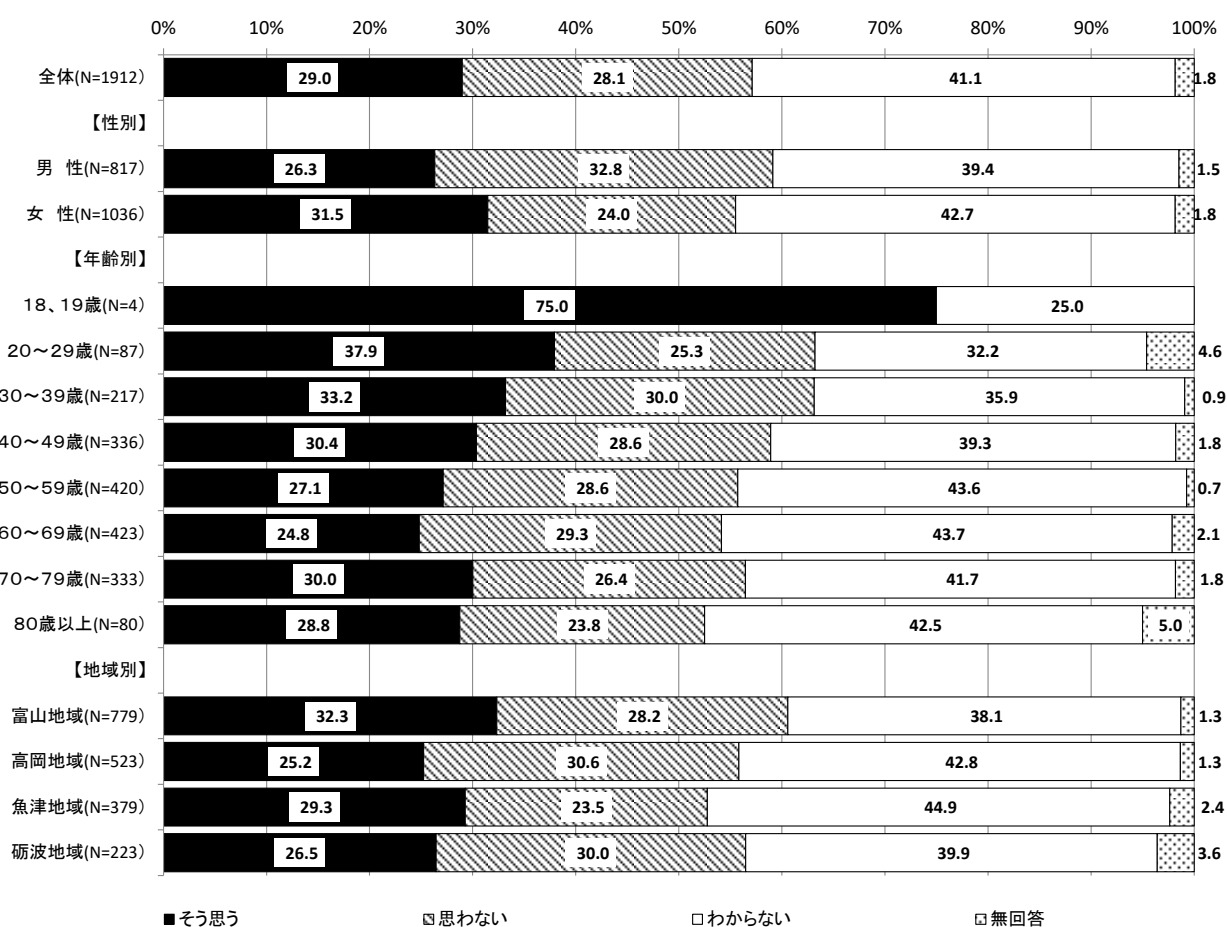
- ・「60～69歳」が24.8%と最も低くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「富山地域」が32.3%と他の地域に比べてやや高くなっている。

図表36 様々な文化を楽しむ機会が増加

単位：％



10) 地域づくりや福祉、生涯学習、国際交流・協力などのボランティア、NPO（民間非営利組織）などの活動が盛んになっている

①全体

- ・「そう思う」が19.2%、「思わない」が28.2%、「わからない」が50.9%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が20.5%で、「男性」よりもやや高くなっている。

③年齢別

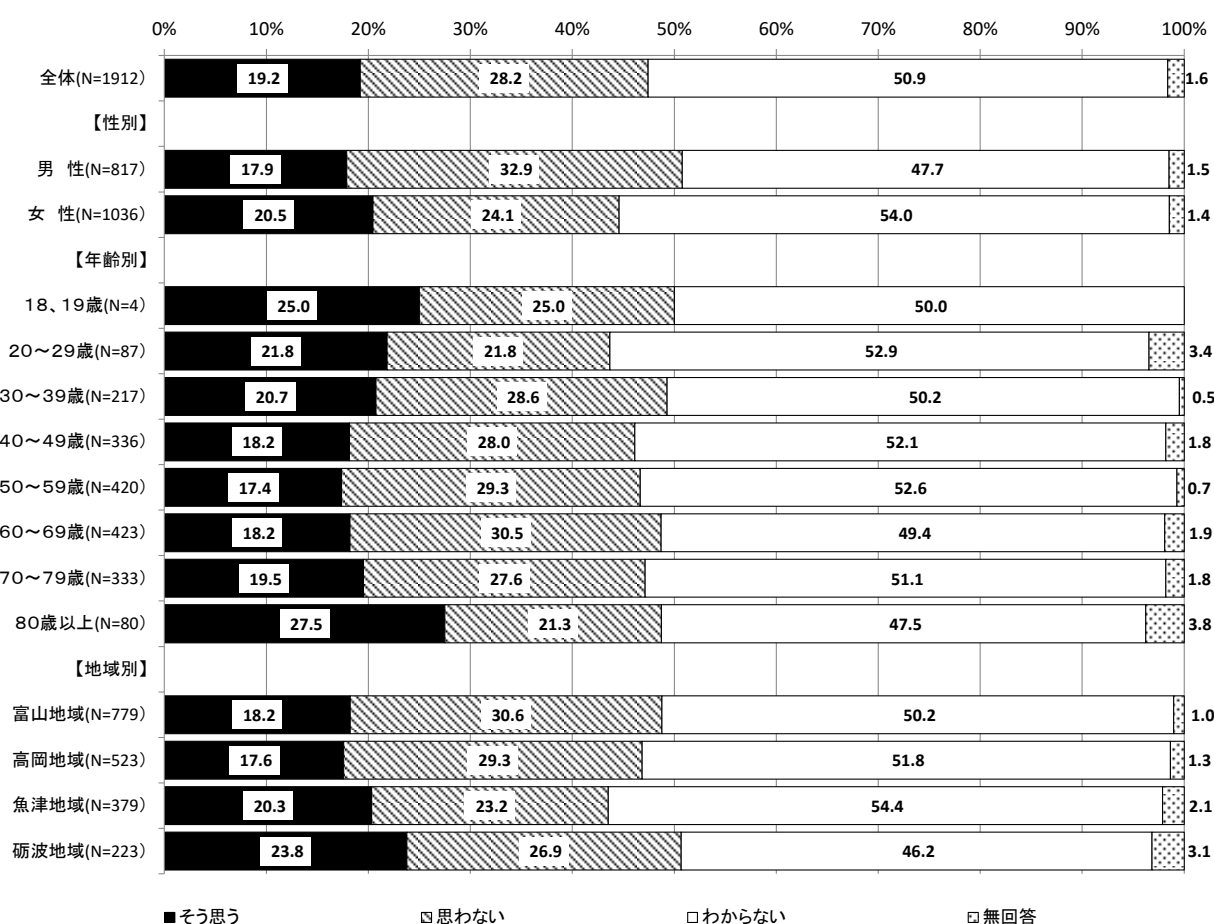
- ・「そう思う」は「50～59歳」が17.4%で最も低く、「80歳以上」が27.5%で最も高くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「砺波地域」が23.8%で最も高くなっている。

図表37 ボランティア、NPOなどの活動が活性化

単位：％



11) 医療・介護サービスの充実などにより、いつまでも元気に活躍できる社会が実現している

①全体

- ・「そう思う」が20.7%、「思わない」が38.2%、「わからない」が38.9%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が22.3%で「男性」よりもやや高くなっている。

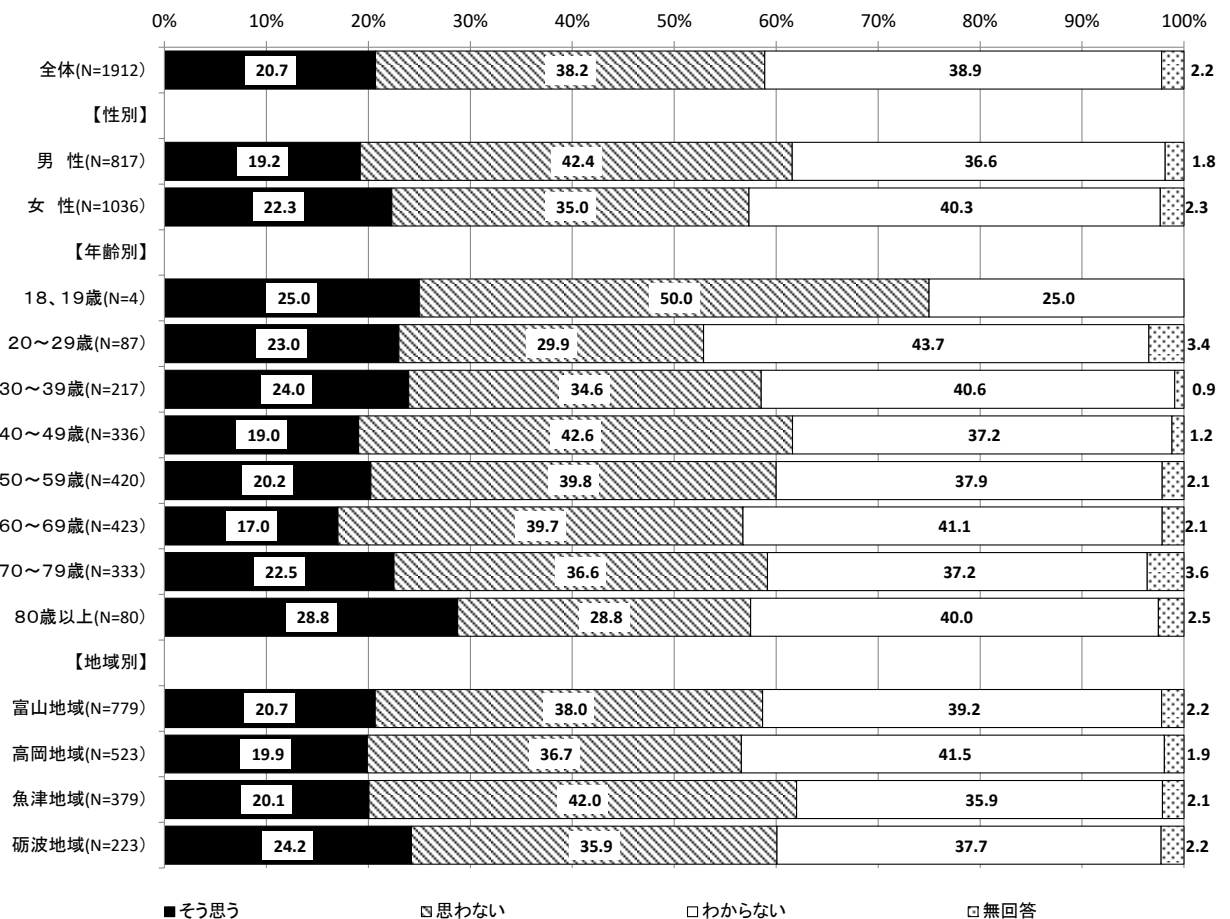
③年齢別

- ・「そう思う」は「60～69歳」が17.0%で最も低く、「80歳以上」では28.8%で最も高くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「砺波地域」が24.2%で最も高くなっている。

図表38 医療・介護サービスの充実で、いつまでも元気に活躍できる社会が実現 単位：％



12) 高齢者、障害者、外国人等、誰もが自分が望む地域で自立して生活できる社会が実現している

①全体

- ・「そう思う」が11.8%、「思わない」が47.6%、「わからない」が38.4%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「女性」が13.5%で、「男性」よりもやや高くなっている。

③年齢別

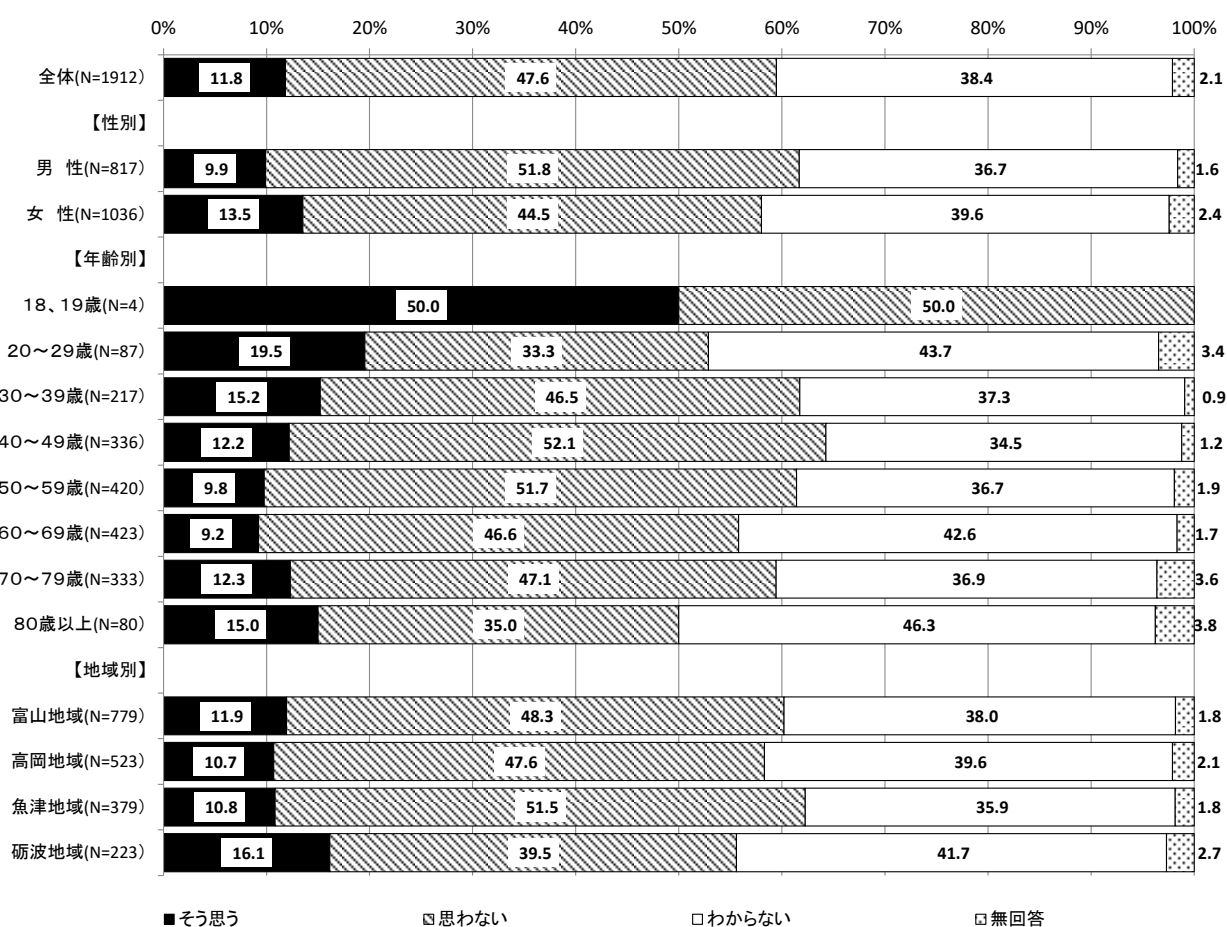
- ・「そう思う」は「60～69歳」が9.2%で最も低く、「50～59歳」も10%を下回っている。

④地域別

- ・「そう思う」は「砺波地域」が16.1%で最も高くなっている。

図表39 誰もが自分が望む地域で自立して生活できる社会が実現

単位：％



13) 環境に対する意識が高まり、持続可能なライフスタイルが定着している

①全体

- ・「そう思う」が19.9%、「思わない」が33.5%、「わからない」が44.5%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「男性」と「女性」の間で大きな差は見られない。「思わない」は「男性」が6.8ポイント高くなっている。

③年齢別

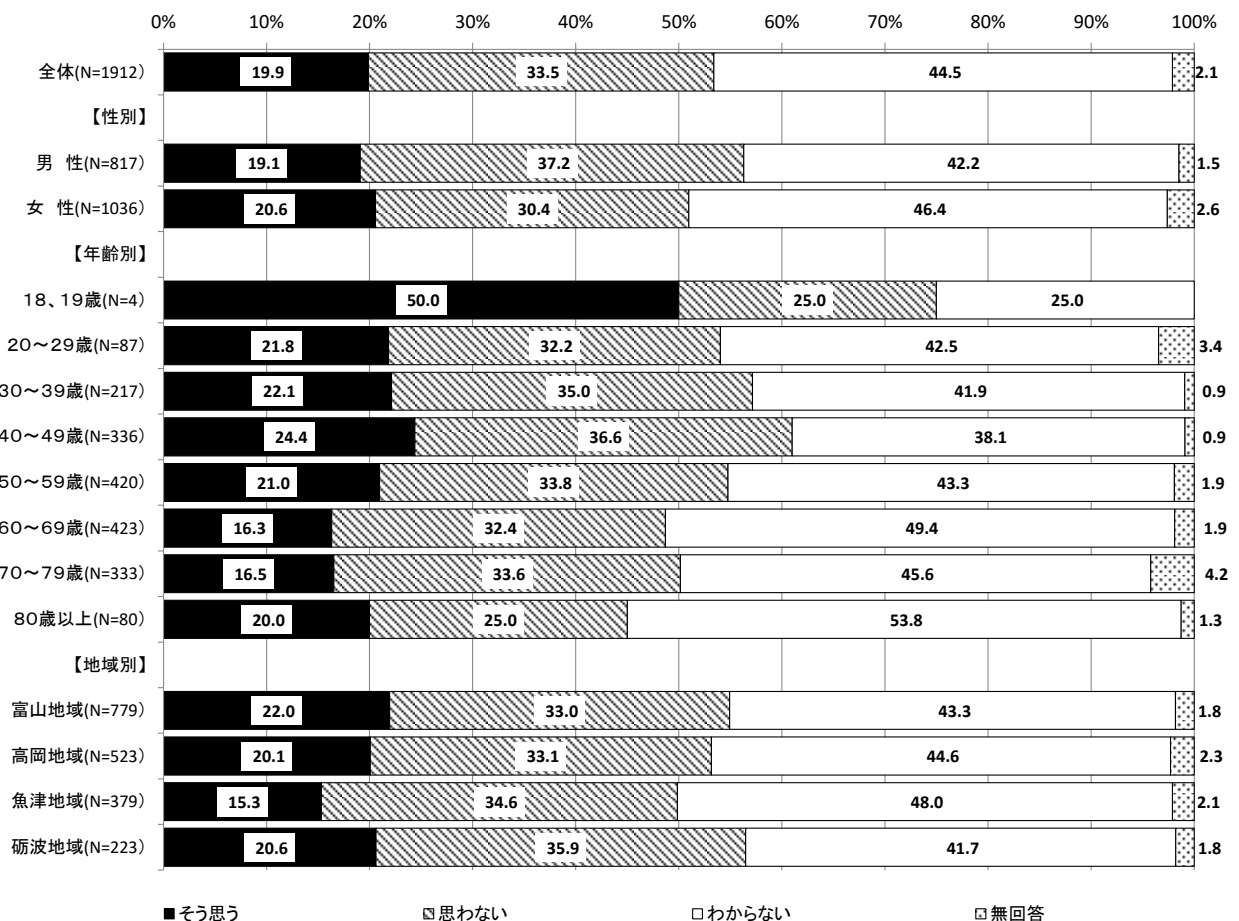
- ・「そう思う」は「60～69歳」、「70～79歳」で20%を下回っている。

④地域別

- ・「そう思う」は「魚津地域」で15.3%と最も低くなっている。

図表40 持続可能なライフスタイルが定着

単位：％



14) 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている

①全体

- ・「そう思う」が13.2%、「思わない」が44.7%、「わからない」が40.2%となっている。

②性別

- ・「そう思う」は「男性」が15.9%で、「女性」よりも4.7ポイント高くなっている。

③年齢別

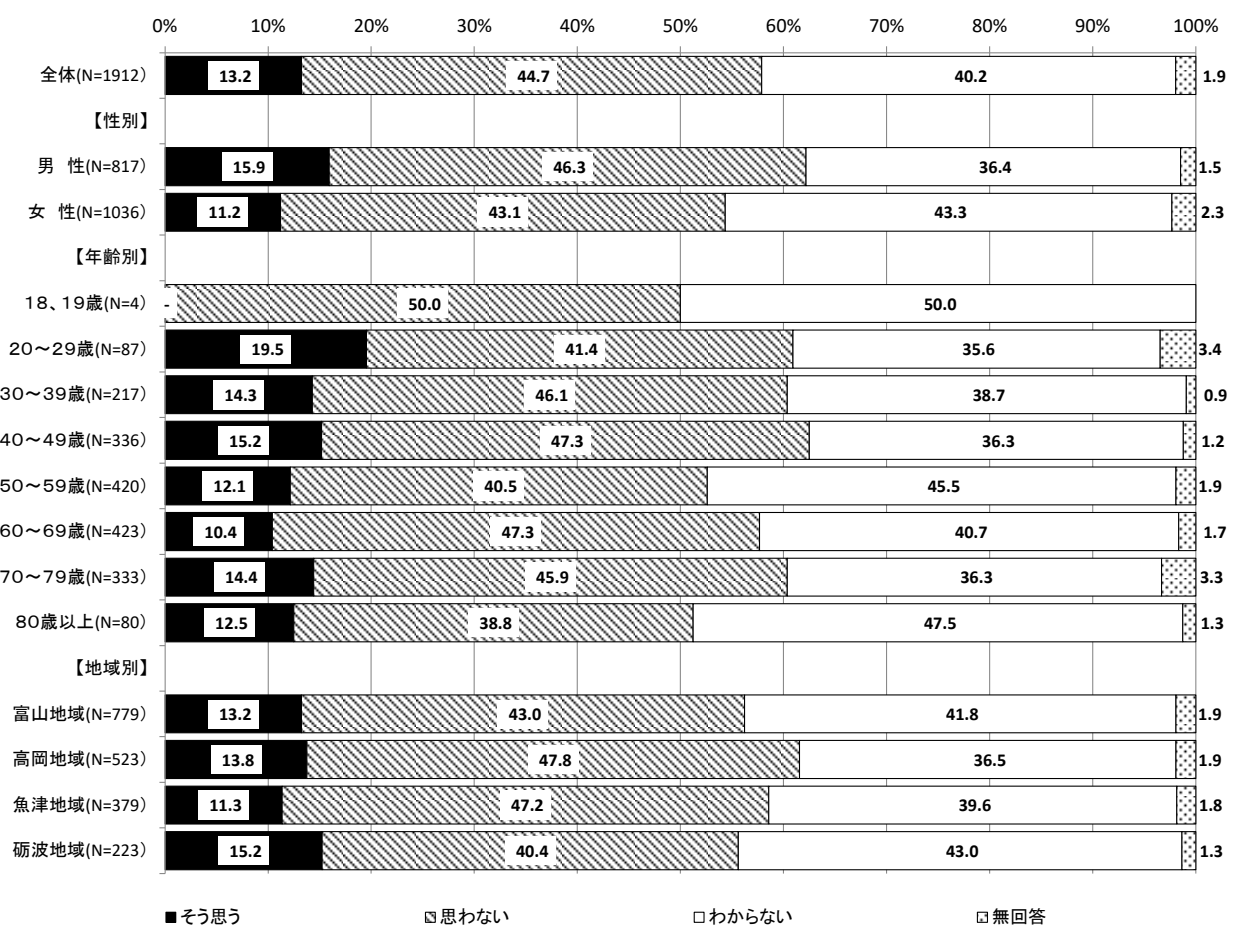
- ・「そう思う」は「20～29歳」で19.5%と高く、「60～69歳」で10.4%と低くなっている。

④地域別

- ・「そう思う」は「魚津地域」で11.3%と最も低くなっている。

図表41 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会が実現

単位：％



2. 個別政策に係る調査

(1) ウェルビーイングについて

<いま>

ウェルビーイング（Well-being）は、心も身体も社会的にも”満たされた状態”、実感としての幸せ、心の豊かさなどを表す言葉として、国内外で注目が高まっている。

国では、「経済財政運営と改革の基本方針 2024」（骨太方針 2024）（令和6年6月21日）に、「行政におけるWell-being指標の活用を促進する」等の文言を盛り込むなど、国の政策においてもウェルビーイングが重要な観点となってきた。

県では、令和4年2月に策定した「富山県成長戦略」において、ウェルビーイングを”中心”に位置付け、「幸せ人口 1000 万～ウェルビーイング先進地域、富山～」のビジョンを掲げている。一人ひとりが、様々な人や社会との”つながり”の中で、日々、”自分らしく”生活していることに満足でき、心豊かに、幸せをずっと実感できる富山県を目指し、ウェルビーイング向上のための施策を展開している。

なお、令和4年9月にウェルビーイングに関する県民意識調査を実施し、その結果を踏まえ同年12月には、富山県独自のウェルビーイング指標を策定した。指標やそのデータは政策形成に活用し、県民起点のきめ細やかな政策展開に繋げていく。

問4 ウェルビーイングについてご存知か教えてください。

(ア) 全体

- ・ウェルビーイングの認知度を尋ねたところ、「言葉も意味も知っている」は20.7%、「言葉は知っているが、意味は知らない」は27.6%で、『知っている』（「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味は知らない」を合算したもの）は48.3%であった。「言葉も意味も知らない」は50.2%と『知っている』をやや上まわる。

(イ) 性別

- ・『知っている』では男女差は見られないが、「言葉も意味も知っている」は「男性」が24.5%と「女性」の18.3%に比べて6.2ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

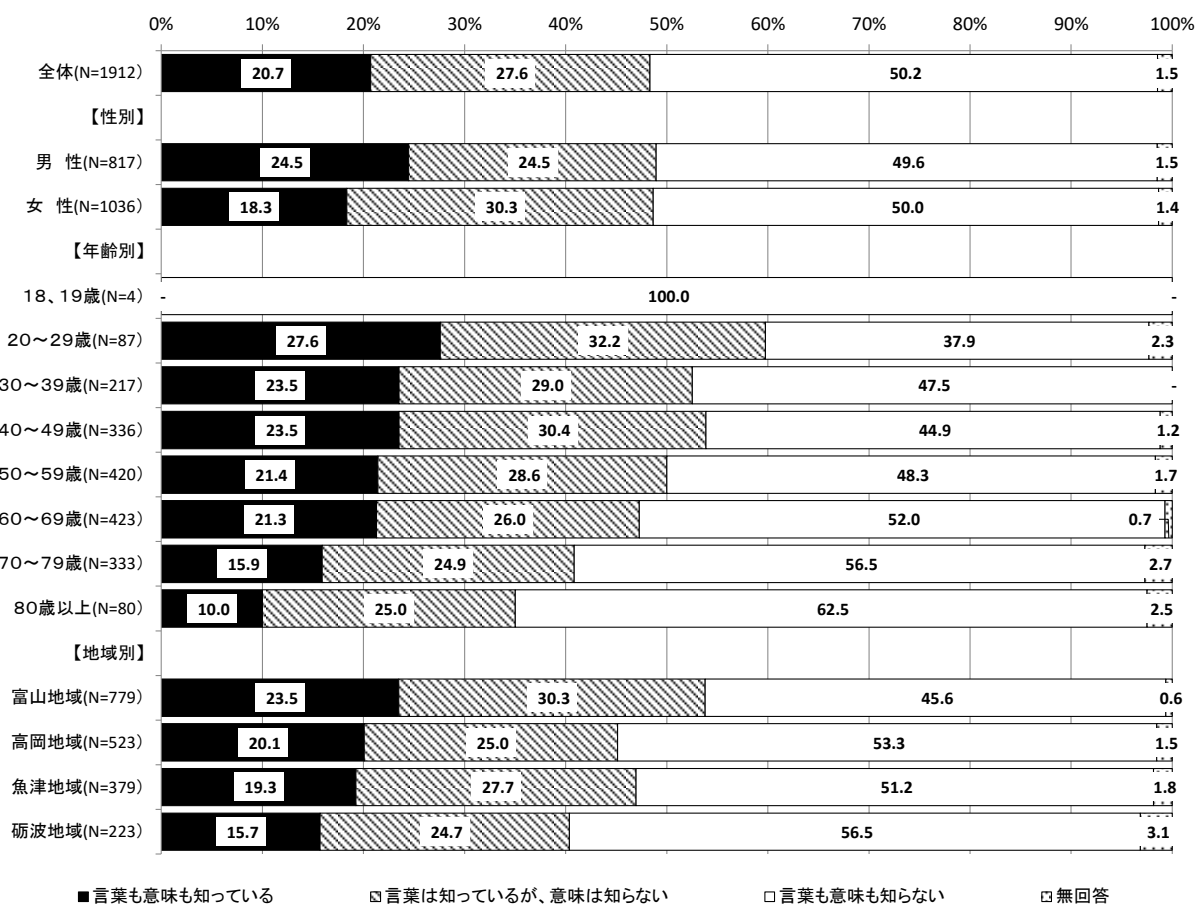
- ・『知っている』は、「20～29歳」が59.8%と最も高く、年代が上がるにつれて低くなり、「80歳以上」では35.0%となっている。

(エ) 地域別

- ・『知っている』は、「富山地域」が53.8%と他の地域に比べて高くなっている。

図表42 ウェルビーイングの認知度

単位：％



問4－1 問4で、「1. 言葉も意味も知っている」と回答した方にお尋ねします。
ウェルビーイングを知った主なきっかけを3つ以内で選んでください。

(ア)全体

- ・「新聞や雑誌、テレビなどの媒体」が73.0%と最も高く、次いで「ホームページ（ウェブサイト）・SNS」が26.8%、「職場・仕事での取組み」が22.7%となっている。

(イ)性別

- ・「ホームページ（ウェブサイト）・SNS」、「職場・仕事での取組み」は「男性」が「女性」に比べて、それぞれ約9ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

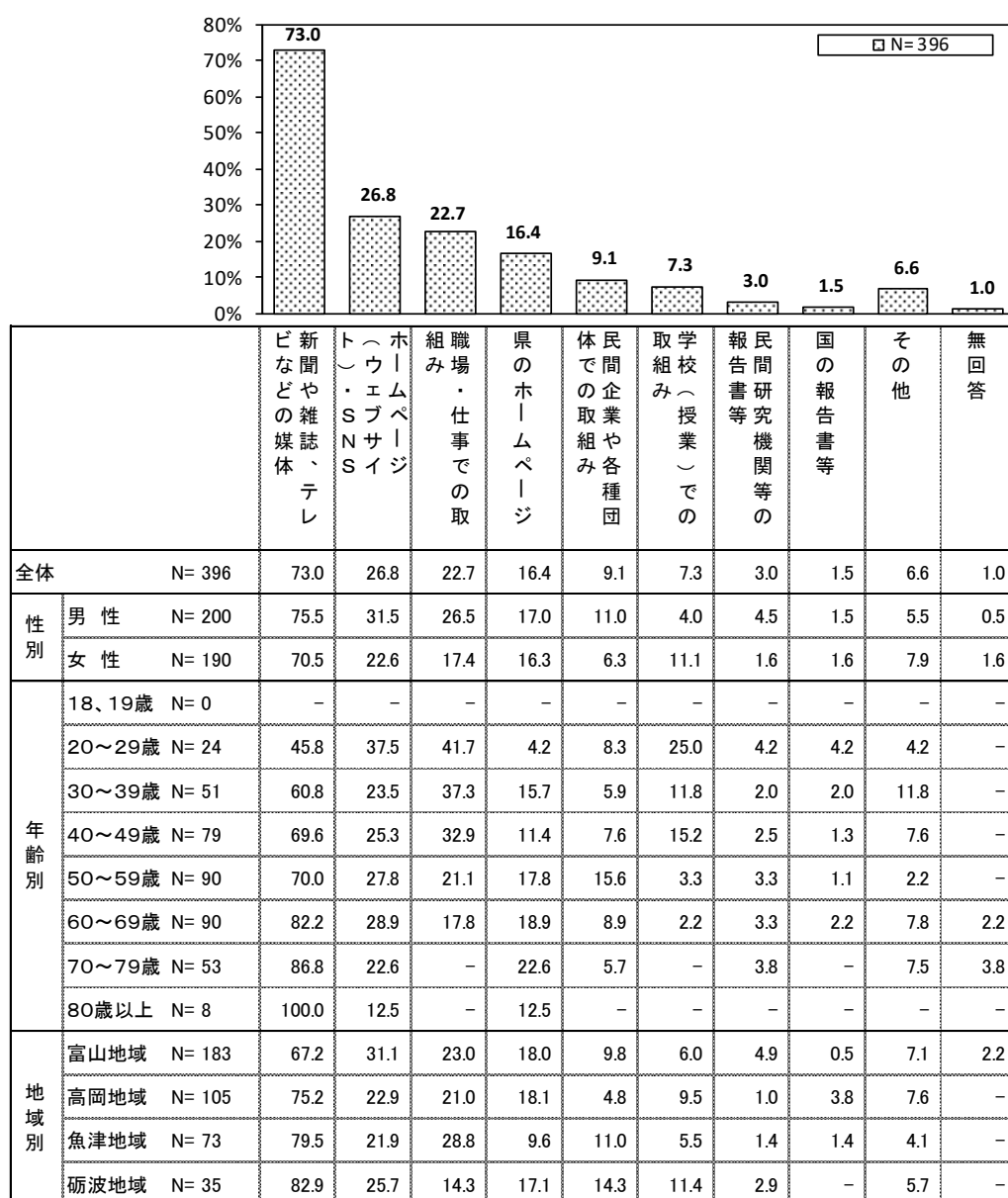
- ・「新聞や雑誌、テレビなどの媒体」は「20～29歳」が45.8%と最も低く、年代が上がるにつれて高くなり、「80歳以上」では100%となっている。
- ・「20～29歳」では、「職場・仕事での取組み」が41.7%と最も高く、「30～39歳」、「40～49歳」でも3割を超えている。

(エ)地域別

- ・「砺波地域」は「新聞や雑誌、テレビなどの媒体」が82.9%と他の地域と比べて高くなっている。

図表43 ウェルビーイングを知ったきっかけ

単位：％



＜調査結果を受けて＞

今回の調査結果では、「言葉も意味も知っている」は 20.7%（前回 16.9%）、「言葉は知っているが、意味は知らない」は 27.6%（前回 26.0%）であり、前回と比べて認知度の向上は見られるものの、県民の皆様への更なる浸透が必要である。

ウェブサイトやSNS等での情報発信を引き続き実施していくほか、県民一人ひとりにウェルビーイングを「自分ごと」として捉えていただけるよう、指標も活用し、年代等に応じて発信手法を工夫しながら、普及促進のための施策を展開していく。

（２）ブランディング戦略について

<いま>

「富山県成長戦略」では、新しい富山県の更なる発展に向けて、戦略のビジョンとして「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を掲げ、ウェルビーイングの向上により人材交流の活性化、人材の集積を図り、富山県成長戦略の取組みを進め「関係人口1000万人」を目指している。その実現のため、県では、富山の強みを一体的にPRできる「寿司」に焦点を絞り、「寿司」を入口として、伝統文化や食文化、自然環境など富山県が世界に誇る魅力を県内外の方々に知ってもらうことで、本県のブランド力を強化する「寿司といえば、富山」ブランディングを推進している。

問5 あなたは、「寿司」をどの程度食べていますか。（「寿司」は、握り寿司、ます寿司、のり巻き、いなり寿司、ちらし寿司、地域に伝わるお寿司などを含みます。）

(ア) 全体

- ・「月に4回程度以上食べる」は12.1%、「月に1～3回程度食べる」は48.0%で、『月に1回以上食べる』は6割を超えている。

(イ) 性別

- ・『月に1回以上食べる』は、「男性」が54.5%に対して、「女性」は65.6%と、「女性」が「男性」に比べて11.1ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

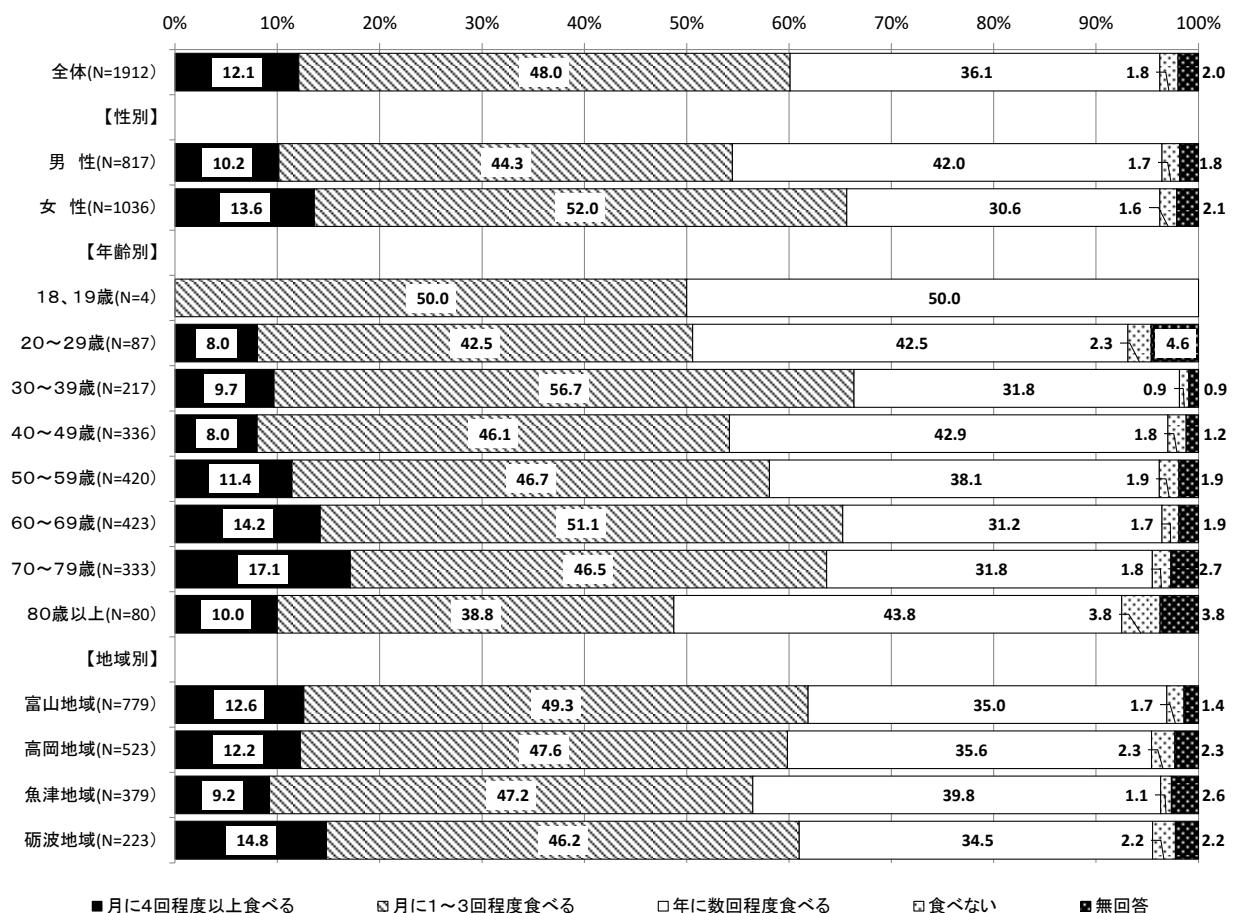
- ・『月に1回以上食べる』は、「30～39歳」が66.4%と最も高く、次いで「60～69歳」が65.3%となっている。
- ・『月に1回以上食べる』は「20～29歳」、「80歳以上」は5割前後と他の年代と比べて低くなっている。

(エ) 地域別

- ・『月に1回以上食べる』は、「富山地域」で61.9%と、他の地域に比べて高くなっている。

図表44 「寿司」を食べる頻度

単位：％



問6 あなたは、県内の「寿司」を県外の知人、友人等に積極的に勧めたいですか。

(ア) 全体

- ・「ぜひ勧めたい」が45.8%、「どちらかと言えば勧めたい」が44.5%であり、『勧めたい』（「ぜひ勧めたい」と「どちらかと言えば勧めたい」を合算したもの）は90.3%となっている。

(イ) 性別

- ・『勧めたい』は「男性」が87.9%に対して、「女性」は92.2%と、「女性」が4.3ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

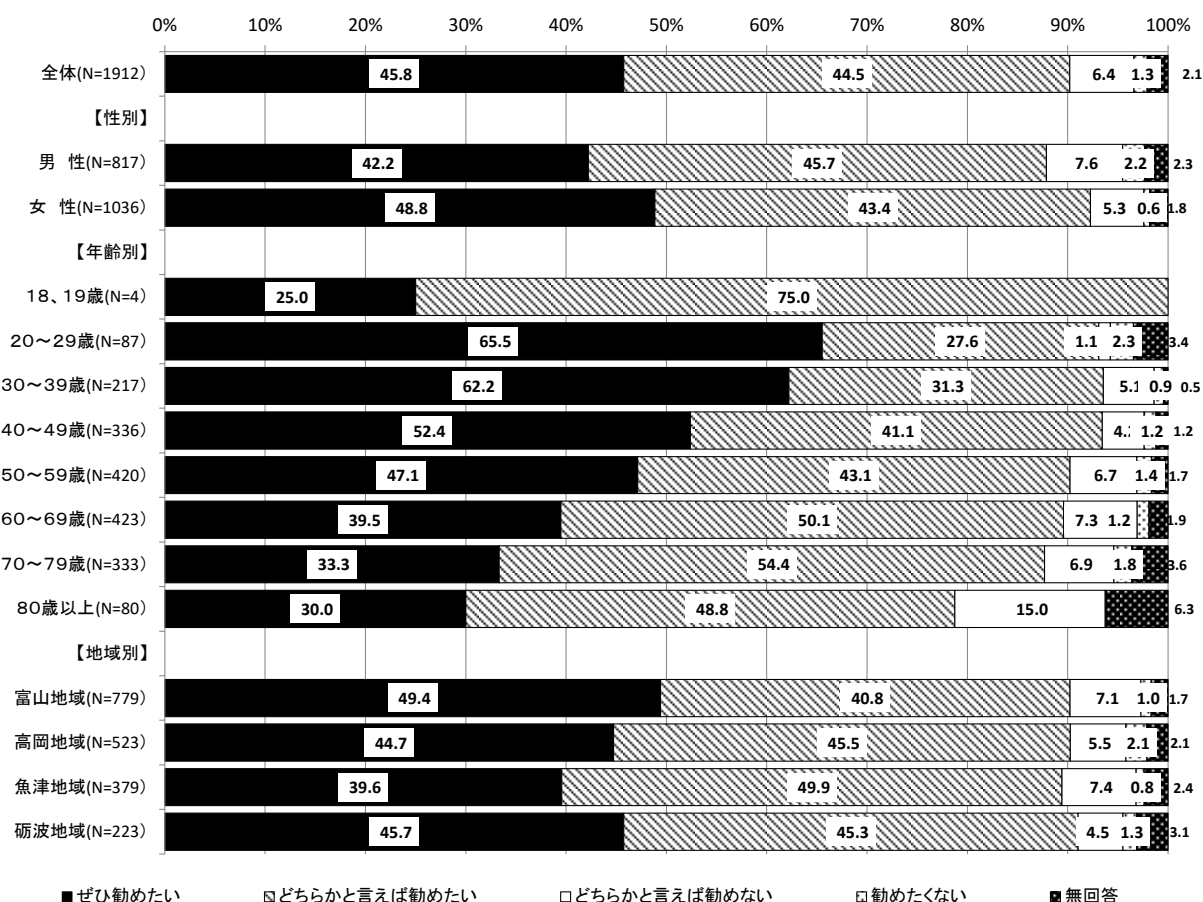
- ・「ぜひ勧めたい」は「20～29歳」で65.5%と最も高く、年代が上がるにつれて低くなり、「80歳以上」では30.0%となっている。『勧めたい』は60歳未満で9割を超えている。

(エ) 地域別

- ・『勧めたい』は、すべての地域で9割近くとなっている。

図表45 「寿司」を県外の知人、友人などに勧めたいか

単位：％



<調査結果を受けて>

今回の調査結果では、前回に続き、富山の「寿司」を県外の知人・友人等に「ぜひ勧めたい」と回答した方が5割弱、「どちらかと言えば勧めたい」と回答した方を含めると9割を超えており、寿司に親しみを持つ県民が多いことがわかる。

また、「寿司」をどの程度食べるかについて、「月に4回程度以上食べる」及び「月に1～3回程度食べる」と回答した方の割合が約6割を占めていることから、日常的に寿司を消費し、暮らしの中に浸透していることが示唆される。

今後も指標を活用し、富山の寿司の美味しさに加え、その背景にある本県ならではの強みを、ウェブサイトやSNS、PR動画、イベントの開催等を通じて発信するなど、富山の「寿司」を県外の知人・友人等に「ぜひ勧めたい」と回答する方がより増加するよう、市町村や関係団体等と連携し、効果的なブランディング戦略を推進していく。

(3) SDGs、カーボンニュートラルの推進について

<いま>

SDGs

SDGs（「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals））とは、様々な課題に対して経済・社会・環境の三側面から統合的に取組み、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、2015年9月の国連サミットで採択された、すべての国が取り組むべき2030年を年限とする17の国際目標のことである。

我が国においても、国が日本の国内外においてSDGsを達成するための中長期的な国家戦略として「SDGs実施指針」を定め、その実施に最大限取り組むこととしており、地方創生の推進にあたっても、地域課題の解決を目指すための重要な観点であるとされている。

県は2019年に国の「SDGs未来都市」に選定され、「環日本海地域をリードする『環境・エネルギー先端県とやま』」を将来ビジョンに掲げ、SDGsの推進に取り組んでいる。

これまで、県内市町村、企業、NPO法人等の団体などのSDGsに向けた取組みの促進や、企業・団体等の連携を推進するためのフォーラム・ワークショップを開催してきたほか、県内企業・団体等が自身の事業活動とSDGsの取組みを関連付けし、SDGsに関する自社の取組みと目標を宣言する「富山県SDGs宣言」事業等を実施している。

カーボンニュートラル

近年、県内においても過去の観測を上回るような短時間豪雨や熱中症による救急搬送者数の増加など、気候変動によると思われる影響が既に現れている。地球温暖化の進行を止めるため、2050年までのカーボンニュートラル※の実現は世界共通の課題である。

県では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、適時適切な手段を選択しつつ、富山県のさらなる成長につなげるため、2030年度までの取組みを描く「富山県カーボンニュートラル戦略」を2023年3月に策定し、各種施策を進めている。

※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて実質的な排出量をゼロにすること。

問7 SDGsについてご存知か教えてください。

(ア) 全体

- ・「言葉も意味も知っている」は65.4%、「言葉は知っているが、意味は知らない」は22.3%であり、『知っている』（「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味は知らない」を合算したもの）は87.7%である。

(イ) 性別

- ・「言葉も意味も知っている」は、「男性」が68.2%に対して「女性」が64.0%と、「男性」が4.2ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

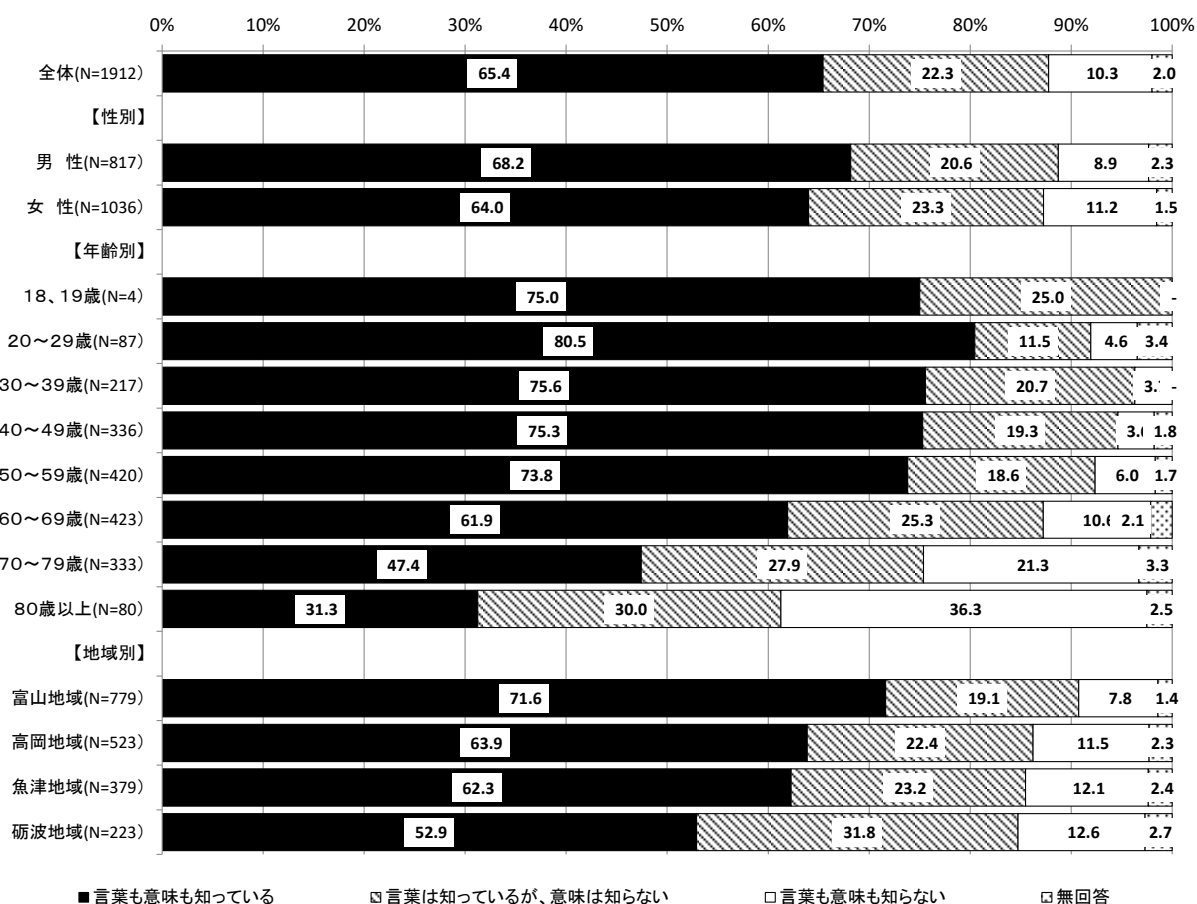
- ・「言葉も意味も知っている」は、「20～29歳」が80.5%と最も高く、年代が上がるにつれて低くなり「80歳以上」では31.3%となっている。『知っている』は60歳未満で9割を超えている。

(エ) 地域別

- ・「言葉も意味も知っている」は「富山地域」で71.6%と、他の地域に比べて高くなっている。

図表46 SDGsの認知度

単位：％



問 8 県では2023年3月に「富山県カーボンニュートラル戦略」を策定し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた各種施策を進めています。
あなたは、カーボンニュートラルについて関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・「非常に関心がある」は12.3%、「まあまあ関心がある」は41.2%で、『関心がある』（「非常に関心がある」と「まあまあ関心がある」を合算したもの）は53.5%と5割を超えている。

(イ)性別

- ・『関心がある』は、「男性」が52.8%に対して「女性」が55.0%と、「女性」が2.2ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

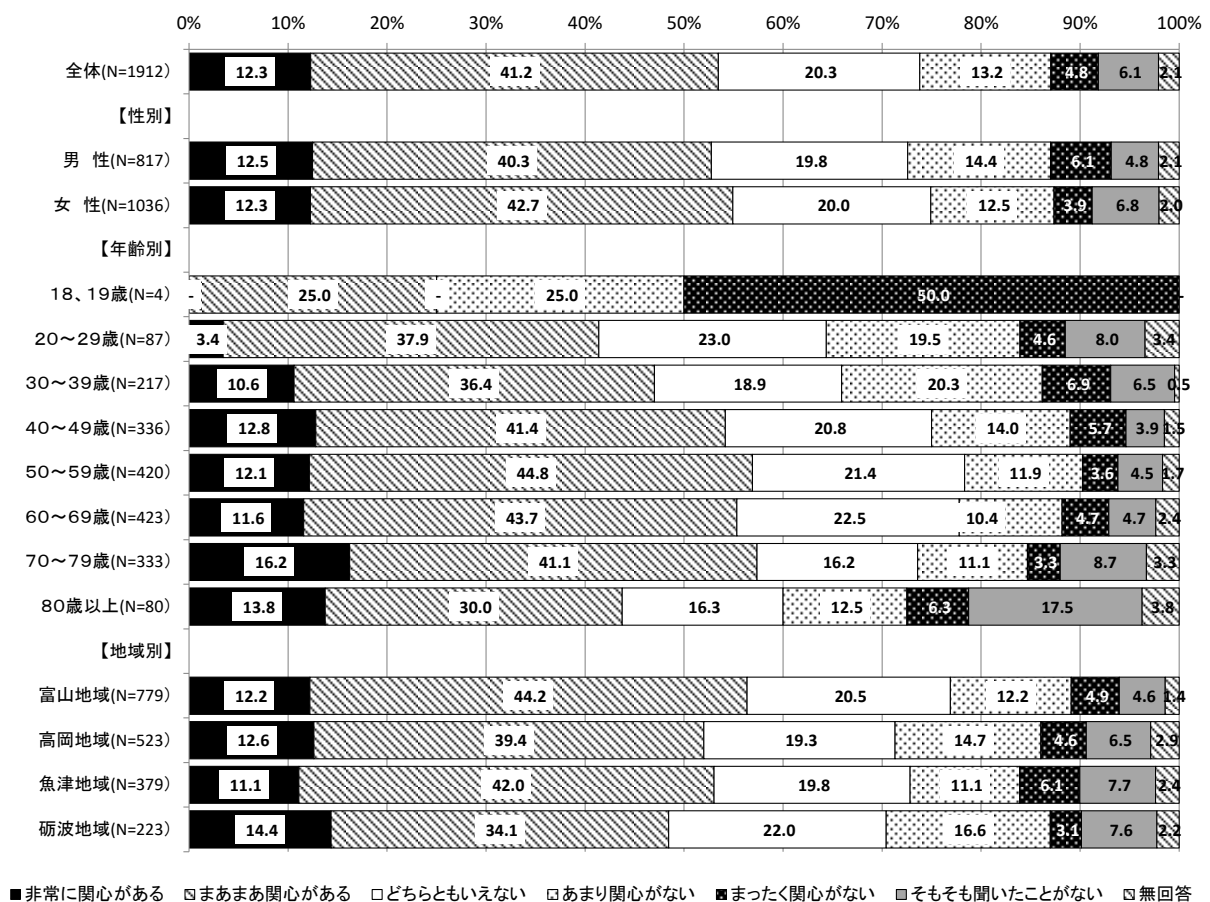
- ・『関心がある』は、「70～79歳」が57.3%と最も高く、40～79歳では5割を超えている。

(エ)地域別

- ・『関心がある』は、「富山地域」で56.4%と他の地域に比べて高くなっている。

図表47 カーボンニュートラルについての関心

単位：％



<調査結果を受けて>

SDGs

今回の調査結果で、『SDGsを知っている』と回答した方が87.7%（前回（令和3年度）72.0%）となり、SDGsの認知度は着実に向上している。

SDGsは、言葉を知っているだけではなく、意味も知ったうえで、行動することが大切であり、今後とも、各種広報媒体を活用し、県民一人ひとりへのSDGsの理解促進に向けた普及啓発に取り組むとともに、多くの県内企業等に「富山県SDGs宣言」に参画いただくことで、SDGsの取組みの推進に努めるとともに、SDGs達成につながる各種施策を通じ、持続可能な県づくりを進めていく。

カーボンニュートラル

今回の調査結果では、カーボンニュートラルについて『関心がある（「非常に関心がある」＋「まあまあ関心がある」）』と回答した割合が53.5%と過半数を超えたものの、前回（令和4年度）の59.6%と比較して6.1ポイント低下した。

カーボンニュートラルの実現には、各主体が「自分ごと」としてとらえ、行動することが重要であることから、カーボンニュートラルへの関心や意識が一層高まるよう施策を展開していく。

（４）食品ロスの削減について

＜いま＞

食品ロス削減は、国連サミットにおいて採決された持続可能な開発目標（SDG s）において、重要な柱に位置付けられるなど、世界的な課題となっている。

我が国でも、本来食べられるのに廃棄される「食品ロス」の排出量が、年間約472万トン（令和4年度農林水産省及び環境省推計）と計算されており、資源・環境等の観点から大きな問題となっている。

平成28年5月のG7富山環境大臣会合で採択された「富山物質循環フレームワーク」を踏まえ、県では、食品ロス・食品廃棄物の削減を進めるため、平成29年5月に有識者や事業者・消費者の関係団体などで構成する「富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議」を設置、平成30年11月には同会議のもとに「商慣習検討専門部会」を設置し、消費者、事業者、関係団体及び行政等が一丸となった県民総参加の運動として取り組んでいる。

国においては、「食品ロス削減推進法」のもと、国民運動としての食品ロスの削減が推進されるとともに、令和2年3月には、「食品ロス削減の推進に関する基本方針」が策定されるなど、取組みが一層強化されている。

本県においても、食品ロス削減の取組みを総合的に推進するため、令和2年4月に、「富山県食品ロス削減推進計画」を策定し、本計画に基づき、食品ロス削減の取組みの情報発信、食材の使いきりや飲食店等での食べ残しを削減する食べきりの推進、フードチェーン全体での商慣習見直し、フードバンク活動やフードドライブ等の未利用食品の有効活用など、食品ロス削減の取組みの加速化を図っている。

また、本計画の中間年の見直しを行うにあたり、令和5年度に食品ロス・食品廃棄物の発生状況を把握するための「食品ロス・食品廃棄物等実態調査」を実施したところ、家庭系食品ロスは2.7万トン（▲0.8万トン）、事業系食品ロスは1.3万トン（▲0.3万トン）と、前回調査（平成28年度）から合わせて1.1万トン減少した。

問9 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。

(ア)全体

- ・「よく知っていた」38.9%、「ある程度知っていた」は53.3%であり、『知っていた』（「よく知っていた」と「ある程度知っていた」を合算したもの）は92.2%と9割を超えている。

(イ)性別

- ・『知っていた』は「男性」が89.5%に対して「女性」が94.3%と、「女性」が4.8ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

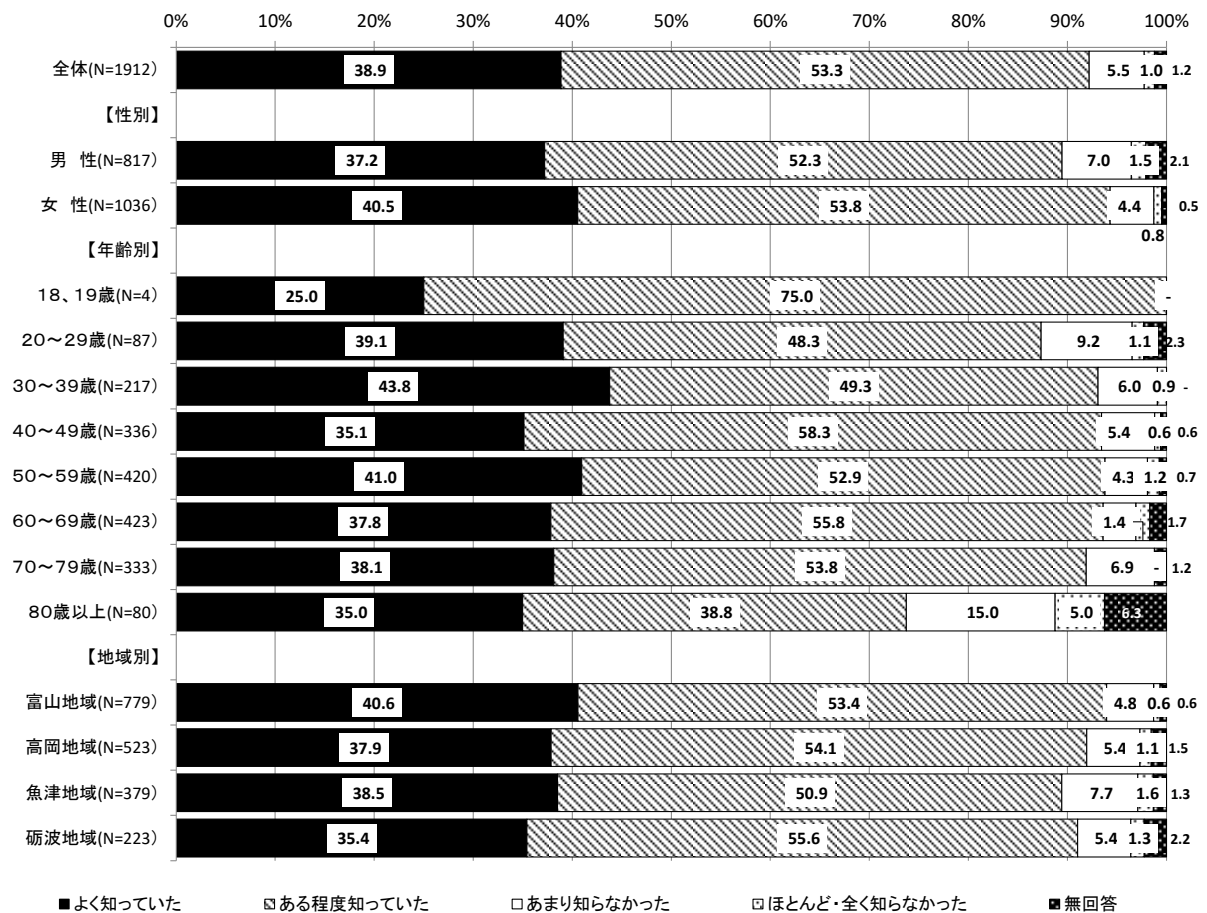
- ・『知っていた』は、「20～29歳」で87.4%、「80歳以上」で73.8%と、やや低い傾向があり、その他の年代では9割を超えている。

(エ)地域別

- ・『知っていた』は「富山地域」で94.0%と、他の地域に比べてやや高くなっている。

図表48 「食品ロス」問題の認知度

単位：％



問9－1 問9で、「1.よく知っていた」「2.ある程度知っていた」と回答した方にお尋ねします。食品流通段階における納品や販売の期限に関する「1/3ルール」といった商慣習が食品ロス発生の大きな要因となっています。本県では、フードチェーン全体で商慣習の見直しに取り組んでいただくため、「商慣習見直し宣言事業者」の募集・登録、小売店での「期限間近商品の優先購入促進キャンペーン」などに取り組んでいます。

あなたは、商慣習が食品ロス発生の大きな要因であることを知っていましたか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・「よく知っていた」は13.7%、「ある程度知っていた」は43.9%で、『知っていた』（「よく知っていた」と「ある程度知っていた」を合算したもの）は57.6%である。
- ・一方『知らなかった（「あまり知らなかった」＋「ほとんど・全く知らなかった」）』は41.1%であり、『知っていた』は『知らなかった』を16.4ポイント上まわっている。

(イ)性別

- ・『知っていた』、『知らなかった』は、男女間で大きな差は見られない。

(ウ)年齢別

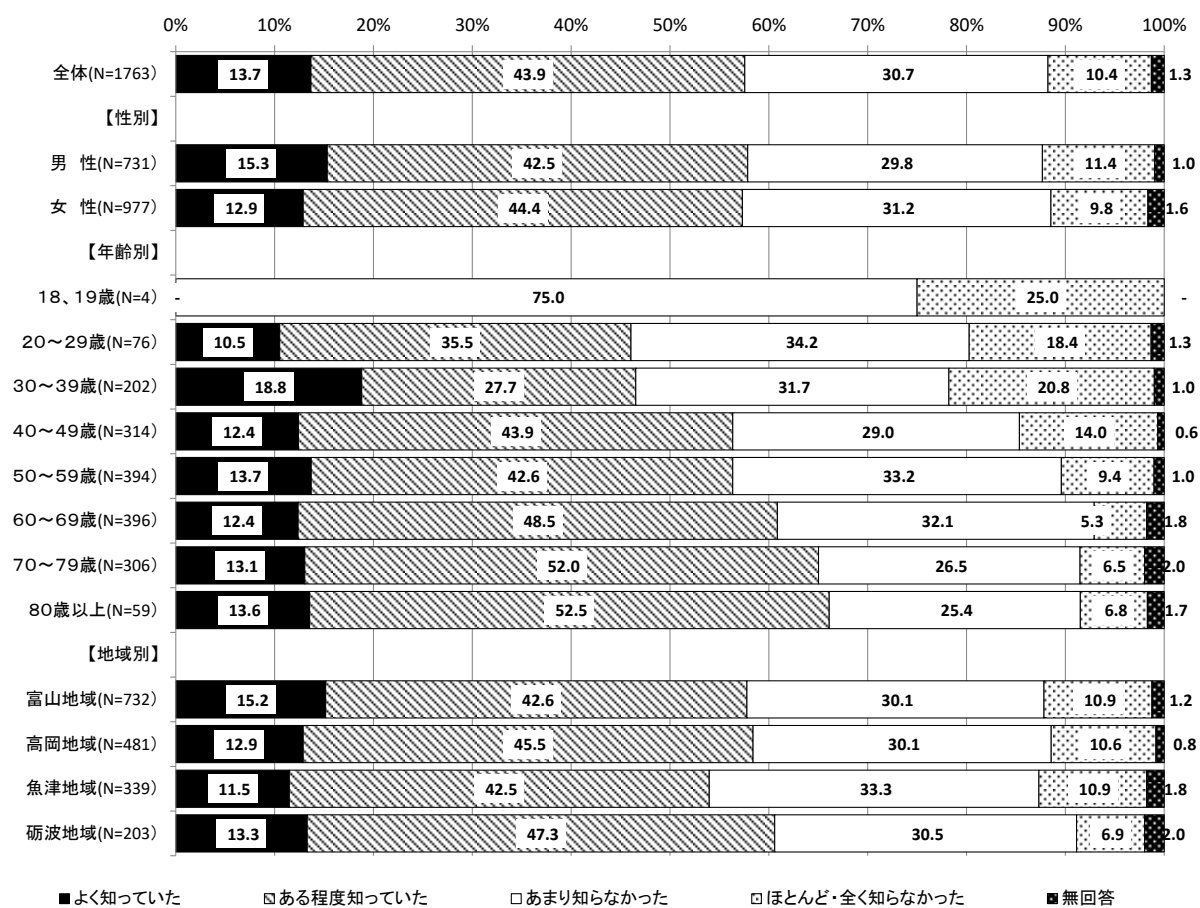
- ・『知っていた』は「20～29歳」、「30～39歳」で低く、年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。

(エ)地域別

- ・『知っていた』は、「砺波地域」で60.6%と、他の地域に比べてやや高くなっている。

図表49 商習慣が食品ロス発生の要因であることの認知度

単位：％



問10 「食品ロス」の軽減につながる以下の工夫の中で、あなたが取り組んでいることはありますか。次の中からすべて選んでください。

(ア)全体

- ・「「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか 判断する」が73.1%、「残さず食べる」が72.0%で7割を超えて高くなっている。次いで「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する」、「飲食店等で注文し過ぎない」が5割を超えている。

(イ)性別

- ・「女性」が「男性」を上回る選択肢が多く、特に「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」は「女性」が「男性」を16.7ポイント、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する」が15.7ポイント高くなっている。
- ・「飲食店等で注文し過ぎない」や「「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」も、「女性」が10ポイント以上高くなっている。

(ウ)年齢別

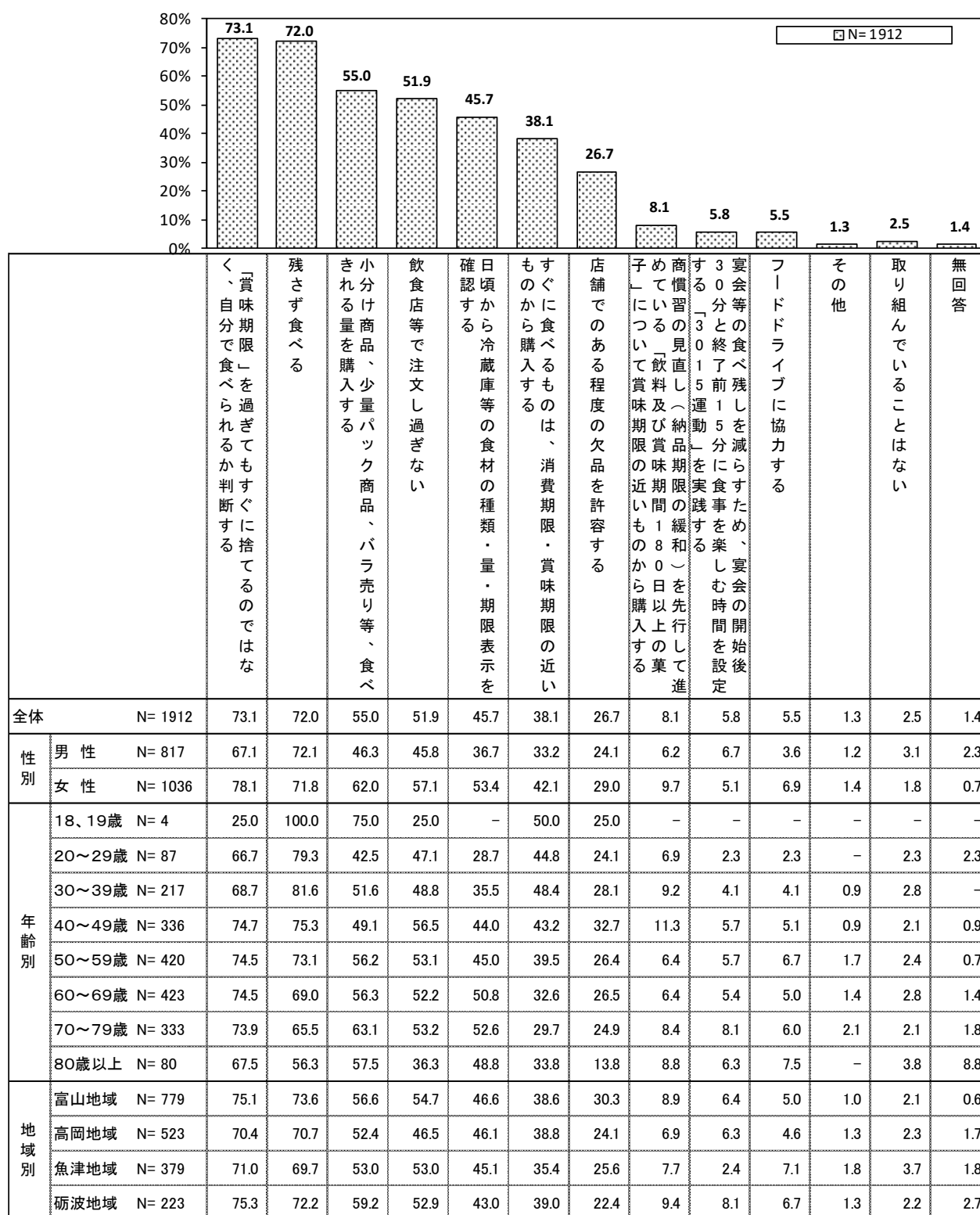
- ・「「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか 判断する」は『40～79歳』で7割を超えている。「残さず食べる」は「18～59歳」で7割を超えている。

(エ)地域別

- ・「富山地域」や「砺波地域」で「「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」や「残さず食べる」が他の地域に比べてやや高くなっている。

図表50 「食品ロス」軽減に向けた取組 (N=1912、M. T.=385.6%)

単位：%



＜調査結果を受けて＞

今回の調査結果では、「よく知っていた」と「ある程度知っていた」を合わせた「食品ロスが問題となっていることを知っていた」人の割合は92.2%であった。年代別でも、多くの世代で9割を超えており、食品ロスに対する認知度は高い。

一方で、「商慣習が食品ロス発生の大きな要因であることを知っていた」人の割合は57.6%と、食品ロスに対する認知度と比較して低くなっており、特に「20～29歳」、「30～39歳」の若い世代で低い傾向にあった。今後、消費・賞味期限への正しい理解やてまえどりを促進する啓発キャンペーンの実施、県公式ホームページやSNSでの情報発信を通じて、食品ロス削減のための商慣習見直しの認知度向上と取組み拡大に努めてまいりたい。

食品ロスの軽減につながる取組みの中では、「商慣習の見直しを先行して進めている『飲料及び賞味期間180日以上菓子』について賞味期限の近いものから購入する」、「宴会時の食べ残しを減らすため、『3015運動』などの取組みを実践する」、「フードドライブに協力する」と回答した人の割合が他の選択肢と比べて低いことから、引き続き未利用食品の有効活用の促進や宴会時等の食べきり運動の一層の推進にも取り組んでまいりたい。

（５）地域交通について

<いま>

県では、将来にわたって持続可能な地域交通サービスを確保するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく地域公共交通計画として、「富山県地域交通戦略」を令和6年2月に策定した。

「富山県地域交通戦略」では、地域交通サービスを「公共サービス」と位置づけ、自治体・県民の役割を、これまでの事業者への側面支援から、自らの地域に対する「投資」「参画」へと舵を切ることとした。また、「投資」「参画」の取組みを進め、①県民一人当たりの地域交通利用回数50回/年、②ガソリン車の台数20万台の削減、③地域交通への満足度1.25倍（地域交通への県民の満足度についての設問（3問）「鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことがあるか」、「鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わり合いができた、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことがあるか」、「鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得にでかけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことがあるか」について、それぞれ令和5年度県政世論調査の1.25倍）の達成を目指すこととしている。

問11 普段の生活で県内の鉄道、路面電車、バス、タクシーなどをどの程度利用されますか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・「利用しない」が42.4%、「年1～2日程度利用」が35.9%、「月1～2日程度利用」が14.7%である。

(イ)性別

- ・「月1～2日程度利用」は、「男性」が18.4%に対して「女性」が11.8%と、「男性」が6.6ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

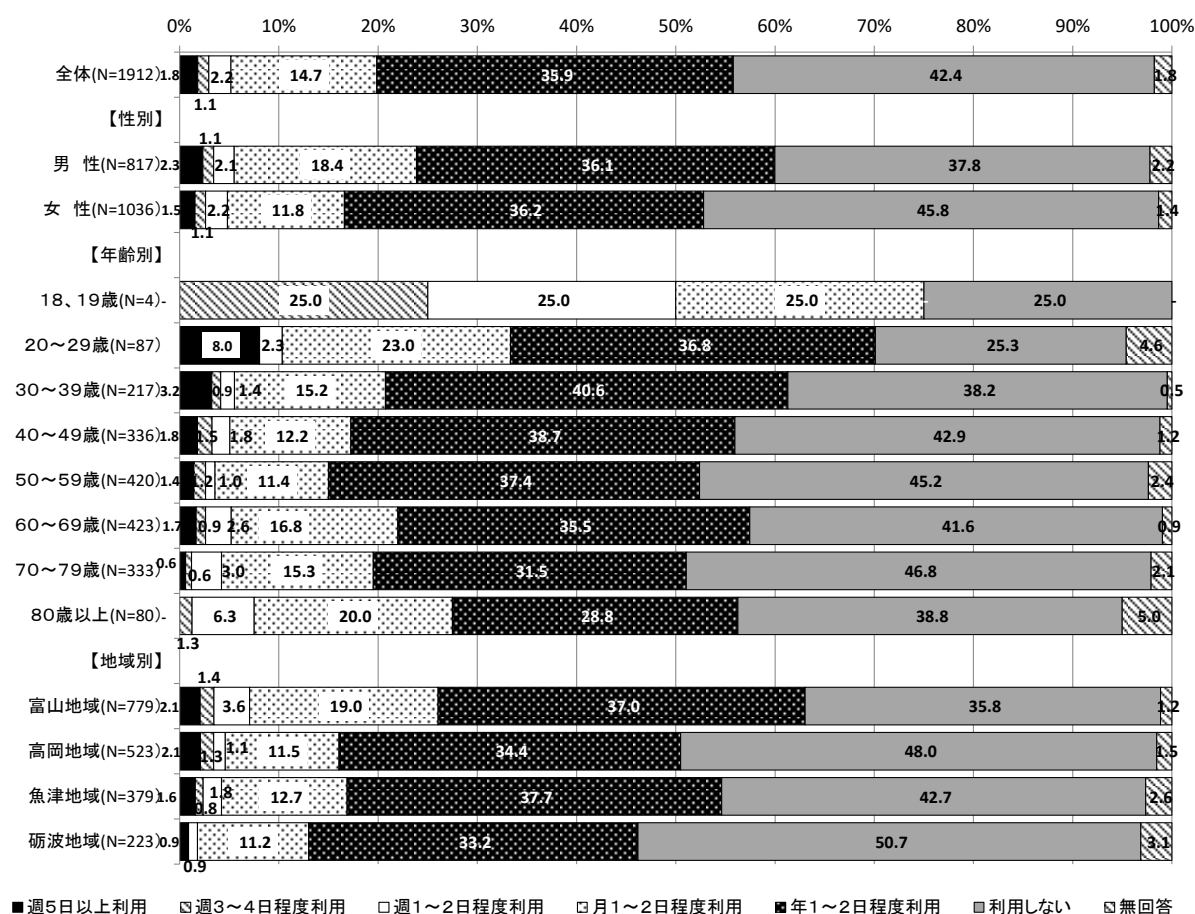
- ・『週1～2日程度以上利用』（「週5日以上利用」、「週3～4日程度利用」及び「週1～2日程度利用」を合算したもの）との回答は、「20～29歳」で10.4%と最も高くなっている。

(エ)地域別

- ・「月1～2日程度利用」は「富山地域」で19.1%と、他の地域と比べて高くなっている。

図表51 地域交通の利用頻度

単位：％



問12 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことはありますか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・『はい』（「はい」と「どちらかと言えばはい」を合算したもの）は41.8%、『いいえ』（「いいえ」と「どちらかと言えばいいえ」を合算したもの）は23.2%で、『はい』が18.6ポイント上まわる。

(イ)性別

- ・『はい』は、「男性」が42.6%に対して、「女性」が41.3%と、「男性」が1.3ポイント高くなっている。

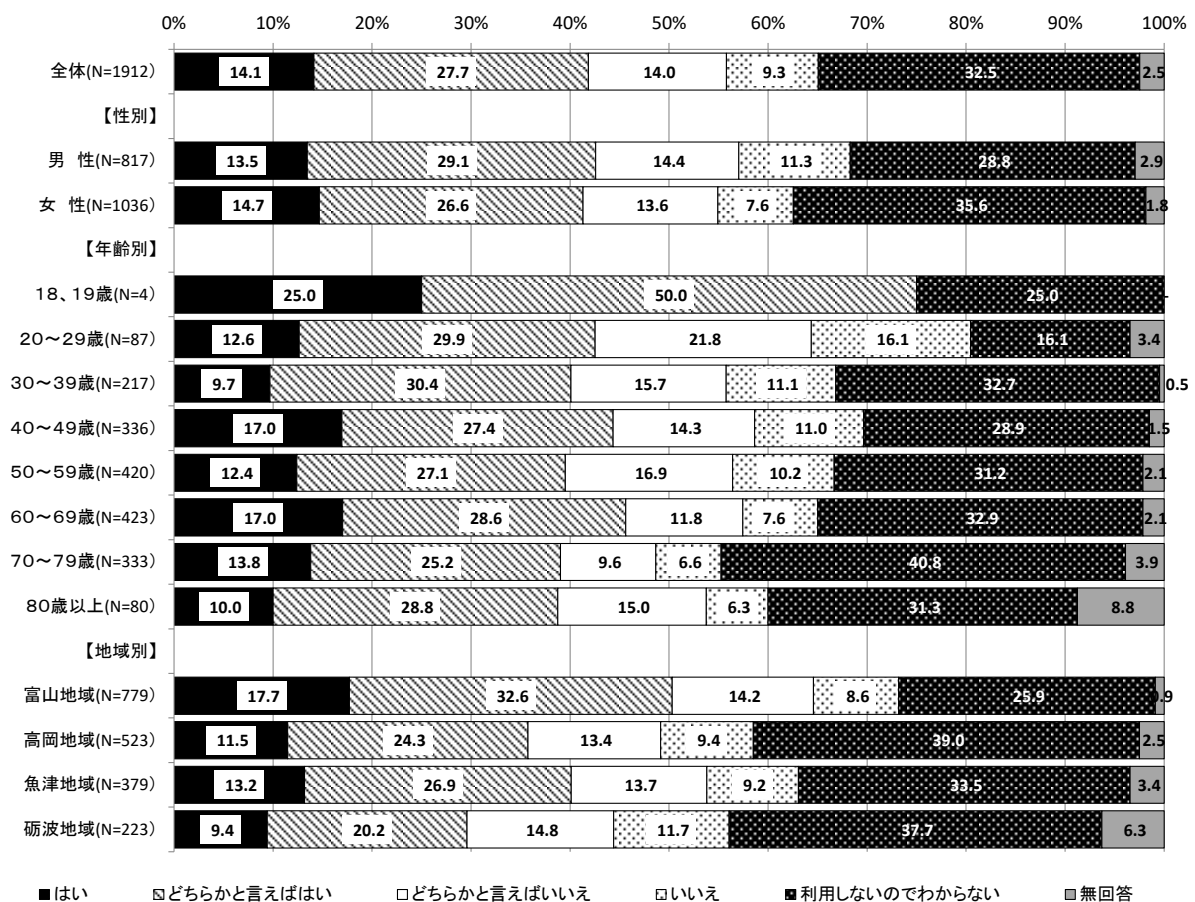
(ウ)年齢別

- ・『はい』は「60～69歳」で45.6%、「40～49歳」で44.4%となっている。

(エ)地域別

- ・『はい』は「富山地域」で50.3%と5割を超えている。

図表52 地域交通の利用が便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことがある 単位：％



問13 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わりあ
いできた、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことはありますか。次の中から1
つ選んでください。

(ア)全体

- ・『はい』（「はい」と「どちらかと言えばはい」を合算したもの）は16.8%、『いいえ』（「いいえ」と「どちらかと言えばいいえ」を合算したもの）は44.3%と、『いいえ』が27.5ポイント高くなっている。

(イ)性別

- ・『はい』は、「男性」が16.0%に対して、「女性」が17.4%で、「女性」が1.4ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

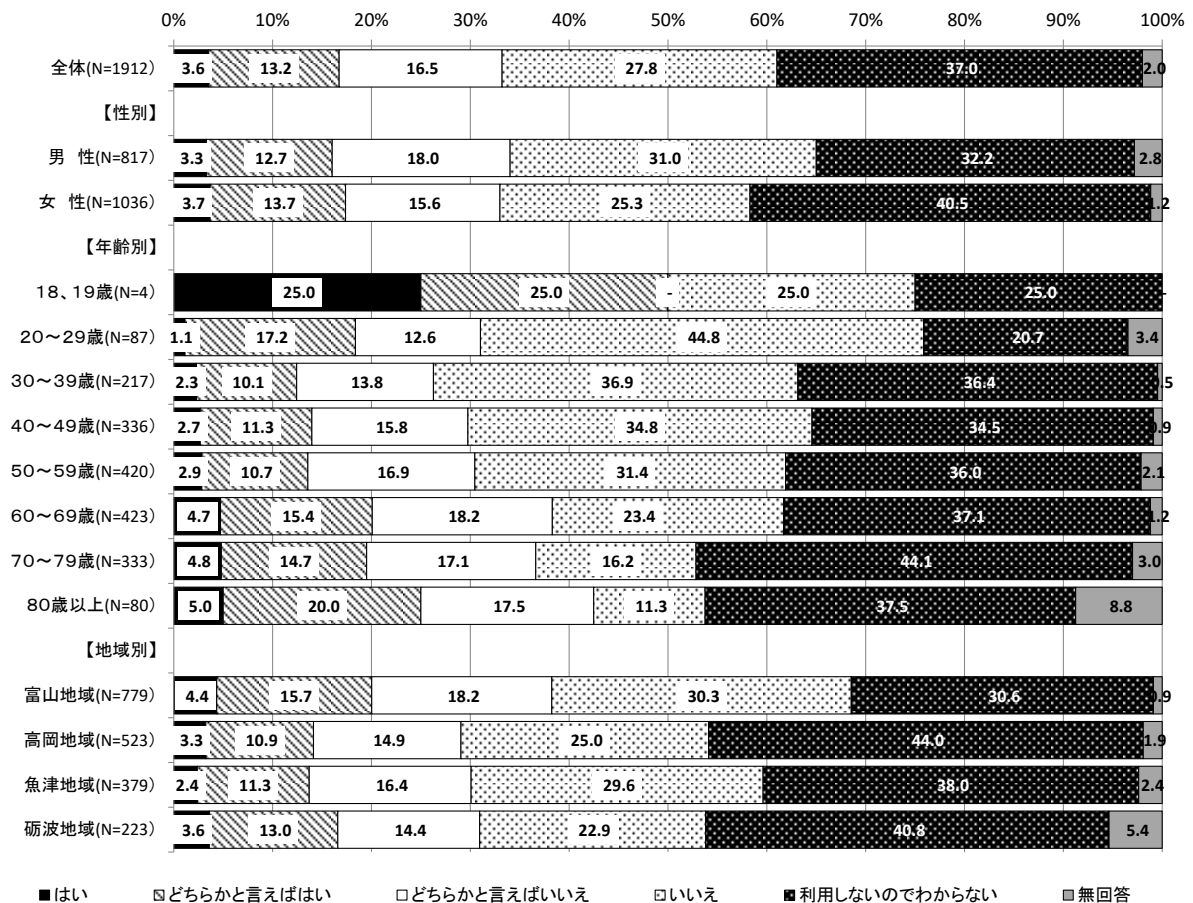
- ・『はい』は、「80歳以上」で25.0%、「60～69歳」で20.1%と高い一方、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」では10%台前半となっている

(エ)地域別

- ・『はい』は、「富山地域」で20.0%と他の地域に比べて高くなっている。

図表53 地域交通の利用が人との関わりや生きがいに繋がっていると感じたことがある

単位：％



問14 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことはありますか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・『はい』(「はい」と「どちらかと言えばはい」を合算したもの)は25.4%、『いいえ』(「いいえ」と「どちらかと言えばいいえ」を合算したもの)は35.3%と、『いいえ』が9.9ポイント高くなっている。

(イ)性別

- ・『はい』は、「男性」、「女性」で大きな差は見られない。

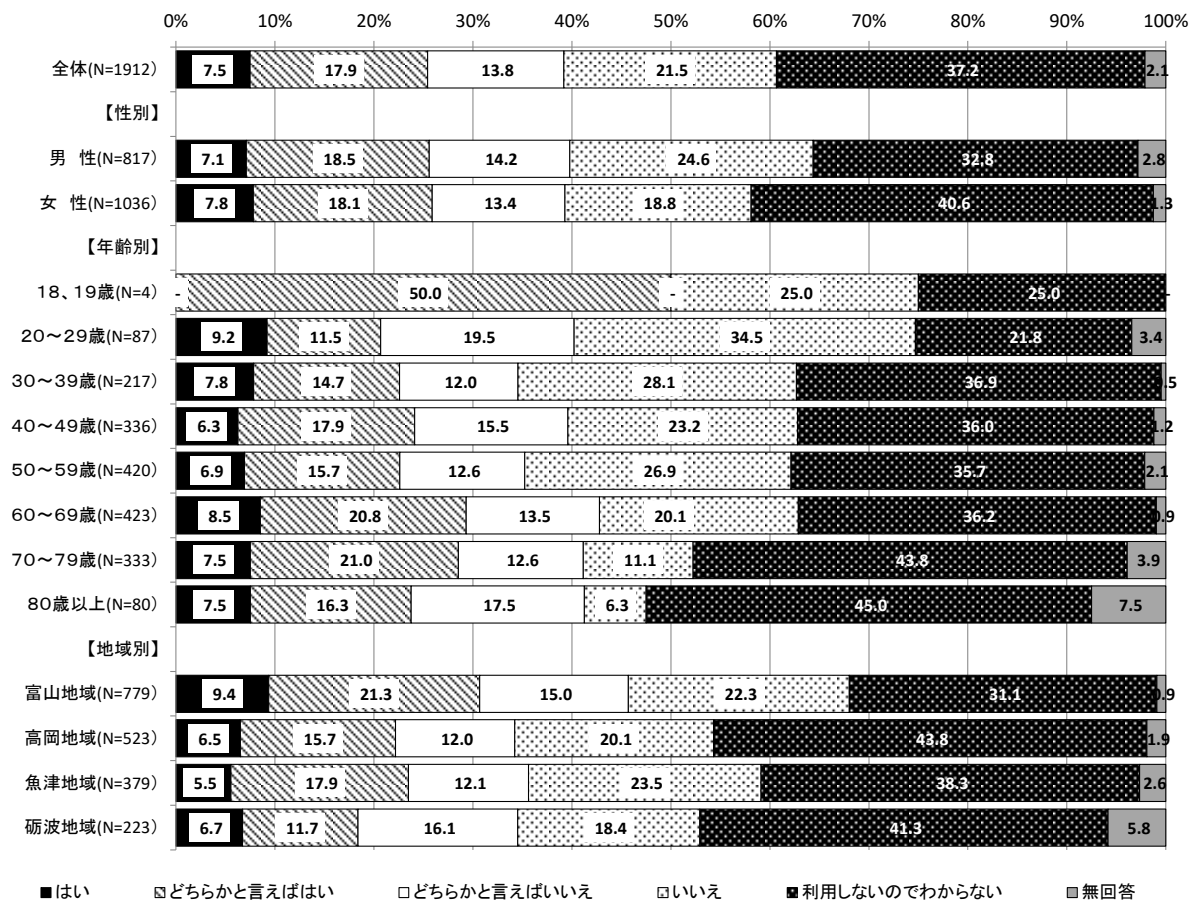
(ウ)年齢別

- ・『はい』は、「60～69歳」で29.2%、「70～79歳」で28.5%と高くなっている

(エ)地域別

- ・『はい』は、「富山地域」で30.7%と他の地域に比べて高くなっている。

図表54 地域交通の利用が経済性、健康や環境にメリットあると感じたことがある 単位：％



問15 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの利用促進のために重視する点はなんですか。
次の中から2つ以内で選んでください。

(ア)全体

- ・「わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数」が59.3%、「時刻、経路、運行状況などの充実した情報提供」が35.3%となっている。

(イ)性別

- ・「時刻、経路、運行状況などの充実した情報提供」や「乗り放題サービスなど、お得感がある企画乗車券」は「女性」が「男性」よりも4.0ポイント高く、「車両の更新、車両の増、混雑解消などによる快適な車内環境」は「男性」が3.8ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

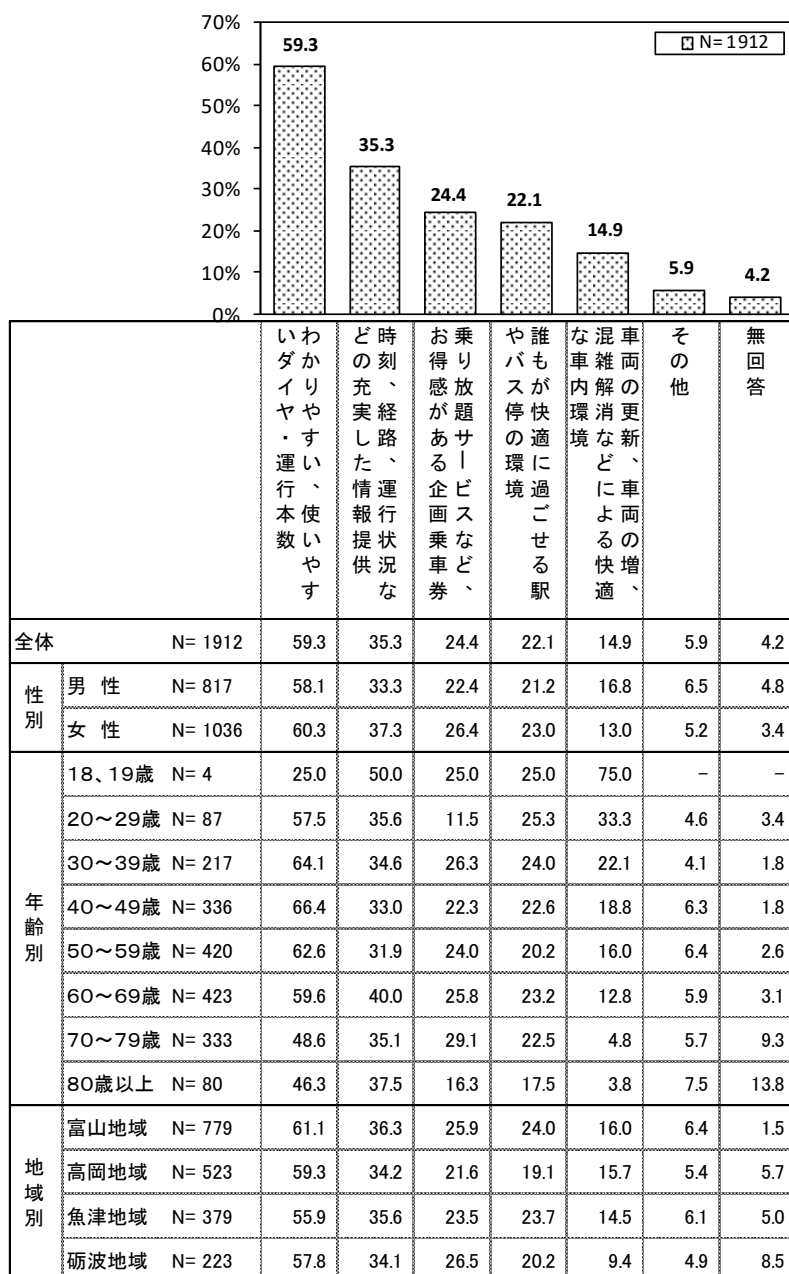
- ・「わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数」は「40～49歳」で66.4%と最も高く、「30～39歳」、「50～59歳」でも6割を超えている。70歳以上では、5割を下回っている。
- ・「車両の更新、車両の増、混雑解消などによる快適な車内環境」は「20～29歳」で33.3%と高く、年代が上がるにつれて低くなり、「80歳以上」では3.8%となっている。

(エ)地域別

- 「わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数」は「富山地域」、「高岡地域」で約60%となっている。

図表55 地域交通の利用促進のために重視する点 (N=1912、M.T.=161.7%)

単位：%



＜調査結果を受けて＞

今回の調査結果では、地域交通の利用状況については、「利用しない」が 42.4%と最も高く、次いで「年 1 ～ 2 日程度利用」が 35.9%となっており、「月 1 ～ 2 日程度」以上の頻度で地域交通を利用するという回答は19.9%となった。

地域交通への満足度については、肯定的な回答の割合が、「便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことはあるか」では 41.8%（前回38.9%から2.9ポイント上昇。目標値の1.25倍までは、4年間で6.8ポイントの上昇が必要。）、「自分の住む地域や人との関わりあいがあった、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことはあるか」では 16.8%（前回17.3%から0.5ポイント減少。目標値の1.25倍までは、4年間で4.8ポイントの上昇が必要。）、「お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことはあるか」では 25.4%（前回23.0%から2.4ポイント上昇。目標値の1.25倍までは、4年間で3.4ポイントの上昇が必要。）となった。

なお、地域交通の利用促進のために重視する点については「わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数」を求める回答が59.3%と最も高かった。

今後、「富山県地域交通戦略」に基づく施策の着実な実行を通じ、目標の達成に向けて地域交通への満足度の向上等を図ってまいりたい。

（６）自転車の活用、マナーについて

＜いま＞

自転車は、子どもから高齢者まで幅広い県民が利用できる、環境にも優しい身近な交通手段であり、その活用は健康づくり、観光振興や地域活性化にも繋がるものであることから、近年、自転車を活用した取組みへの関心が高まっている。

こうしたなか、国においては、自転車活用の推進に関する施策の充実を図るため、平成29年5月に「自転車活用推進法」を施行し、平成30年6月には、法の基本方針に即した「自転車活用推進計画」が策定された。これを受けて県では、平成31年3月に「富山県自転車活用推進条例」を制定するとともに、この条例に基づき「富山県自転車活用推進計画」を策定し、これらの条例及び計画に基づき、自転車の活用に関する施策を総合的かつ計画的に推進している。

具体的には、「富山湾岸サイクリングコース」や「田園サイクリングコース」等の整備をはじめ、「富山湾岸サイクリング」や県民向けの自転車普及啓発イベント、交通安全教室等の開催、さらには、令和3年5月に「富山湾岸サイクリングコース」が日本を代表する6つのナショナルサイクルルートの一つに指定されたことを受け、走行・受入環境の充実や県外サイクリングイベントにおけるプロモーションの強化に努めるなど、自転車を活用した観光誘客や地域活性化に向けた取組みを行っている。

一方、便利な自転車ではあるが、自転車利用者の交通事故のうち、自転車側に交通違反（マナー違反）が見受けられる例が多く発生しており、自転車利用者のマナー向上が重要と考えている。

問16 あなたは、普段自転車を利用していますか。

(ア)全体

- ・「はい」は15.7%となっている。

(イ)性別

- ・「はい」は、「男性」が18.4%に対して「女性」が13.7%と、「男性」が4.7ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

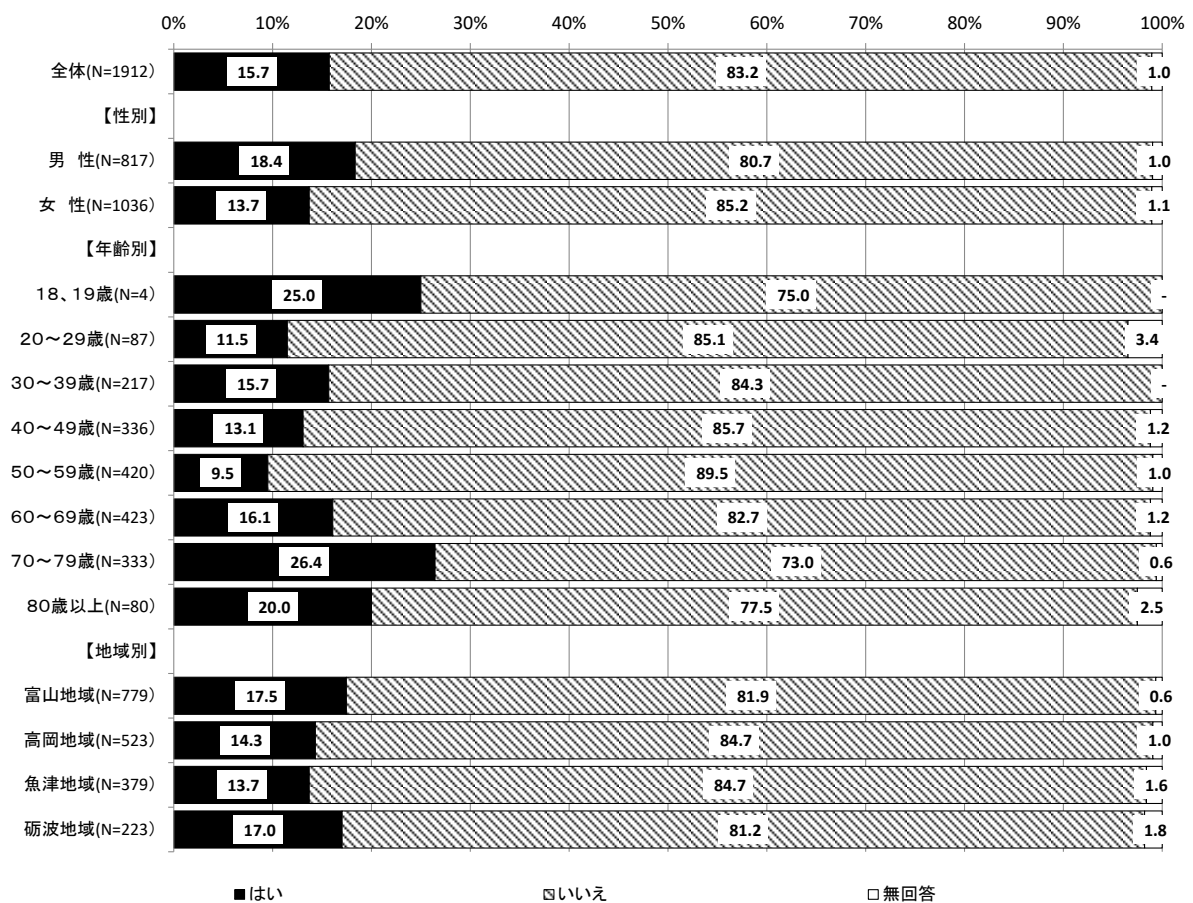
- ・「はい」は、「70～79歳」で26.4%と最も高く、「50～59歳」で9.5%と最も低くなっている。

(エ)地域別

- ・「はい」は、「富山地域」で17.5%と最も高く、「魚津地域」で13.7%と最も低くなっている。

図表56 自転車の利用状況

単位：％



問16ー1 問16で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。あなたは、どのような理由で自転車を利用していますか。次の中からすべて選んでください。

(ア)全体

- ・「手軽に使える、早く移動できる」が81.4%で最も高く、次いで、「健康に良い、運動不足解消」が60.1%となっている。

(イ)性別

- ・「ガソリン代や電車代がかからない」や「クルマの渋滞や、満員電車などのストレスがない」は、「女性」が「男性」に比べて、それぞれ10ポイント以上高くなっている。

(ウ)年齢別

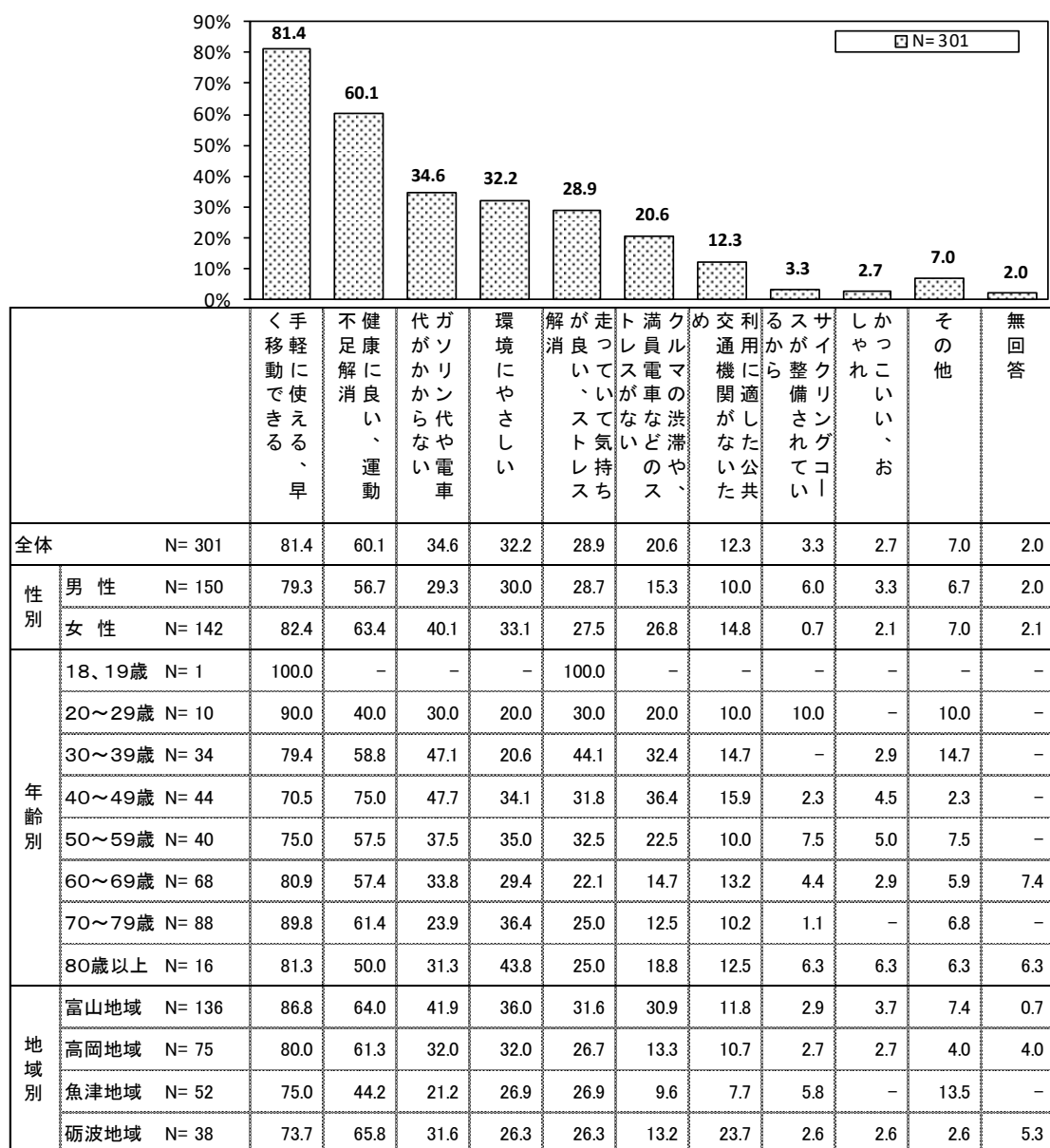
- ・「手軽に使える、早く移動できる」は「40～49歳」で最も低く70.5%で、30～59歳では8割を下回る。
- ・一方、「健康に良い、運動不足解消」は「40～49歳」で75.0%と最も高くなっている。
- ・「30～39歳」、「40～49歳」では「ガソリン代や電車代がかからない」や「クルマの渋滞や、満員電車などのストレスがない」が他の年代に比べて高くなっている。

(エ)地域別

- ・「富山地域」は、「手軽に使える、早く移動できる」が86.8%、「クルマの渋滞や、満員電車などのストレスがない」が30.9%と他の地域に比べて高くなっている。
- ・「砺波地域」は、「利用に適した公共交通機関がないため」が23.7%と他の地域に比べて高くなっている。

図表57 自転車を利用する理由 (N=301、M. T.=283.1%)

単位：%



問17 自転車利用のマナーが向上するために必要なことは何だと思いますか。次の中からすべて選んでください。

(ア)全体

- ・「子どものころから交通安全教育をしっかり行う」が75.3%と最も高く、次いで「自転車にやさしい道路環境を整備する」が59.3%、「もっとテレビや新聞で交通ルールを取り上げる」が35.4%となっている。

(イ)性別

- ・「子どものころから交通安全教育をしっかり行う」は、「女性」が「男性」より8.1ポイント高く、「自転車にやさしい道路環境を整備する」も「女性」が5.5ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

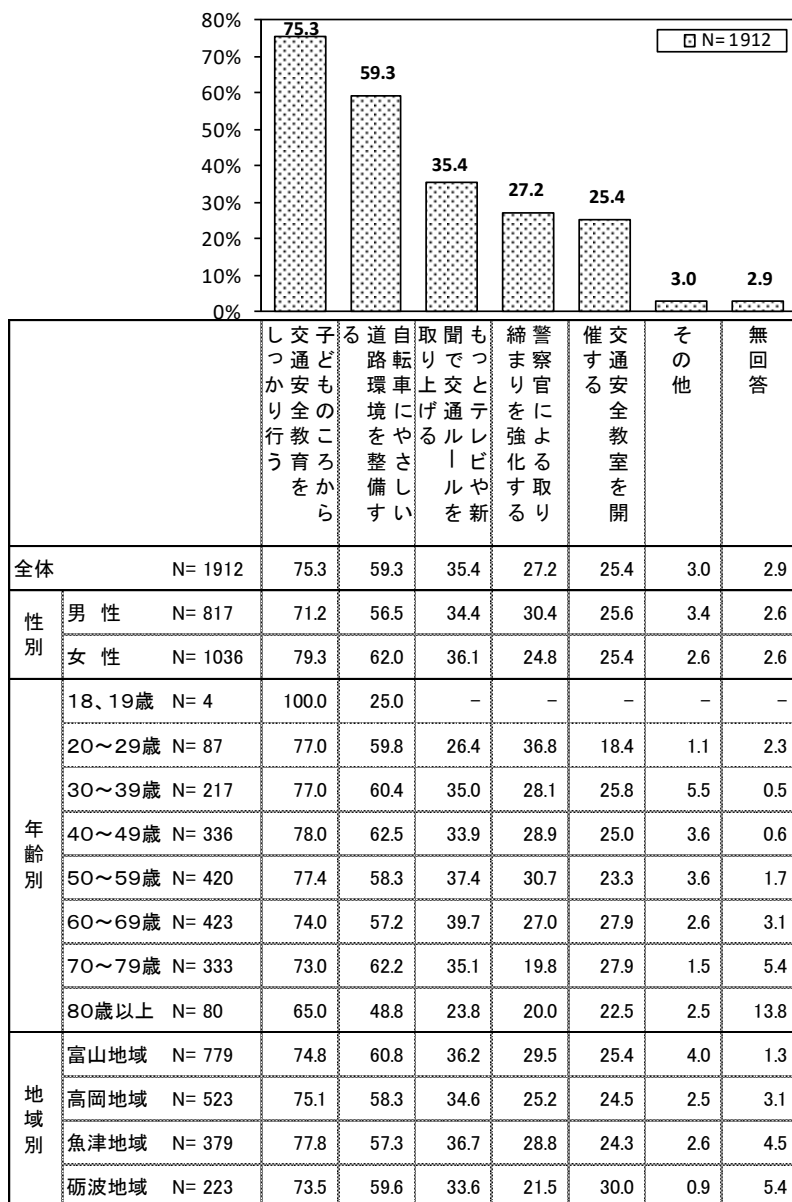
- ・「警察官による取り締まりを強化する」は、「20～29歳」が36.8%と最も高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向にあり、「70～79歳」、「80歳以上」では約20%となっている。

(エ)地域別

- ・「自転車にやさしい道路環境を整備する」は、「富山地域」、「砺波地域」で約60%となっている。

図表58 自転車利用のマナー向上のために必要なこと (N=1912、M. T.=225. 6%)

単位：%



＜調査結果を受けて＞

自転車利用に関する質問では、「普段自転車を利用しているか」という問いに対して、「はい」と答えた方の割合はわずか15.7%であった。しかし、そのうち、自転車に乗る目的について、「健康に良い、運動不足解消」と回答した人の割合は60.1%となり、6割以上であった。

平成31年3月に策定した「富山県自転車活用推進計画」においては、「自転車にやさしい都市環境の整備」、「サイクルツーリズムの推進」、「安全で安心な自転車社会の実現」とともに、県民の体力向上や余暇の充実に資するよう、「自転車を活かした健康づくりの推進」を目標の一つに掲げている。今回の調査結果も踏まえ、今後も、自転車を活用した健康増進を図るため、安全かつ快適に自転車を利用することができる環境整備等、自転車活用の推進に向けた各種施策・事業を検討してまいりたい。

また、自転車利用のマナー向上に関する質問では「子どものころから交通安全教育をしっかりと行う」が75.3%で、最も高い関心を示している。

自転車は若年層から高齢者まで気軽に運転できる乗り物ではあるが、交通ルールを守らなければ交通事故に遭う危険性が高くなり、子どものころから交通安全教育をしっかりと行う必要があると県民も感じていることが分かる。

県では、各自治体や警察、関係団体と連携を図り、子どもが参加する交通安全教育の場を設けるなどして、自転車利用のマナー向上を推進していく。

（７）運動・スポーツの実施状況について

＜いま＞

本県において、週１回以上運動やスポーツを実施する県民の割合は、前回調査(令和４年度)では38.8%と全国平均52.8%（令和４年度）※を下回っていた。また、子どもたちの体力は、新型コロナウイルス感染症の影響とともに、スクリーンタイムの増加等に伴って、運動時間が減少しており、男女ともに低下傾向が続いている。

このようなことから、「富山県スポーツフェスタ」や「富山マラソン」、「Enjoy！スポーツとやま」、「県民歩こう運動推進大会」など、県民参加型のイベントやスポーツ教室の開催などにより、県民のスポーツへの参加の機会づくりに努めている。また、子どもや若者をはじめ幅広い世代の県民がスポーツを楽しめるスポーツ施設の機能の充実や学校体育施設の開放促進など、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりにも積極的に取り組んでいる。

※令和４年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」、スポーツ庁

問18 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツの回数は、どの程度になりますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・「ほとんど毎日（週4回以上）」の17.6%、「週に2～3回程度」の17.7%、「週に1回程度」の13.7%を合算した、『週1回以上のスポーツ実施率』は49.0%となっている。

(イ) 性別

- ・『週1回以上のスポーツ実施率』は、「男性」が49.9%に対して、「女性」は48.3%と、大きな差はないが、「全くしなかった」では、「男性」が19.0%に対して、「女性」は24.6%と、「女性」が5.6ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

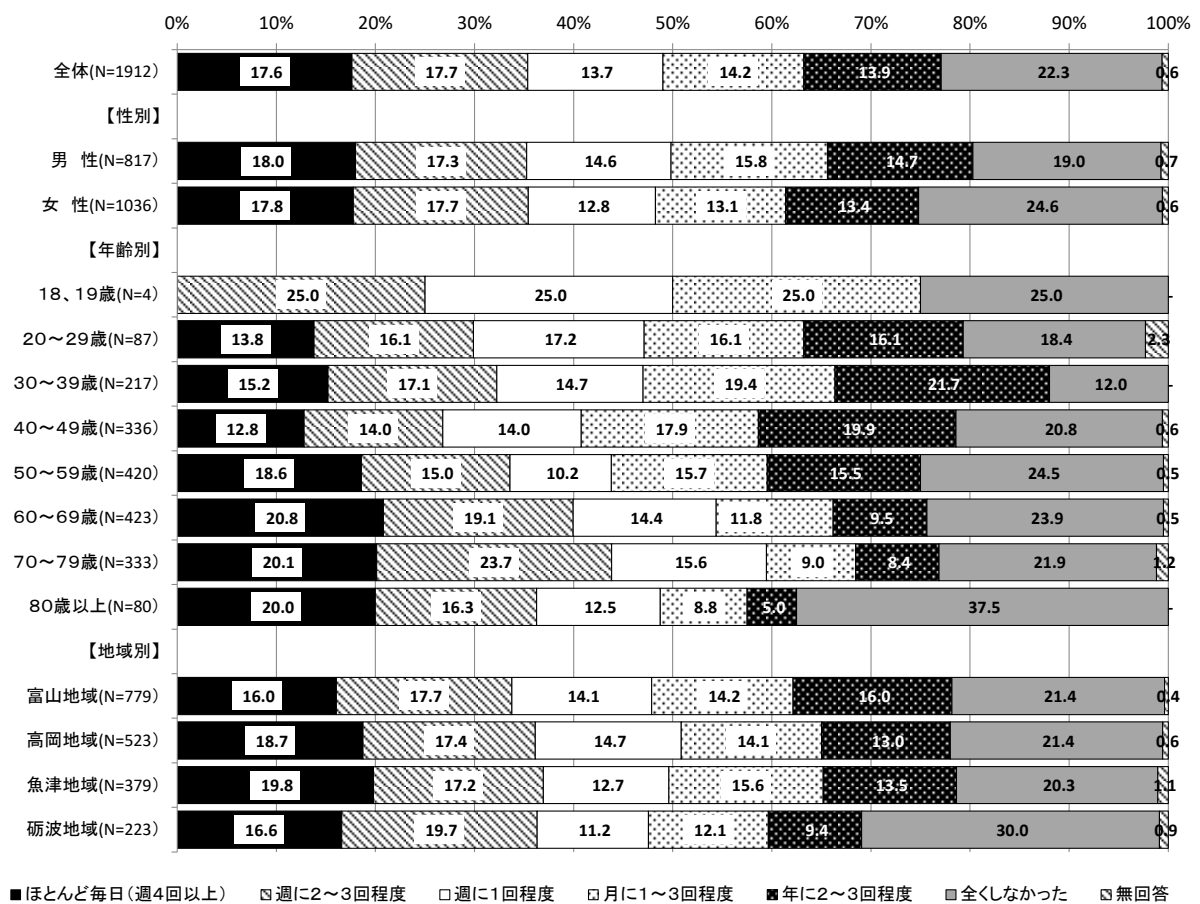
- ・『週1回以上のスポーツ実施率』は、「70～79歳」が59.4%と最も高く、「60～69歳」も5割を超えて高くなっている。一方で、「40～49歳」は、40.8%と低くなっている。

(エ) 地域別

- ・『週1回以上のスポーツ実施率』は、「高岡地区」が50.8%で最も高くなっている。一方で、それ以外の3地区は、5割をやや下回っている。

図表59 運動・スポーツの頻度

単位：％



問18ー1 問18で「5. 年に2～3回程度」「6. 全くしなかった」と回答した方にお尋ねします。あなたが運動・スポーツを実施できなかった理由をすべて選んでください。

(ア)全体

- ・「仕事や家事・育児が忙しい」が46.7%で最も高く、次いで「病気やけがをしている・歳をとった」が23.7%、「運動・スポーツが嫌い・面倒くさい」、「お金に余裕がない」がそれぞれ約20%となっている。

(イ)性別

- ・「仕事や家事・育児が忙しい」は「男性」が40.0%に対して「女性」が52.8%で、「女性」が12.8ポイント高くなっている。
- ・「特に理由はない」は「男性」が26.9%に対して「女性」が18.8%で、「男性」が8.1ポイント高くなっている。
- ・一方で、「運動・スポーツが嫌い・面倒くさい」、「お金に余裕がない」、「身近に場所や施設がない」は「女性」が「男性」よりも4～5ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

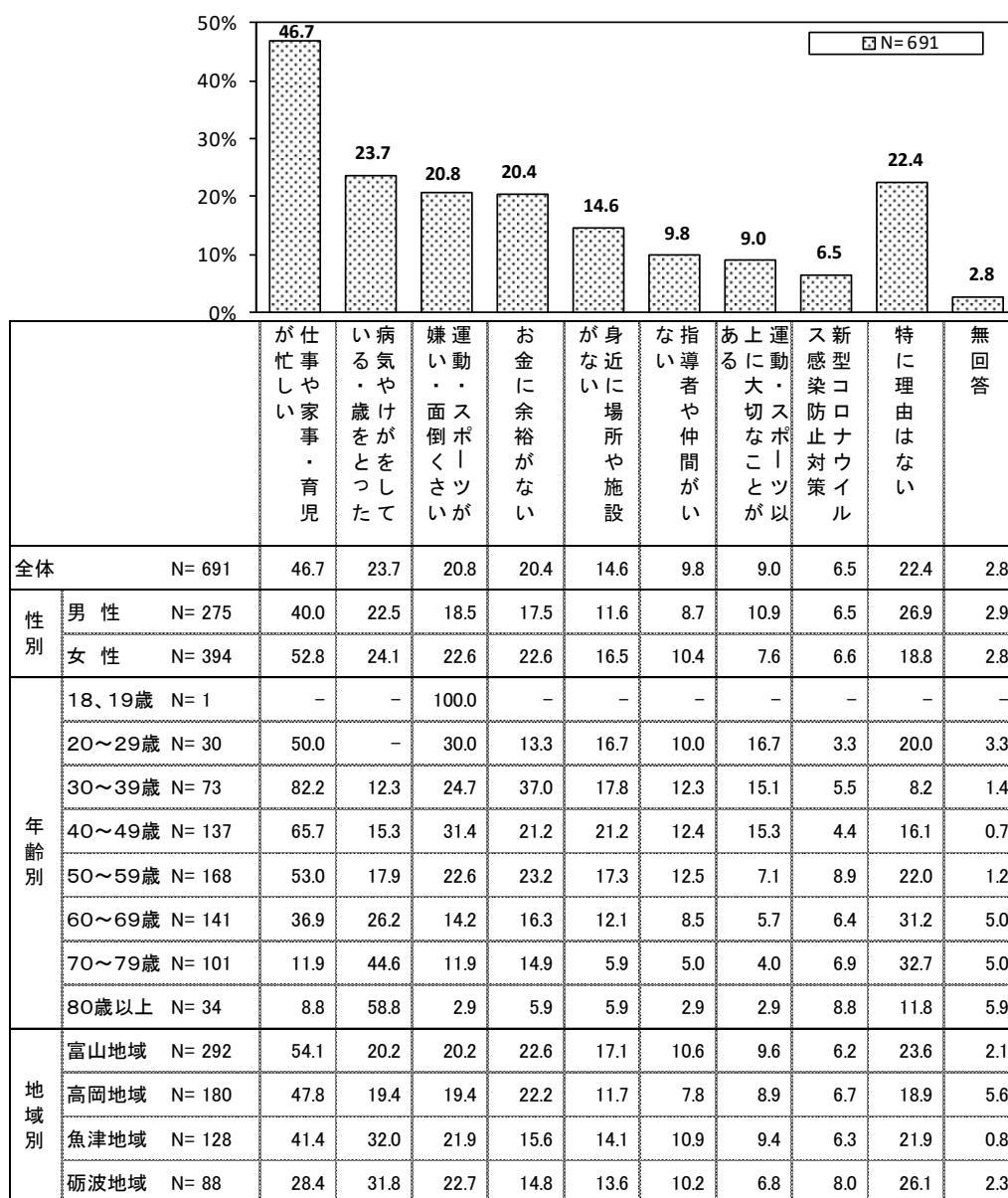
- ・「30～39歳」では「仕事や家事・育児が忙しい」が82.2%、次いで「お金に余裕がない」が37.0%と、他の年代に比べて高くなっている。
- ・70歳以上では「病気やけがをしている・歳をとった」が最も高くなり、「80歳以上」では58.8%となっている。
- ・「特に理由はない」は「60～69歳」、「70～79歳」で3割を超える。

(エ)地域別

- ・「仕事や家事・育児が忙しい」は「富山地域」が54.1%と高く、「砺波地域」は28.4%と低くなっている。

図表60 運動・スポーツを実施できなかった理由(N=691、M.T.=174.1%)

単位：％



問19 あなたは、これまで過去一度でも、車いすテニスやボッチャ等の障害者スポーツ・パラスポーツを体験したことがありますか。

(ア)全体

- ・「ある」は6.7%となっている。

(イ)性別

- ・「男性」と「女性」との間に、大きな差は見られない。

(ウ)年齢別

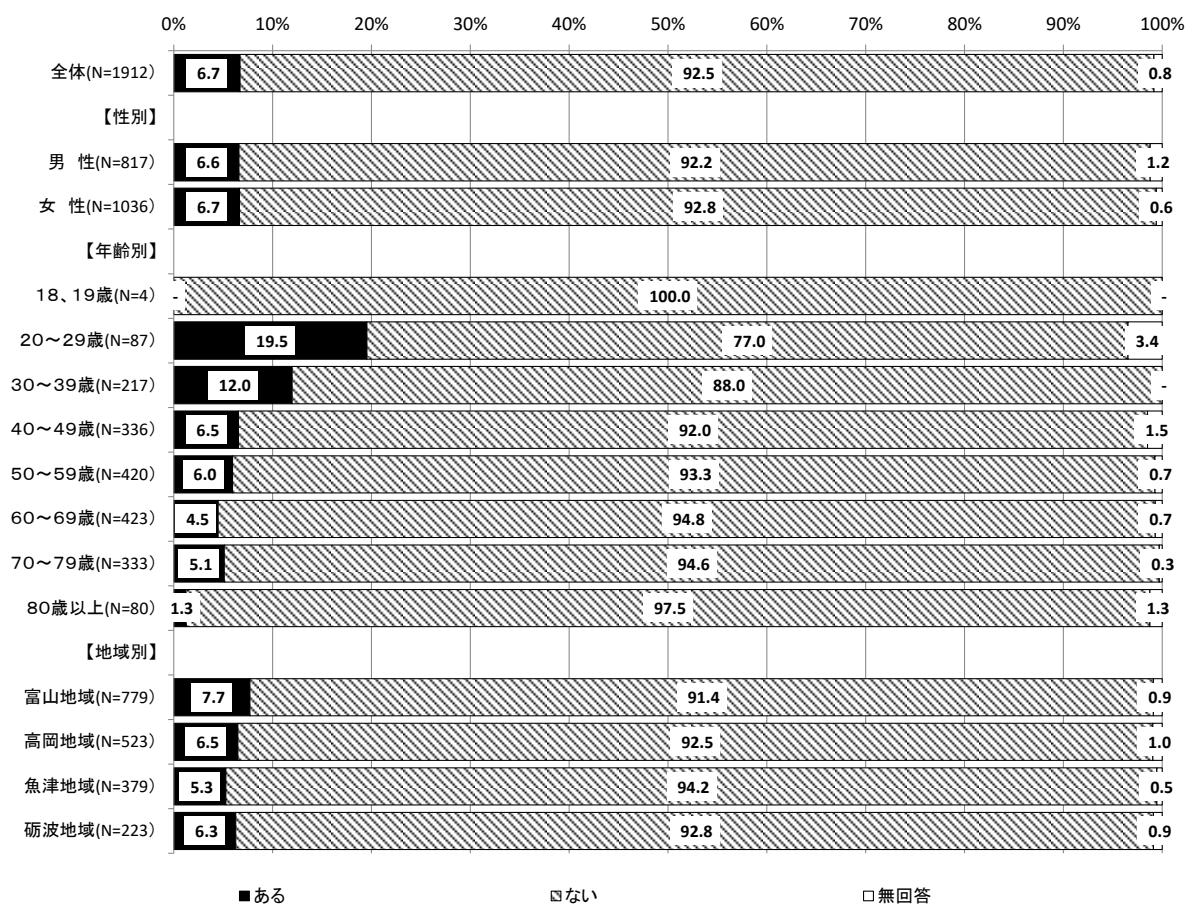
- ・「ある」は「20～29歳」で19.5%と最も高く、次いで「30～39歳」で12.0%と、それ以上の年代は10%以下と低くなっている。

(エ)地域別

- ・「ある」は「富山地域」で7.7%と、他の地域と比べてやや高くなっている。

図表61 障害者スポーツの経験

単位：％



問20 あなたは、障害のある人となない人で、一緒に運動・スポーツを実施したことがありますか。

(ア)全体

- ・「ある」は、8.8%となっている。

(イ)性別

- ・「ある」は、「男性」の7.8%に対して「女性」は9.6%と、「女性」が1.8ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

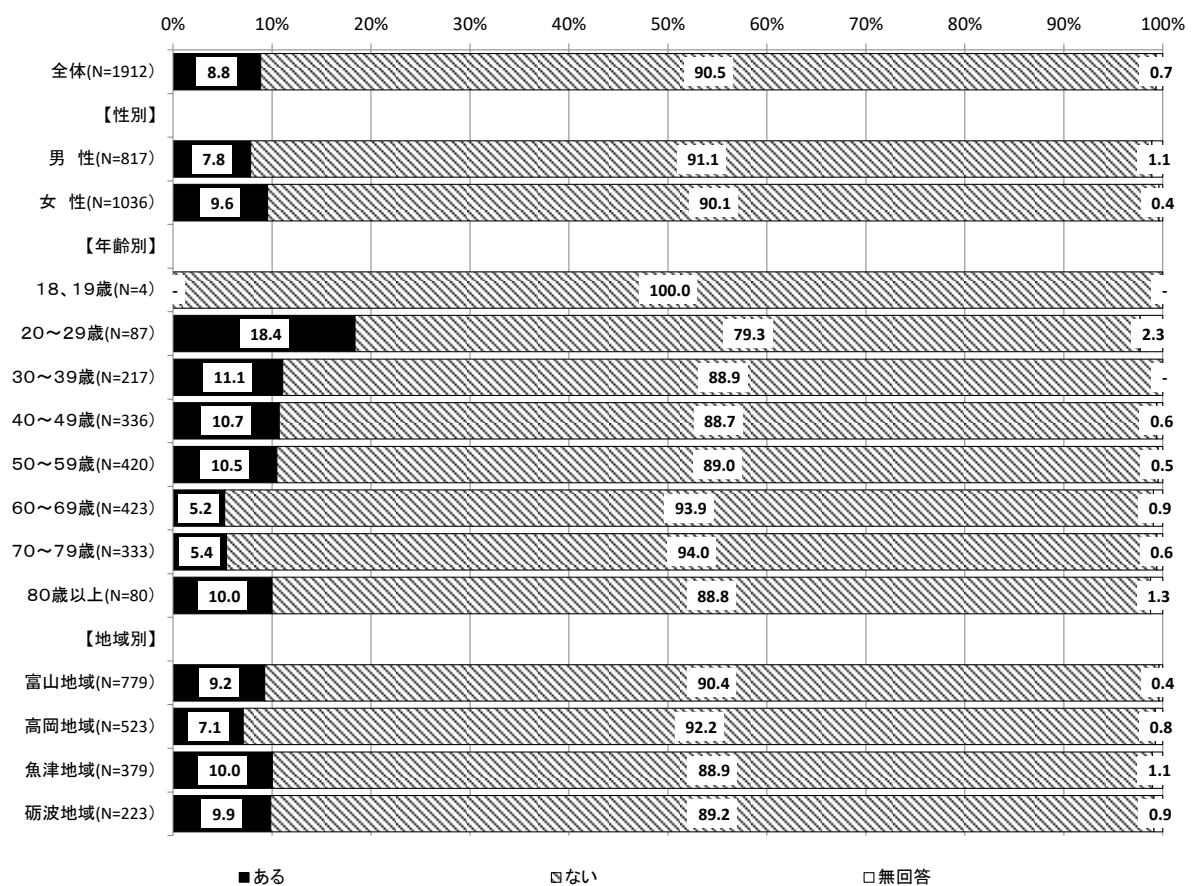
- ・「ある」は、「20～29歳」が18.4%と最も高く、「30～59歳」では10%台、「60～79歳」では5%台となっている。

(エ)地域別

- ・「ある」は、「魚津地域」で10.0%と最も高く、次いで「砺波地域」で9.9%、「富山地域」で9.2%となっている。

図表62 障害者との運動・スポーツの経験

単位：％



＜調査結果を受けて＞

今回の調査結果では、週1回以上運動・スポーツを実施する県民の割合は49.0%と前回より増加した。特に30代の実施率が前回（令和4年度）の28.7%から47.0%と大幅な増となった。一方で、40代や女性の実施率が低く、運動やスポーツを全くしていない県民の割合が22.3%となった。

このようなことから、本県のスポーツ実施率をさらに高めるために、それぞれのライフステージに応じて気軽にスポーツに取り組める環境づくりや参加機会の創出を図るとともに、ウォーキングやランニング、ラジオ体操など日常生活の中で手軽にできる運動やスポーツの普及・啓発に取り組む、運動の習慣化を図ることが必要である。

また、県民が日常的、主体的にスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツ施設の充実やSNS等を活用したスポーツ情報の提供など、広報活動に努め、スポーツ環境の充実につなげたい。

（８）犯罪の予防について

＜いま＞

県警察では、「日本一安全で安心して暮らせるとやまの実現」をめざして、県民の安心感が得られる効果的な警察活動に努めるとともに、犯罪検挙、犯罪抑止等の各種活動を推進している。

県内の刑法犯認知件数は、令和４年に戦後最少を迎えたものの、令和５年に増加となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前である令和元年の水準に近づきつつある上、特殊詐欺についても深刻な情勢が続いている。

また、サイバー事案やストーカー・ＤＶ・児童虐待事案のほか、子供・女性に対する声掛け事案など、犯罪の手口は急激に巧妙化・多様化しており、県内の犯罪情勢は厳しい状況にある。

問21 あなたは、自分や家族が、犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じることがありますか。

(ア)全体

- ・「よくある」は9.0%、「たまにある」は52.6%で、『ある』（「よくある」と「たまにある」を合算したもの）は61.6%であった。

(イ)性別

- ・「よくある」は、「男性」が6.9%に対して「女性」が10.4%と、「女性」が3.5ポイント高く、『ある』は「男性」が57.9%に対して「女性」が64.7%と、「女性」が6.8ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

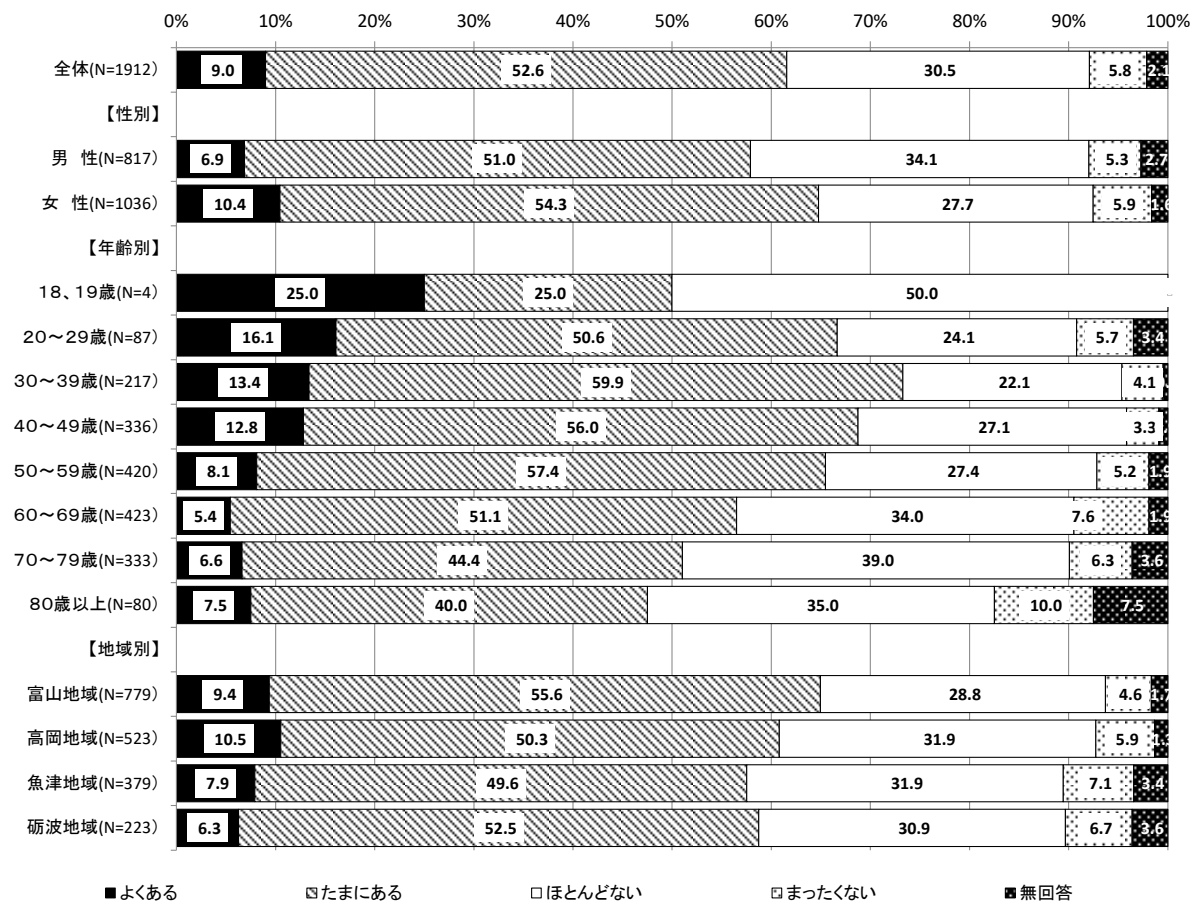
- ・『ある』は「30～39歳」が最も高く73.3%、「20～29歳」、「40～49歳」、「50～59歳」も6割を超えている。「80歳以上」は47.5%で最も低くなっている。

(エ)地域別

- ・『ある』は「富山地域」で65.0%と最も高く、次いで「高岡地域」で60.8%となっている。

図表63 犯罪被害への不安

単位：％



問21－1 問21で「1. よくある」「2. たまにある」と回答した方にお尋ねします。どのような犯罪に不安を感じますか。次の中から5つ以内で選んでください。

(ア)全体

- ・「空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪」が57.3%と最も高く、次いで「架空料金請求をはじめとした特殊詐欺」が53.2%、「インターネットを利用した犯罪」が46.1%となっている。

(イ)性別

- ・「外国人による犯罪」は「男性」が21.4%に対して「女性」が9.4%と、「男性」が12.0ポイント高く、「暴行、傷害等の粗暴な犯罪」も「男性」が7.4ポイント高くなっている。
- ・一方、「不同意わいせつ、痴漢事案」は「女性」が「男性」より4.4ポイント、「のぞき、盗撮事案」では3.9ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

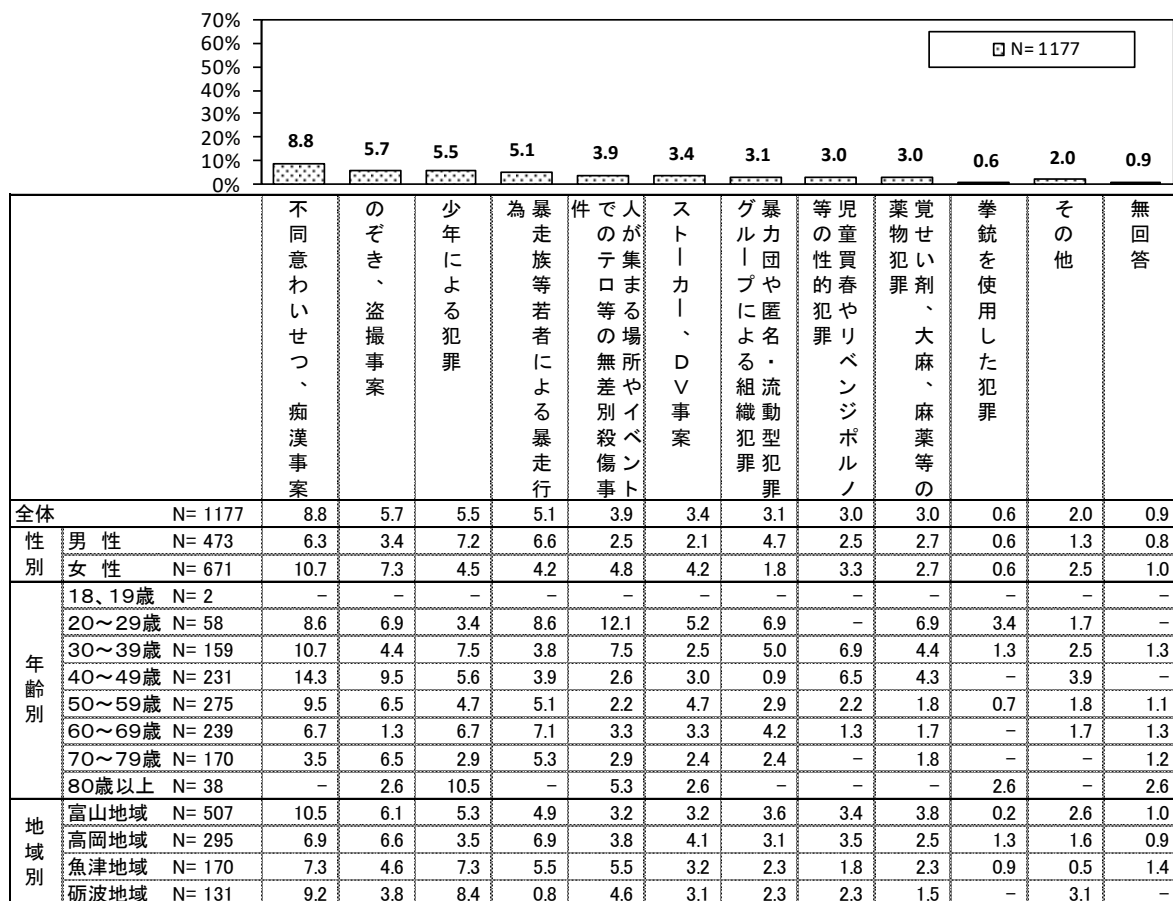
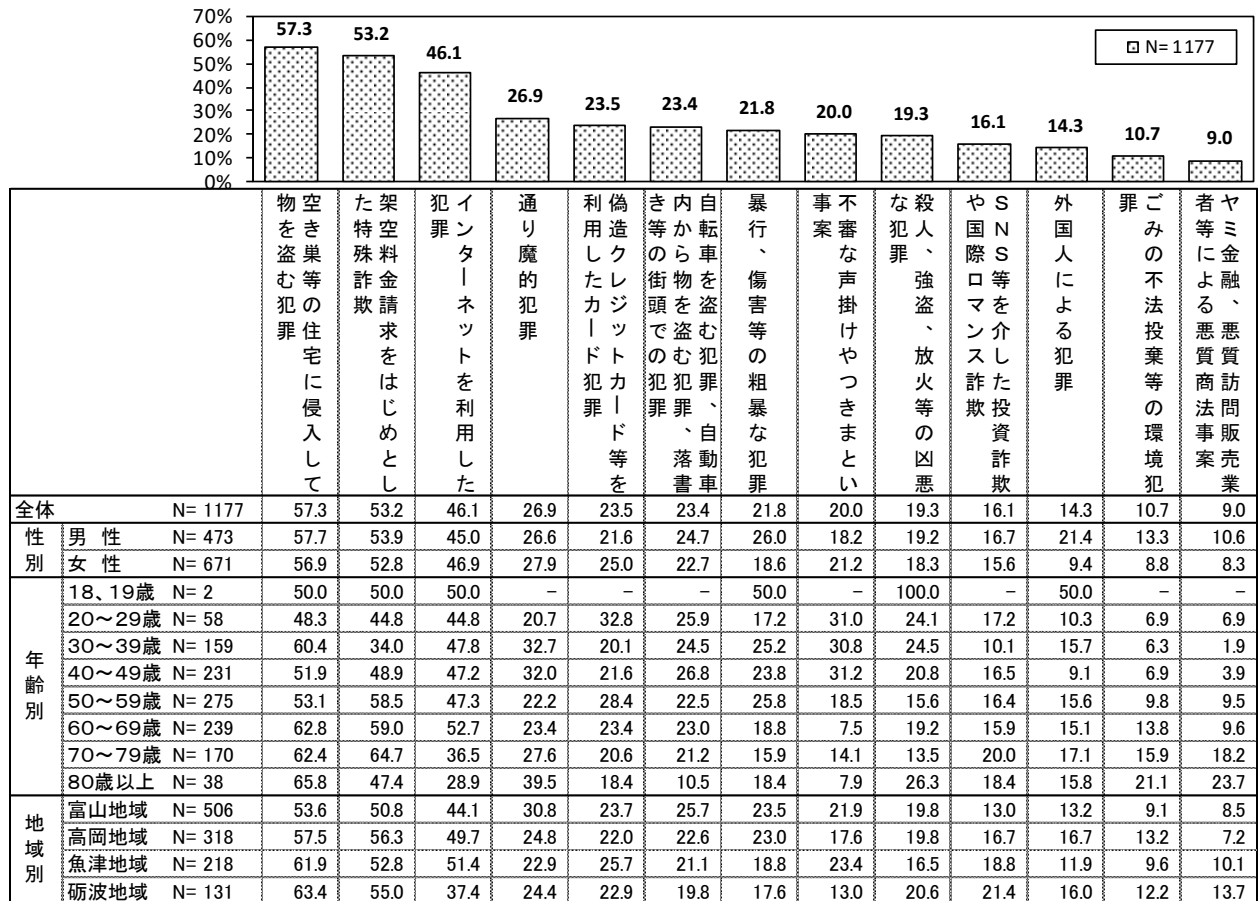
- ・「空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪」は60歳以上で6割を超えて高く、「80歳以上」では65.8%で最も高くなっている。
- ・「架空料金請求をはじめとした特殊詐欺」は「30～39歳」で34.0%と最も低く、「70～79歳」で64.7%と最も高いが、「80歳以上」では47.4%とやや低くなっている。
- ・「インターネットを利用した犯罪」は「60～69歳」で52.7%と最も高く、「80歳以上」で28.9%と最も低くなっている。
- ・「不審な声掛けやつきまとい事案」は20～49歳で3割を超えている一方、50歳以上では2割以下と低くなっている。

(エ)地域別

- ・「空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪」は「魚津地域」、「砺波地域」で6割を超えている。
- ・「インターネットを利用した犯罪」は「砺波地域」で37.4%と他の地域に比べて低くなっている。

図表64 不安に感じる犯罪 (N=1177、M. T. =385. 5%)

単位：％



＜調査結果を受けて＞

犯罪被害に不安を感じる人の割合が、前回（令和５年度）より6.5ポイント増加し、不安を感じる犯罪12種について前回より不安を感じる人の割合が増加した。

一方、前回同様に「空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪」「架空料金請求をはじめとした特殊詐欺」「インターネットを利用した犯罪」が不安を感じる犯罪の上位を占めている。

県警察では、引き続き、犯罪に対する検挙活動を徹底するとともに、県や関係機関・団体と連携し、犯罪発生実態を踏まえたパトロールや地域安全メールを活用した情報発信のほか、施錠の呼び掛けや防犯カメラの設置促進、特殊詐欺に対する広報啓発活動や被害の未然防止対策、実行犯を生まないためのSNS・闇バイト対策、産学官連携によるサイバーセキュリティ対策など、総合的な犯罪抑止対策を推進し、県民の不安感の解消に努めてまいりたい。

(9) 薬剤師のイメージについて

<いま>

「くすりの富山」と言われる本県において、地域医療・製薬産業等を支える薬剤師が十分に確保できていない。そのため、県では様々な薬剤師確保対策に取り組んでいる。

特に本県の場合は、薬剤師養成課程である6年制薬学部に進学する学生が少ない傾向にあり、薬学部・薬剤師を志望する学生の増加を図るため、中高生向けに、病院・薬局等で薬剤師のお仕事体験事業やセミナーを開催するなど、若い世代の薬剤師の認知度も高められるような取り組みを進めている。

その他にも、「富山県薬剤師確保対策推進協議会」での意見も踏まえ、令和6年度に設置された富山大学薬学部「地域枠」の入学生を対象にした県内公的病院等での9年間の勤務を返還免除要件とする修学資金貸与制度の創設、公的病院でのインターンシップ事業の開催やポータルサイト・パンフレットにより薬剤師キャリアをPR等、関係団体と連携し薬剤師確保に積極的に取り組んでいる。

問22 薬剤師の仕事について次の中から、イメージの強いもの及び期待度の高いものをそれぞれ3つ以内で選んでください。(1) イメージの強いもの

(ア)全体

- ・「薬局・ドラッグストアで薬を出す」が69.9%と最も高く、次いで「薬局・ドラッグストアで薬の効果や使い方を詳しく説明する」が56.1%、「病院で薬を出す」が50.3%となっている。

(イ)性別

- ・「病院で薬を出す」は「男性」が44.8%に対して「女性」が54.4%と、「女性」が9.6ポイントの高くなっている。また、「病院で薬の効果や使い方を詳しく説明する」も「女性」が7.7ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

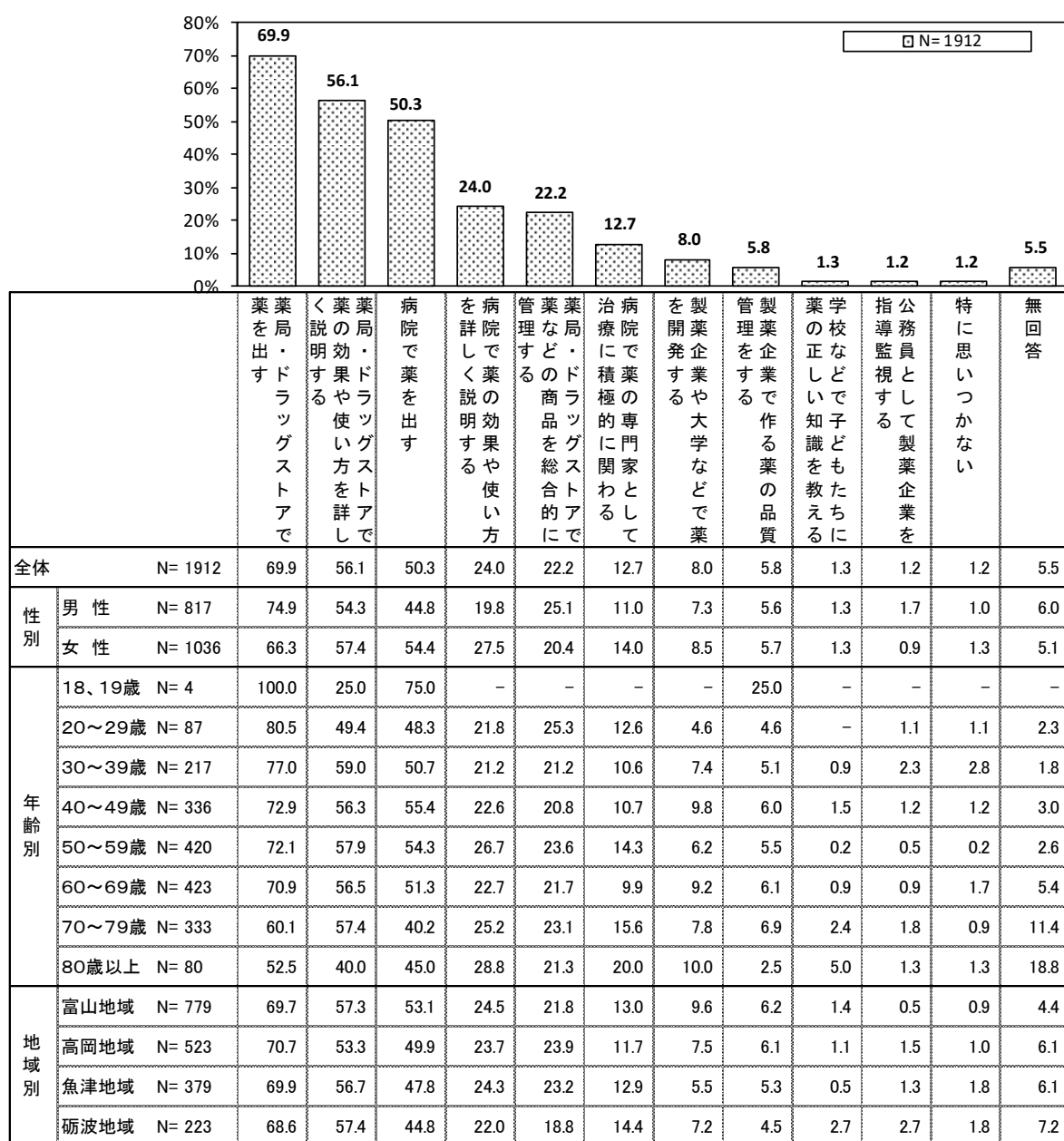
- ・「薬局・ドラッグストアで薬を出す」は「20～29歳」で80.5%、「30～39歳」で77.0%と高く、年代が上がるにつれて低くなっている。

(エ)地域別

- ・「高岡地域」は、「薬局・ドラッグストアで薬の効果や使い方を詳しく説明する」が、他の地域に比べてやや低くなっている。

図表65 薬剤師の仕事(イメージの強いもの) (N=1912、M. T.=252.7%)

単位：%



問22 薬剤師の仕事について次の中から、イメージの強いもの及び期待度の高いものをそれぞれ3つ以内で選んでください。(2) 期待度の高いもの

(ア) 全体

- ・「薬局・ドラッグストアで薬の効果や使い方を詳しく説明する」が37.7%で最も高く、次いで「病院で薬の専門家として治療に積極的に関わる」が30.3%、「製薬企業や大学などで薬を開発する」が28.0%となっている。
- ・「イメージの強いもの」と「期待度の高いもの」とを比較すると、「学校などで子どもたちに薬の正しい知識を教える」は「イメージの強いもの」は1.3%に対して、「期待度の高いもの」は23.5%で、期待度が22.2ポイント高くなっている。「製薬企業や大学などで薬を開発する」は20.0ポイント高く、「病院で薬の専門家として治療に積極的に関わる」は17.6ポイント、「製薬企業で作る薬の品質管理をする」は15.4ポイント、期待度が高くなっている。
- ・一方で「薬局・ドラッグストアで薬を出す」は「イメージの強いもの」が50.8ポイント高く、「病院で薬を出す」は37.9ポイント高くなっている。

(イ) 性別

- ・「病院で薬の専門家として治療に積極的に関わる」は、「男性」が27.1%に対して「女性」が33.6%と、「女性」が6.5ポイント高く、「学校などで子どもたちに薬の正しい知識を教える」も「女性」が6.3ポイント高くなっている。「薬局・ドラッグストアで薬を出す」は「男性」が22.2%に対して「女性」が16.7%と、「男性」が5.5ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

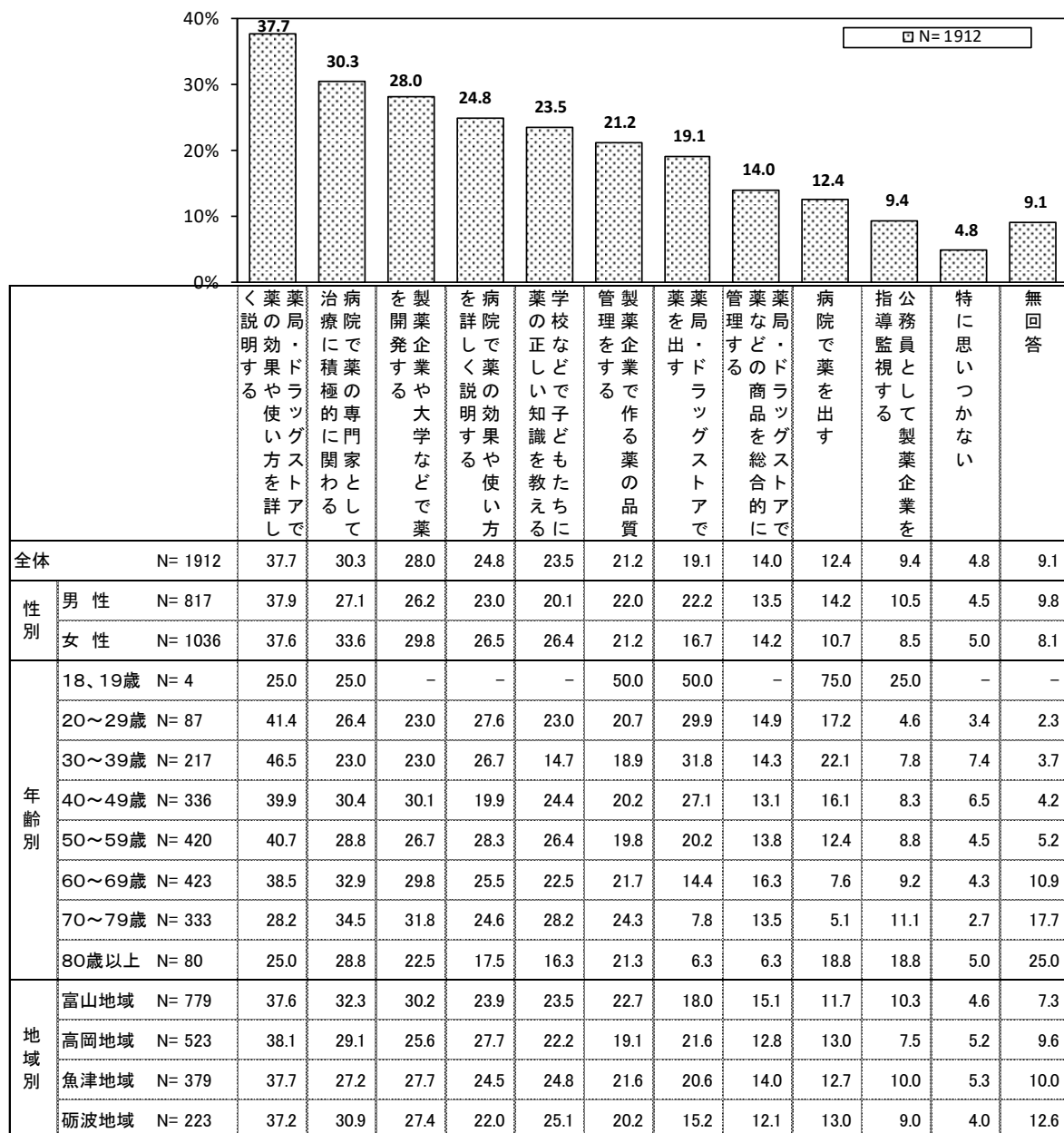
- ・「薬局・ドラッグストアで薬の効果や使い方を詳しく説明する」は「30～39歳」が46.5%と最も高く、「70～79歳」、「80歳以上」では20%台となっている。
- ・「病院で薬の専門家として治療に積極的に関わる」は、「60～69歳」、「70～79歳」で30%台で、他の年代よりもやや高くなっている。
- ・「薬局・ドラッグストアで薬を出す」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向が見られる。

(エ) 地域別

- ・「魚津地域」では、「病院で薬の専門家として治療に積極的に関わる」がやや低くなっている。

図表66 薬剤師の仕事(期待度の高いもの) (N=1912、M. T.=225.2%)

単位：％



＜調査結果を受けて＞

今回の調査結果で薬剤師のイメージについては、薬局・ドラッグストア・病院で薬を出したり、効果や使い方の説明をするイメージが強く、より身近な日常生活に関わる機会の多いものが挙げられている。一方で、病院での治療への積極的な関与、製薬企業等での薬の開発や品質管理や、学校での薬に関する教育という仕事のイメージは低く、日常生活に関わる機会が少ないためか、薬剤師がそういったシーンで活躍している現状への認知が比較的弱いということがわかる。

期待度では、イメージへの回答結果と同様に、薬局・ドラッグストアでの薬の詳細な説明が期待されるだけでなく、病院や製薬企業、学校などでの役割への期待も比較的高く、「くすりの富山」において薬剤師が幅広く活躍することが県民から期待されていることもわかった。

薬局のみならず、病院・製薬企業等でも幅広く活躍している薬剤師の魅力を、薬剤師に興味を持ってもらえるよう中高生向けにも積極的に発信していき、担い手の確保にも繋げていきたい。

(10) リカレント教育への取組みについて

<いま>

人生100年時代やSociety5.0[※]の到来を迎え、誰がいくつになっても学び直し、活躍できる社会の実現のため、産学官が連携しリカレント教育を一層推進することが求められている。

県では、「富山県人生100年時代人づくり構想会議」（平成30年度）の提言を受け、本県において取り組むべきリカレント教育等の学習内容や実施方法等について、提供側の県内高等教育機関と職業能力訓練機関、受講者側の経済・労働者団体、そして行政の各関係機関が協議する「富山県リカレント教育等産学官連携推進会議」（令和元年度～）を設置した。

また、職務能力の向上を図るビジネスパーソンや一旦職を離れ復職を希望する社会人の学び直しをサポートするため、県内高等教育機関が社会人を対象に職務上の知識や技術の習得に有用な学習講座「リカレント教育等産学官連携講座」を、社会人が受講しやすいC i Cビル5階研修室等において開講するとともに、平日夕方、土日・祝日に開講する場合の経費の一部を支援し、県民等への普及啓発を行っている。

※サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society） 狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱されたもの

問23 現在、お勤めですか。

(ア)全体

- ・「勤めている」は62.2%、「現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中」は2.6%となっている。

(イ)性別

- ・「勤めている」は「男性」が65.6%に対して、「女性」が59.8%と、「男性」が5.8ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

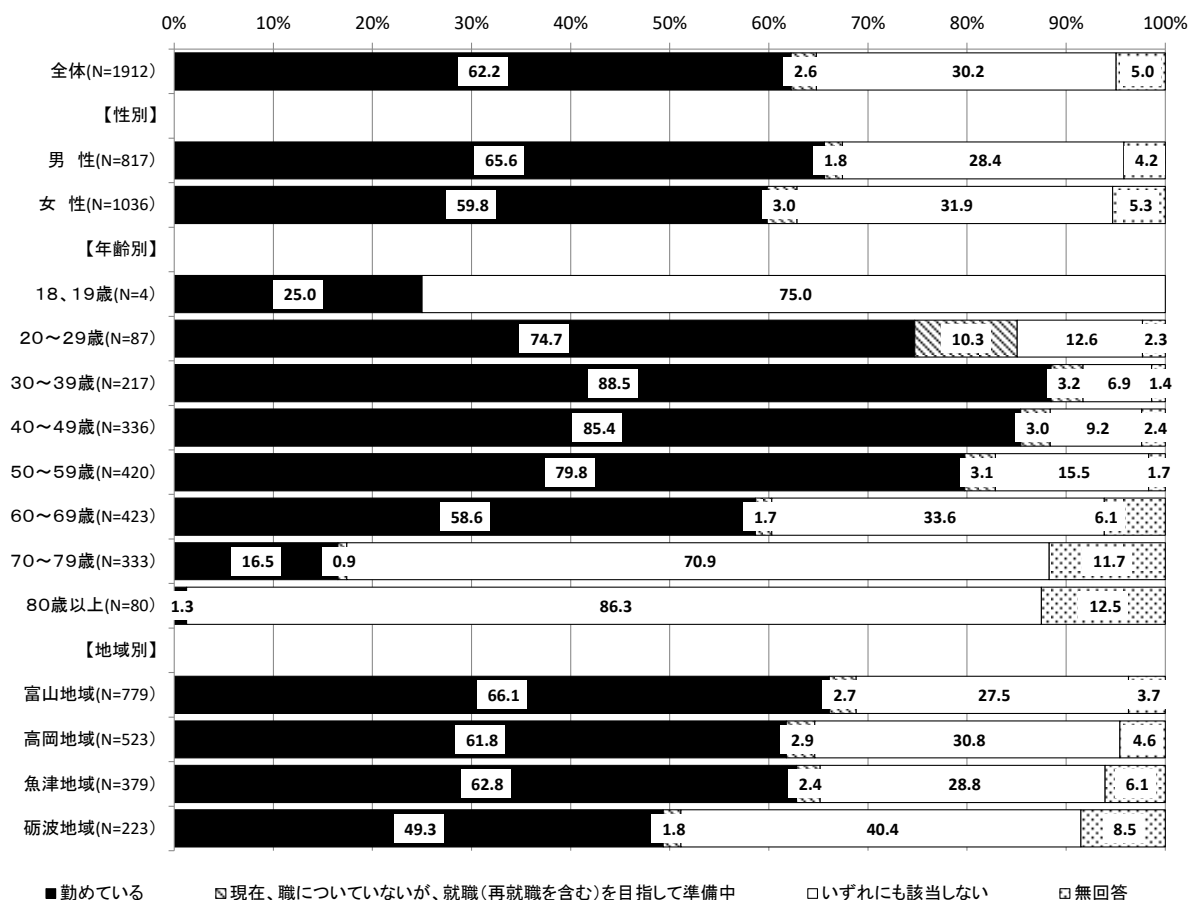
- ・「勤めている」は「30～39歳」が88.5%で最も高くなっている。「60～69歳」は58.6%、「70～79歳」は16.5%となっている。

(エ)地域別

- ・「勤めている」は「富山地域」が66.1%で最も高く、「砺波地域」は49.3%と他の地域に比べて低くなっている。

図表67 就業状況

単位：％



問23ー1 問23で「1. 勤めている」「2. 現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中」と回答した方にお尋ねします。あなたはリカレント教育（社会人の学び直し）として、現在、何か取り組んでいますか。次の中からすべて選んでください。

(ア)全体

- ・「関係する本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている」が25.6%、「講習会、研修会等に参加して、情報収集や学習をしている」が15.8%となっている。
- ・「何もしていない」は58.4%となっている。

(イ)性別

- ・「男性」と「女性」の間に大きな差は見られない。

(ウ)年齢別

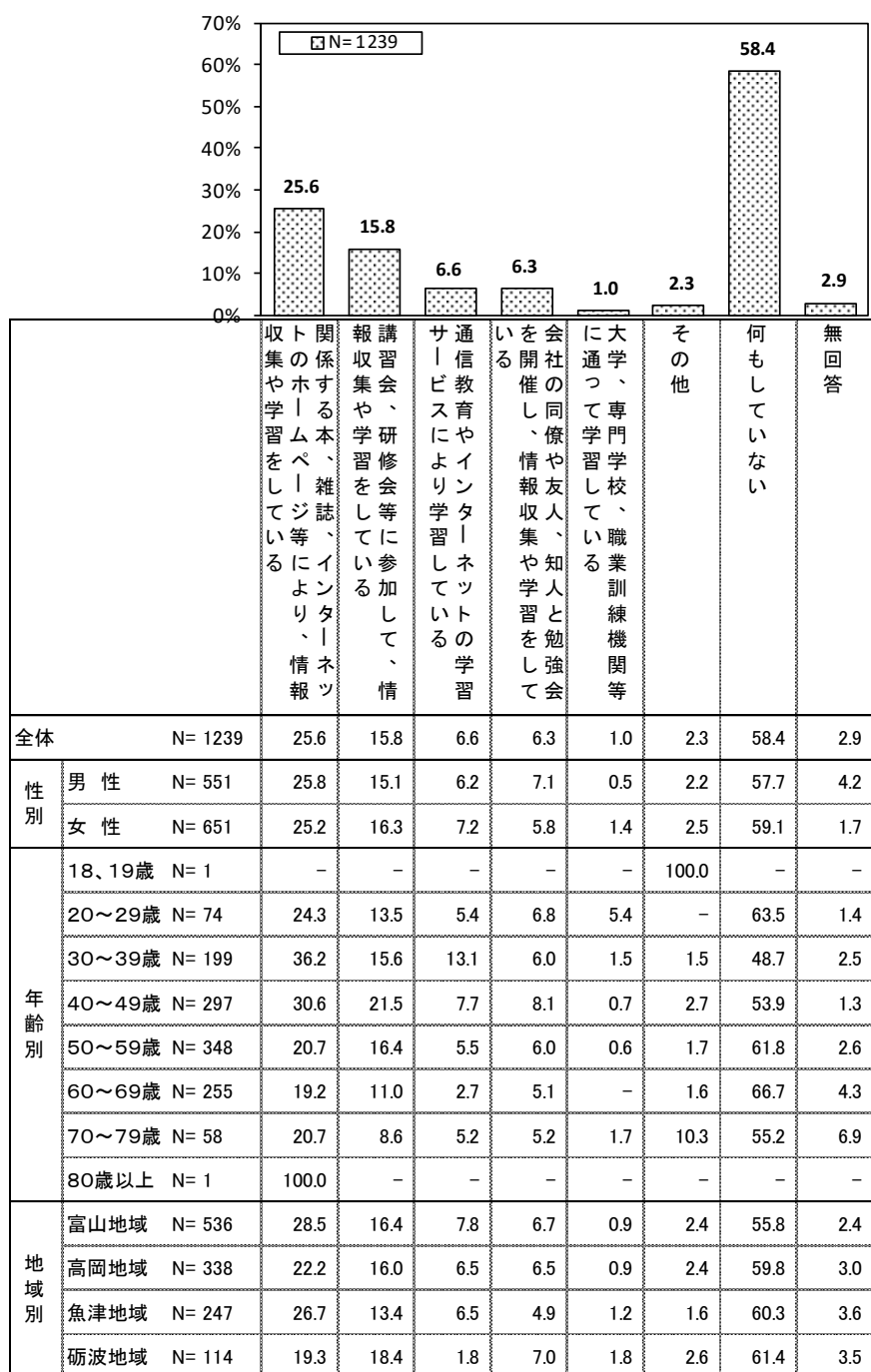
- ・「関係する本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている」は、「30～39歳」が36.2%、「40～49歳」が30.6%と他の年代に比べて高くなっている。
- ・「講習会、研修会等に参加して、情報収集や学習をしている」は、「40～49歳」が21.5%で最も高くなっている。
- ・「何もしていない」は「30～39歳」が48.7%で最も低く、「60～69歳」が66.7%で最も高くなっている。「20～29歳」も63.5%と6割を超えている。

(エ)地域別

- ・「何もしていない」は「富山地域」が55.8%で、他の地域に比べてやや低くなっている。

図表68 リカレント教育の取り組み(N=1239、M. T.=116.0%)

単位：％



＜調査結果を受けて＞

今回の調査結果では、リカレント教育への取組みについて、「何もしていない」が約6割と最も高く、次いで約3割の人が「関係する本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている」、約2割の人が「講習会、研修会等に参加して、情報収集や学習をしている」と回答している。

リカレント教育の普及には、更なる企業等への情報発信や学びやすい環境づくりが不可欠であり、また、県内企業における「働き方改革」の意識を高める取組みを進めていくことも必要である。

デジタル化や技術革新の急速な進展などにより、求められる知識や技術が大きく変化し続けており、一人ひとりが長期間にわたり活躍し続け、人生をより充実したものとして過ごすためには、誰もが、何歳からでも、何回でも学び直し、能力を高める機会と環境があることが重要である。

こうしたことから、県としては、産学官連携の一層の推進を図り、リカレント教育の普及に取り組んでまいりたい。

3. 意識調査

問24 次の設問について、あなたが普段どのように感じられたり、どのように思ったりされているかお聞かせください。

(1) あなたは、富山県は住みよい県だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・「非常に住みよい」は19.5%、「まあまあ住みよい」は69.7%で、『住みよい』（「非常に住みよい」と「まあまあ住みよい」を合算したもの）は89.2%である。

(イ) 性別

- ・「非常に住みよい」は、「男性」が20.8%に対して「女性」が18.1%と、「男性」が2.7ポイント高くなっている。
- ・『住みよい』は、「男性」と「女性」の間に大きな差は見られない。

(ウ) 年齢別

- ・「20～29歳」で『住みよい』は81.6%と他の年代に比べて低くなっている。
- ・「50～59歳」で『住みよい』は92.2%、「80歳以上」で97.6%と9割を超えている。

(エ) 地域別

- ・「非常に住みよい」は「砺波地域」で23.3%と最も高くなっている。『住みよい』は、どの地域も約90%となっている。

(オ) 県外居住年数別

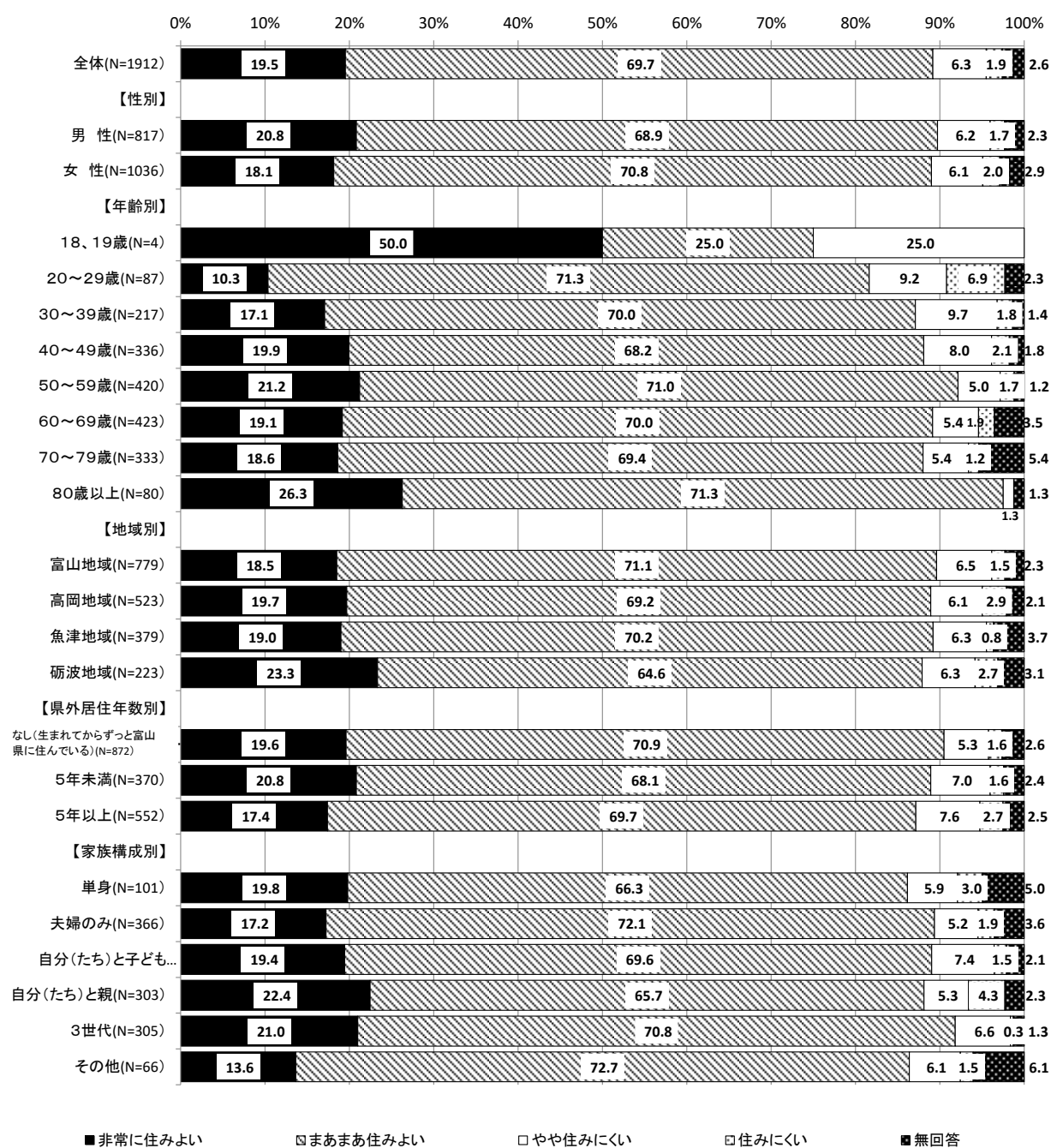
- ・『住みよい』は「なし（生まれてからずっと富山県に住んでいる）」が90.5%、「5年未満」が88.9%、「5年以上」が87.1%で、県外居住年数が短いほど『住みよい』と回答している。

(カ) 家族構成別

- ・『住みよい』は「3世代」が91.8%と最も高くなっている。「単身」は86.1%で「3世代」より5.7ポイント低くなっている。

図表69 富山県の住みよさ

単位：％



(2) これからも富山県に住みたいと思われませんか。次の中から1つ選んでください。
(通学、転勤等により県外に転出される予定がある方についても、ご自身の意識としてお答えください。)

(ア)全体

- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は78.3%となっている。
- ・「わからない」は13.7%、「県外に転出したいと思う」は5.0%となっている。

(イ)性別

- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は、「男性」が80.0%に対して「女性」が77.4%と、「男性」が2.6ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は「20～29歳」が57.5%で最も低く、年代が上がるにつれて高くなり、「80歳以上」では87.5%である。
- ・「20～29歳」では「わからない」は27.6%で他の年代に比べて高くなっている。

(エ)地域別

- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は「魚津地域」が79.4%で他の地域に比べてやや高くなっている。

(オ)職業別

- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は「管理職」が88.4%と最も高く、「商工サービス業」が87.5%で続く。
- ・「学生・生徒」は41.2%で最も低く、次いで「パート・アルバイト」が73.5%で低くなっている。

(カ)県外居住年数別

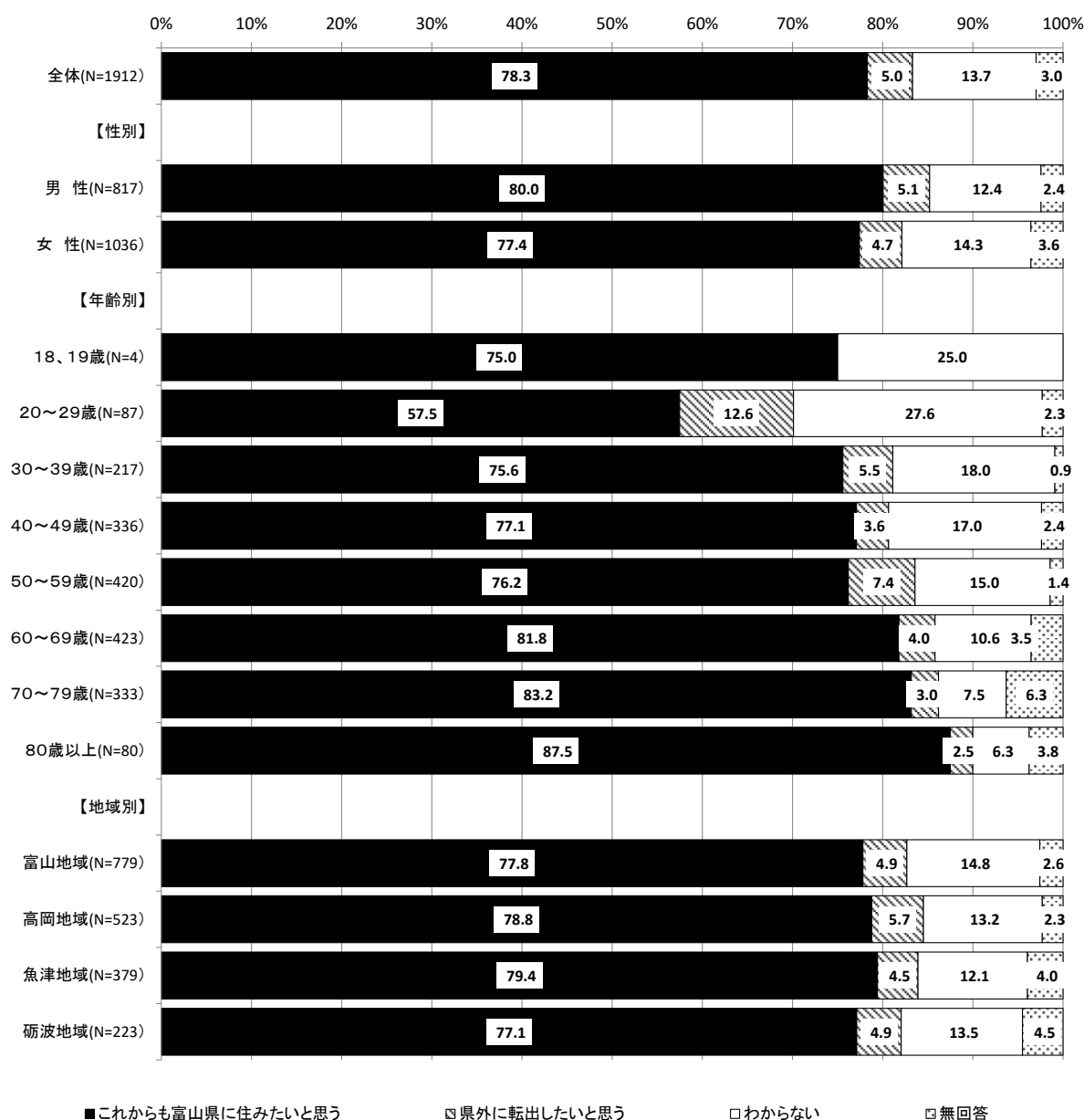
- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は「5年以上」で71.6%と低くなっている。

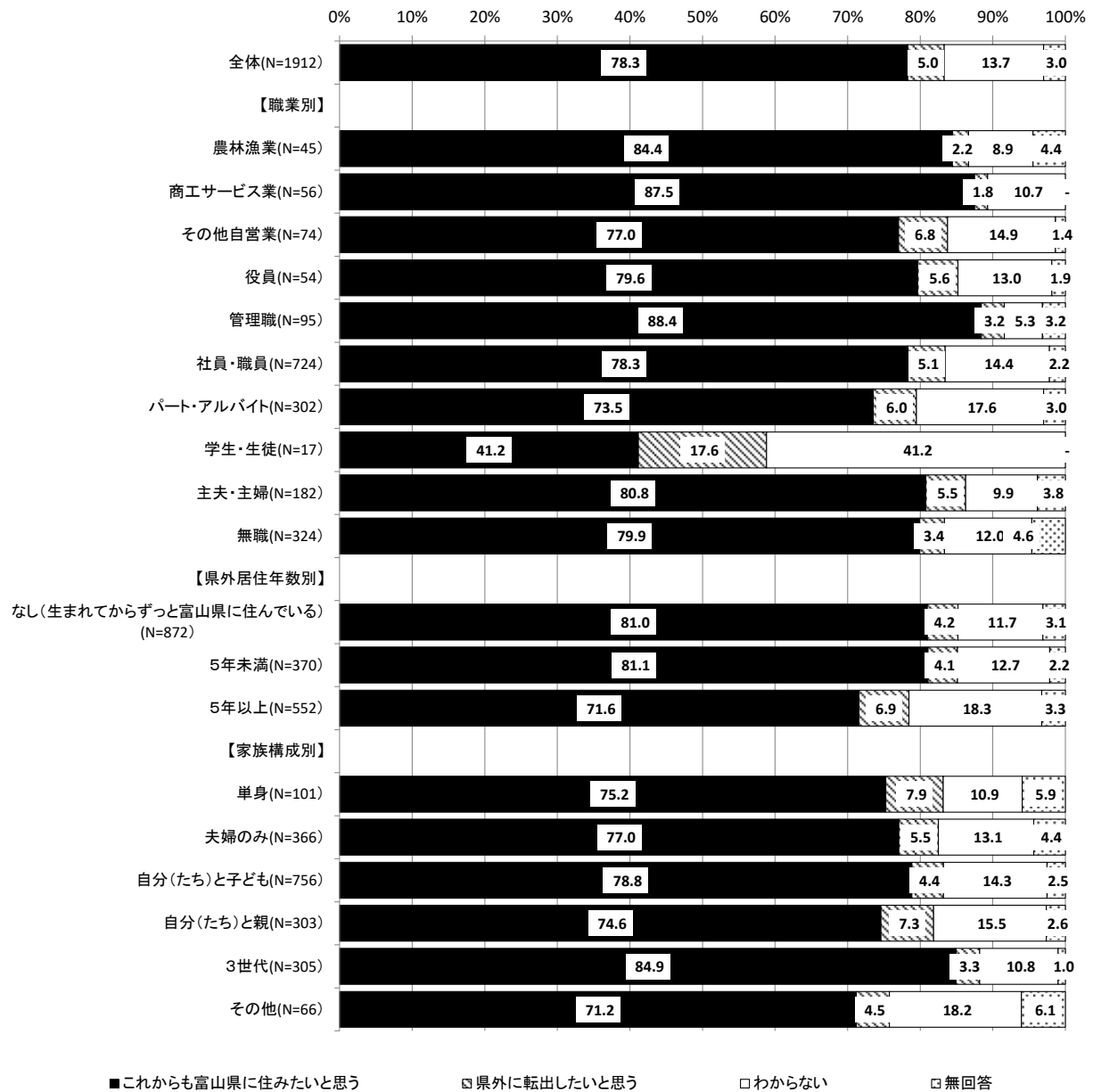
(キ)家族構成別

- ・「これからも富山県に住みたいと思う」は「3世代」で84.9%で最も高くなっている。「その他」が71.2%で最も低く、「自分(たち)と親」は74.6%、「単身」は75.2%である。

図表70 富山県への居住意向

単位：％





(3) あなたは、仕事に充実感（満足感）を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・「非常に充実している」は5.0%、「まあまあ充実している」は38.8%であり、『充実している』（「非常に充実している」と「まあまあ充実している」を合算してもの）43.8%である。

(イ)性別

- ・『充実している』は、「男性」が45.6%に対して「女性」が42.1%と、「男性」がやや高くなっている。

(ウ)年齢別

- ・『充実している』は「30～39歳」が52.5%、「50～59歳」で52.4%と高くなっている。一方で「20～29歳」は『充実している』は39.1%と低く、『充実していない』（「あまり充実していない」と「まったく充実していない」を合算したもの）は24.1%と他の年代に比べて高くなっている。

(エ)地域別

- ・『充実している』は「富山地域」が48.5%と最も高くなっている。

(オ)職業別

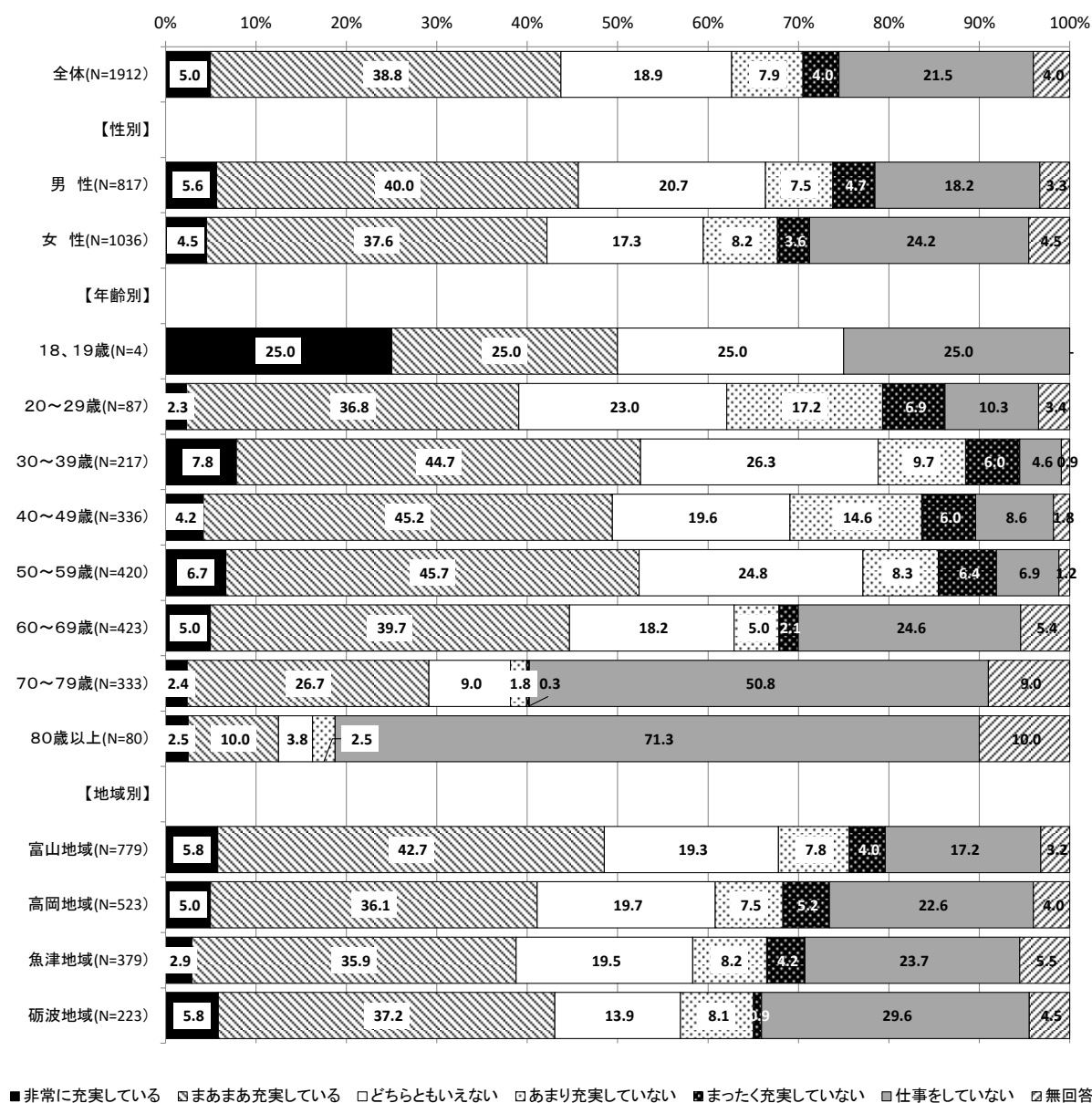
- ・『充実している』は「役員」83.4%で最も高く、「管理職」が66.3%、「商工サービス業」が66.1%と高くなっている。『充実していない』は「社員・職員」が20.2%で最も高くなっている。

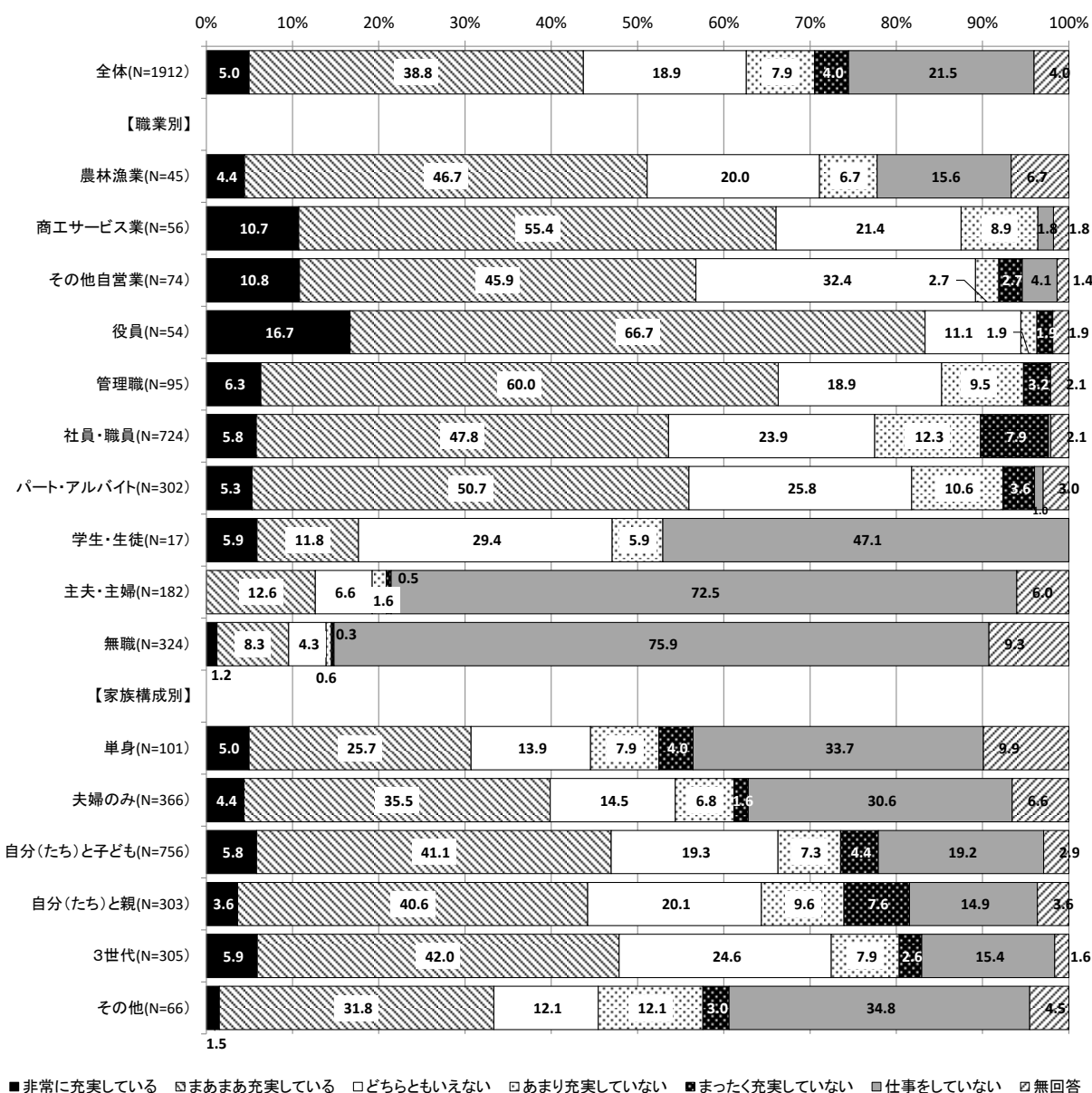
(カ)家族構成別

- ・『充実している』は「3世代」で47.9%、「自分（たち）と子ども」で46.9%と高くなっている。

図表71 仕事の充足感(満足感)

単位：％





(4) あなたは「富山県」に対して、どの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・「とても愛着がある」は34.4%、「やや愛着がある」は44.8%で、『愛着がある』（「とても愛着がある」と「やや愛着がある」を合算したもの）は79.2%と約8割となっている。

(イ) 性別

- ・『愛着がある』は、「男性」が81.0%に対して「女性」が78.7%と、「男性」がやや高くなっている。

(ウ) 年齢別

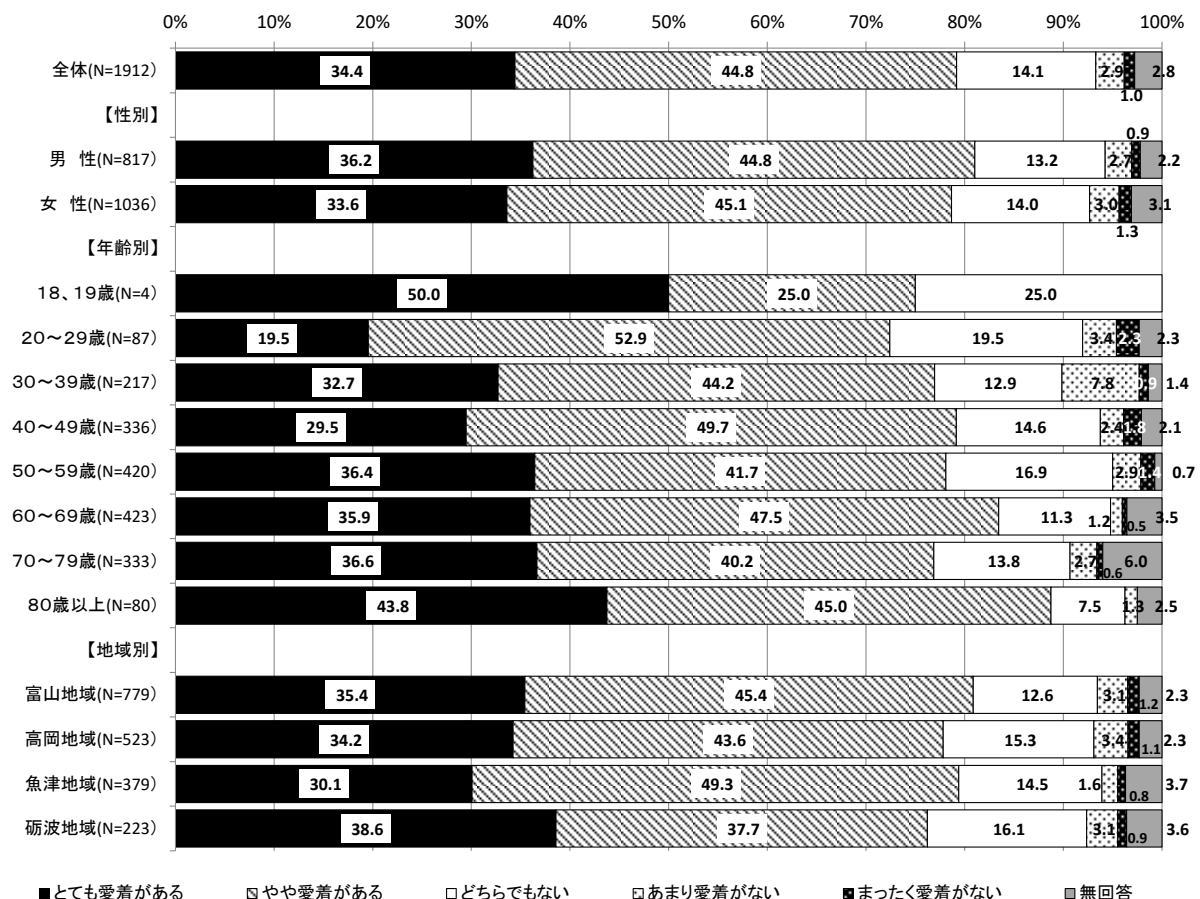
- ・『愛着がある』は「80歳以上」が88.8%、「60～69歳」が83.4%と高い一方、「20～29歳」で72.4%と低くなっている。
- ・『愛着がない』（「あまり愛着がない」と「まったく愛着がない」を合算したもの）は、「30～39歳」が8.7%で最も高くなっている。

(エ) 地域別

- ・『愛着がある』は「富山地域」が80.8%、「魚津地域」で79.4%とやや高くなっている。

図表72 富山県への愛着

単位：％



(5) あなたは富山県のどのような点を誇りに思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

(ア)全体

- ・「海・山・川・湖などの自然が豊か」が87.1%で最も高く、次いで「食事がおいしいこと」が67.6%、「地元産の食材が豊富なこと」が46.8%、「災害が少ない、治安や防災がしっかりしていること」が45.2%と続いている。

(イ)性別

- ・「地元産の食材が豊富なこと」は「女性」が50.6%に対して「男性」は43.1%と、「女性」が7.5ポイント高くなっている。また、「食事がおいしいこと」、「誇れる美術館・博物館があること」も「女性」が4ポイント以上高くなっている。

(ウ)年齢別

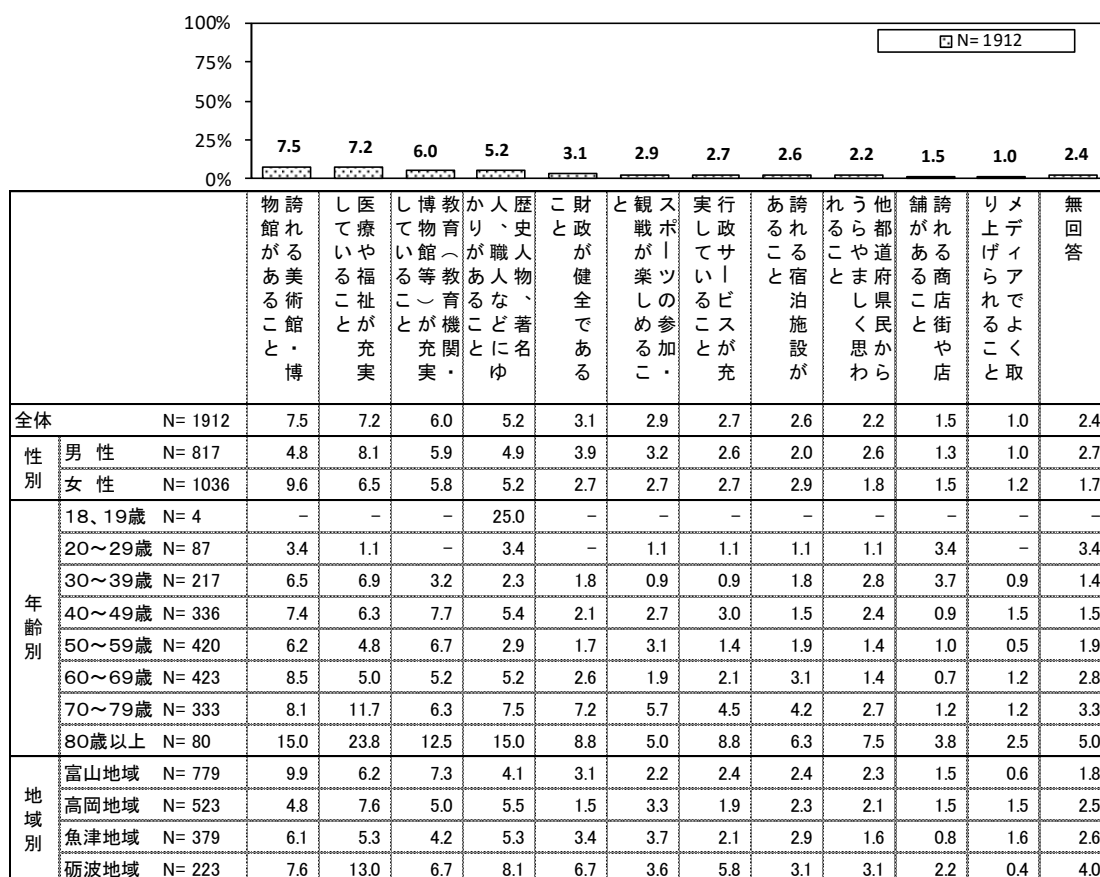
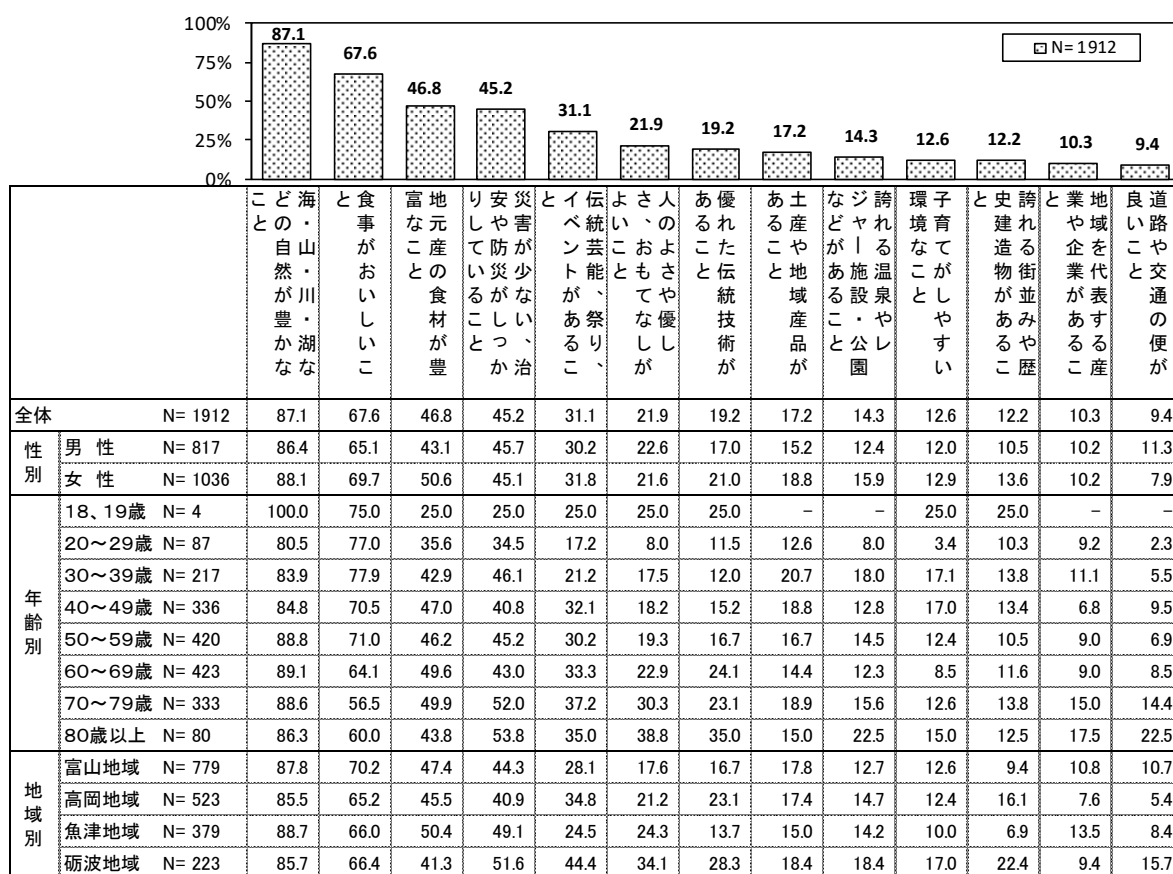
- ・年代が上がるにつれて多くの項目を選んでいる傾向が見られる。
- ・「海・山・川・湖などの自然が豊か」は「20～29歳」で80.5%と最も低くなっている。「食事がおいしいこと」は60歳未満で7割を超えている。

(エ)地域別

- ・「砺波地域」は「伝統芸能、祭り、イベントがあること」、「誇れる街並みや歴史建造物があること」、「道路や交通の便が良いこと」などが他の地域に比べて高くなっている。

図表73 富山県の誇りに思う点 (N=1912、M. T.=436.8%)

単位：％



(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・「たくさんある」は16.0%、「少しはある」は75.0%であり、『ある』（「たくさんある」と「少しはある」を合算したもの）は91.0%で9割を超えている。「ない」は6.9%となっている。

(イ) 性別

- ・『ある』は、「男性」が88.9%に対して「女性」が93.1%と、「女性」が4.2ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

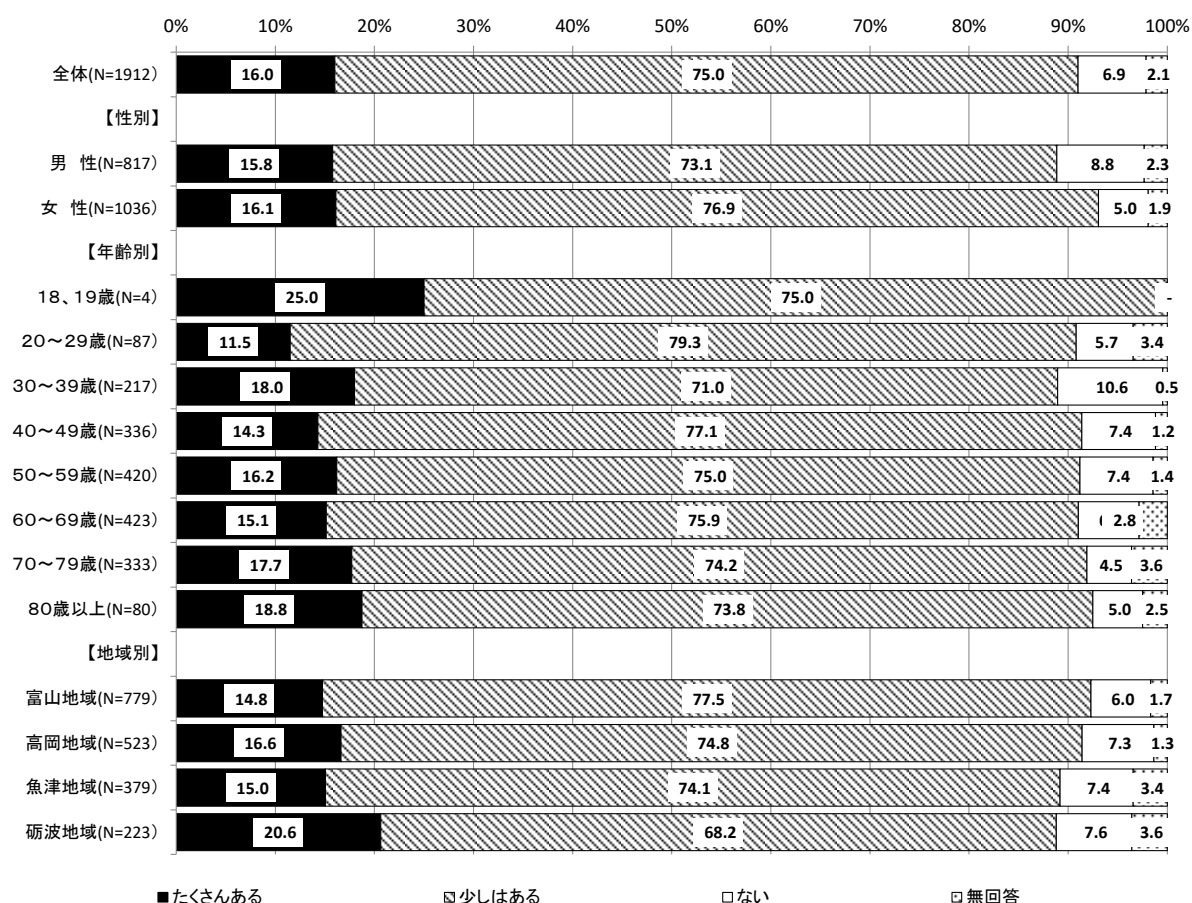
- ・「30～39歳」以外は9割を超えている。「たくさんある」は「20～29歳」で11.5%と他の年代に比べて低くなっている。

(エ) 地域別

- ・『ある』は富山地域で92.3%と最も高くなっている。「たくさんある」は「砺波地域」で20.6%と最も高くなっている。

図表74 県外へ紹介できるものの有無

単位：％



(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・『充足されている』（「十分に充足されている」と「ある程度充足されている」を合算したもの）は36.4%に対して、『充足されていない』（「あまり充足されていない」と「まったく充足されていない」を合算したもの）は40.2%と、『充足されていない』が3.8ポイント高くなっている。

(イ) 性別

- ・『充足されている』は、「男性」が32.4%に対して「女性」が40.1%で、「女性」が7.7ポイント高くなっている。
- ・「女性」は『充足されている』が『充足されていない』よりも1.9ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

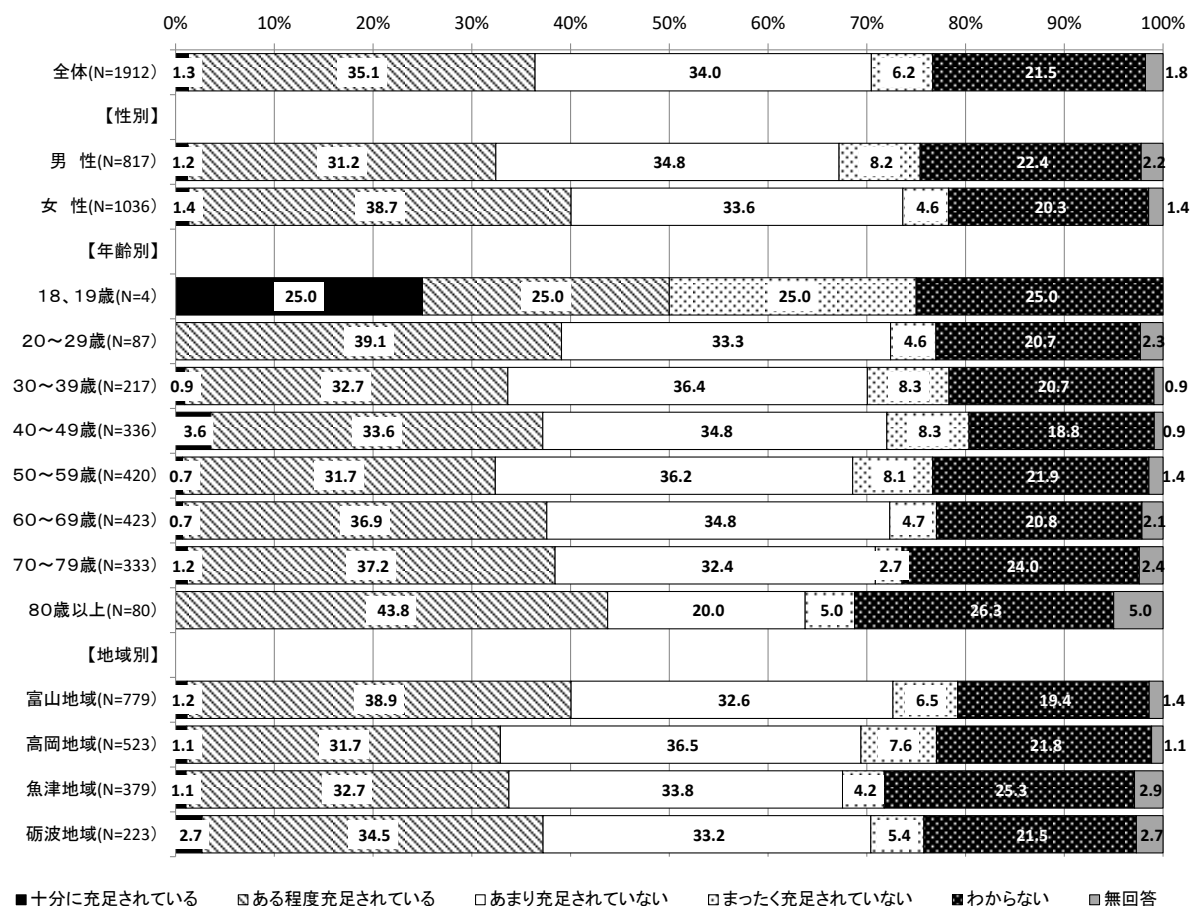
- ・『充足されている』は「80歳以上」が43.8%で最も高く、「50～59歳」で32.4%、「30～39歳」で33.6%と低くなっている。
- ・30～69歳では『充足されていない』が『充足されている』を上まわっている。

(エ) 地域別

- ・「富山地域」は『充足されている』が40.1%と他の地域に比べて高く、『充足されている』が『充足されていない』を上まわっている。
- ・「高岡地域」は『充足されていない』が44.1%と他の地域に比べて高くなっている。

図表75 県内で芸術文化に親しむ機会

単位：％



(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・『果たしている』（「十分に果たしている」と「ある程度果たしている」を合算したもの）は39.7%に対して、『果たしていない』（「あまり果たしていない」と「まったく果たしていない」を合算したもの）は41.9%と、『果たしていない』が2.2ポイント高くなっている。

(イ) 性別

- ・『果たしている』は、「男性」が36.9%に対して「女性」が42.2%と、「女性」が5.3ポイント高くなっている。

(ウ) 年齢別

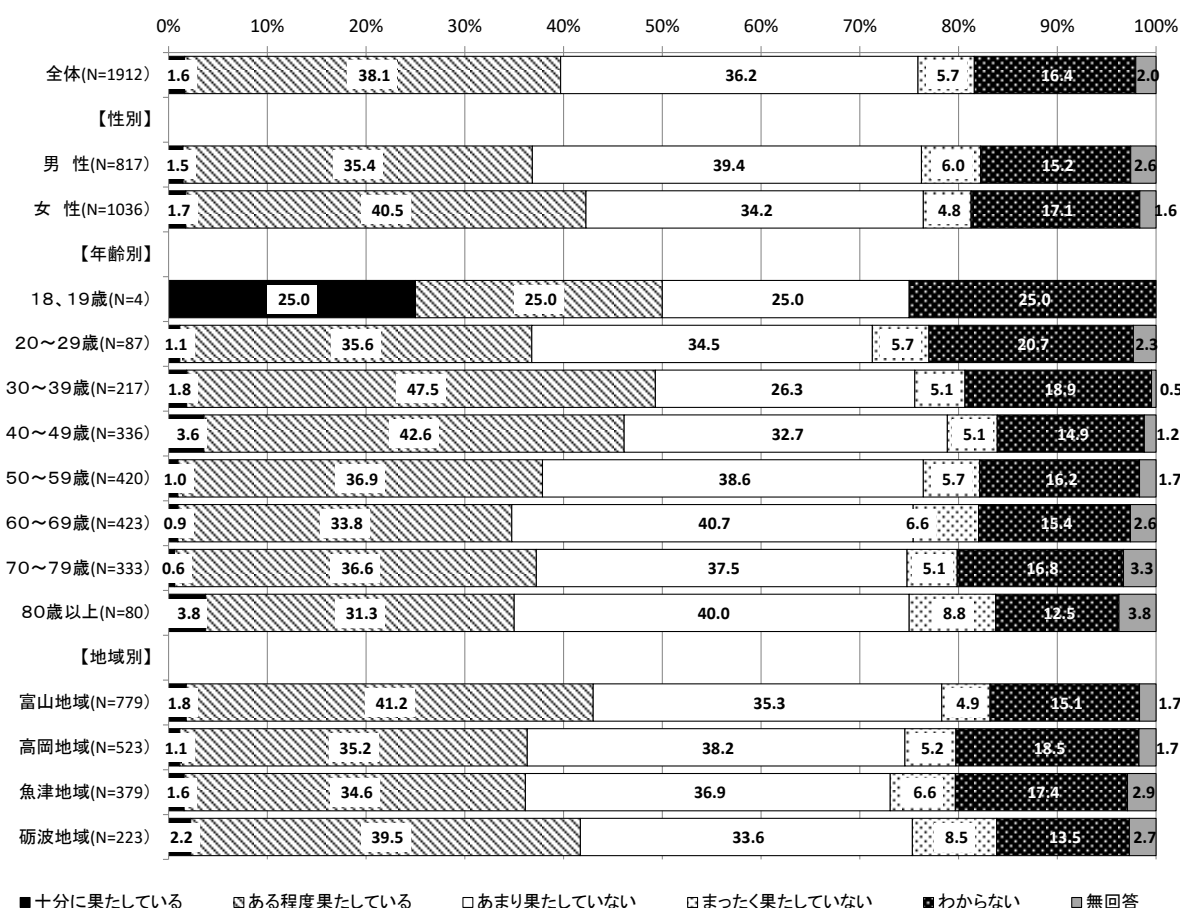
- ・『果たしている』は「30～39歳」は49.3%、「40～49歳」では46.2%と高く、「30～39歳」では『果たしている』が17.9ポイント高くなっている。「20～29歳」及び50歳以上で『果たしている』は30%台となっている。

(エ) 地域別

- ・『果たしている』は「富山地域」で43.0%、「砺波地域」で41.7%と他の地域に比べて高くなっている。

図表76 子どもの教育における家庭の役割

単位：％



(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習を行ったことがありますか。次の中から1つ選んでください。

(ア) 全体

- ・「ある」は28.8%、「ない」は68.7%となっている。

(イ) 性別

- ・「ある」は、「男性」が27.7%に対して「女性」が29.7%と、「女性」がやや高くなっている。

(ウ) 年齢別

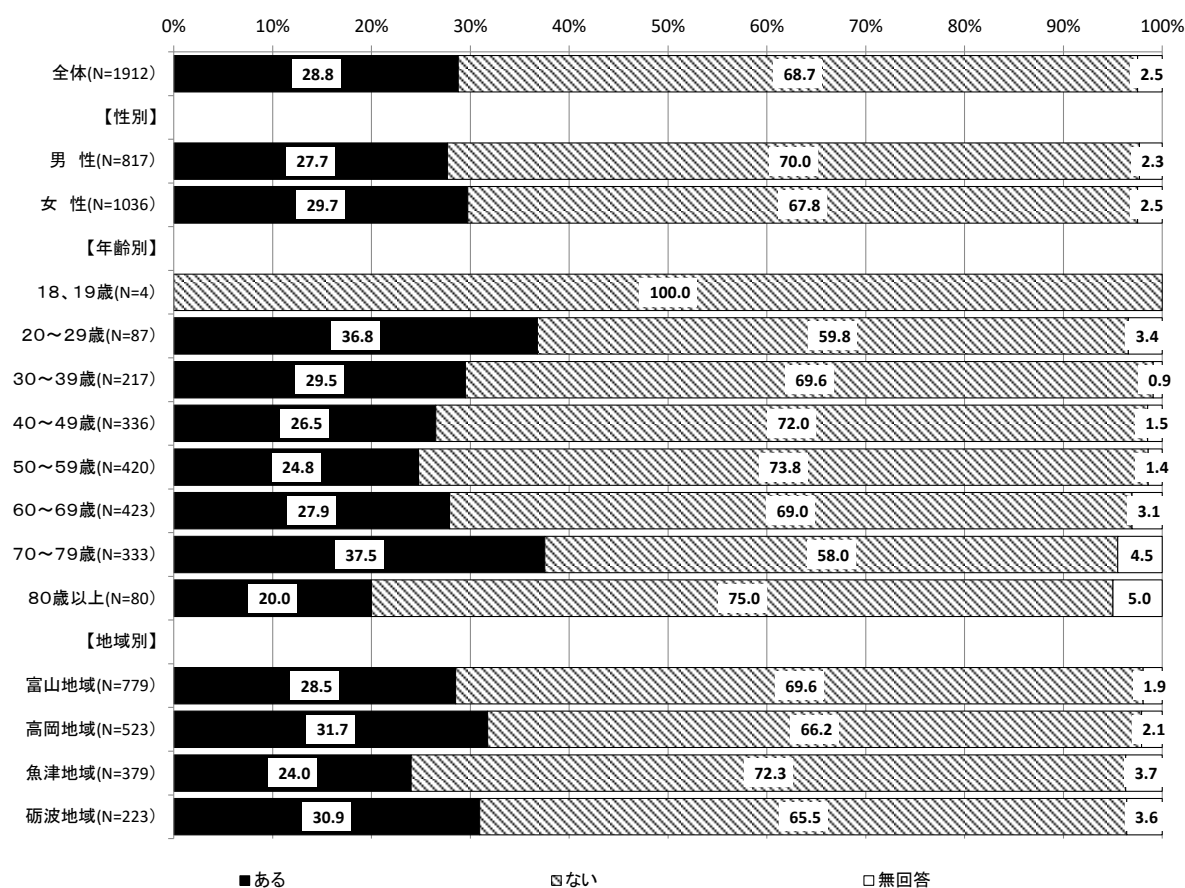
- ・「ある」は、「20～29歳」が36.8%、「70～79歳」が37.5%と高くなっている。一方で、「50～59歳」で24.8%と低くなっている。

(エ) 地域別

- ・「高岡地域」と「砺波地域」で「ある」が3割を超えている。

図表77 生涯学習の経験

単位：％



(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

(ア)全体

- ・「積極的に参加している」は12.2%、「ときどき参加している」は46.8%で、『参加している』（「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合算したもの）は59.0%となっている。
- ・『参加していない』（「参加していないが、今後は参加したい」と「参加していないし、今後参加したくない」を合算したもの）は39.1%となっている。

(イ)性別

- ・『参加している』は、「男性」が66.1%に対して「女性」が54.4%と、「男性」が11.7ポイント高くなっている。

(ウ)年齢別

- ・『参加している』は「20～29歳」が25.3%と最も低く、年代が上がるにつれて高くなり、「70～79歳」では66.3%となっている。

(エ)地域別

- ・『参加している』は「砺波地域」で67.3%で他の地域より約9ポイント高くなっている。

図表78 地域活動への参加

単位：％

